

A circular collage of four images: a modern building with large white columns and arches, a multi-tiered stone waterfall, a bronze statue of a woman, and a building with a mural.

# 2017 SYLLABUS

藤田保健衛生大学  
医学部

第 1 学 年



平成29年度 医学部授業・試験等予定表

授業期間			臨床実習			試験期間			G			入			入学式			老			解剖体慰霊法要			医			防		

カリキュラム概略図

□ : S T H      ◎ : 総合試験、卒業試験

1 学年			2 学年		3 学年		4 学年		5 学年	6 学年					
前期 (16W)	後期 (16W)		前期 (17W)	後期 (16W)	前期 (17W)	後期 (15W)	前期 (13W)	後期 (24W)	(41W)	前期 (16W)	後期 (9W)				
1	医学生のための社会医学＜選択＞ (55)			人の行動と心理Ⅱ (14)	病理学 (22)	ﾌﾟﾛﾌｴｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑⅢ (26)	病態病理実習 (18)	臨床	臨	選	総				
2			Medical EnglishⅡ (28)	ﾌﾟﾛﾌｴｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑⅡ (9)		Medical EnglishⅢ (26)	地域医療・介護 (9)								
3	数学 (14)		Human Biology (25)		予防医学、公衆衛生学 (35)		法医学 (28)					医療安全 (10)			
4	医学教育入門 (15)	生命倫理学 (15)	解剖学 B (83)	病理学 (49)	救急医学 (13)	医学研究入門 (13)									
5	人の行動と心理Ⅰ (14)				東洋医学 (8)	PBLⅠ (28)	PBLⅡ (28)								
6	読書ゼミナール (14)	生理化学 (19)			臨床検査 (25)	画像診断Ⅰ (13)	症候・病態 (20)								
7	英語 (59)				血液系 (15)	基本的診療技能Ⅰ (18)	周術期医学 (26)								
8				微生物学 (63)	神経系 (24)	運動器系 (35)	画像診断Ⅱ (26)					床	制	合	
9	語学＜選択＞ (28)				循環器系 (33)	※1	リハビリテーション・介護 (15)								
10	生物学＜標準コース＞ (48)		生理学 (110)	ウイルス・寄生虫学 (60)	呼吸器系 (23)	腎・尿路・生殖器外科系 (24)	基本的診療技能Ⅱ (40)								床
11	＜入門コース＞ (63)				消化器系 (52)	女性生殖器系 (24)	内分泌代謝系・乳腺疾患 (31)	皮膚・形成系 (16)							
12	化学 (48)						眼・視覚系 (16)								
13					腎臓内科系 (16)	腫瘍学 (13)	耳鼻咽喉・口腔系 (16)								
14	物理学＜標準コース＞ (44)		精神・行動系 (20)	成長・発達・小児系 (42)	緩和ケア (13)	加齢・高齢者系 (7)	実	医	医						
15	＜入門コース＞ (60)		膠原病・感染症系 (30)												
16	体育実技 (28)														
17	健康科学 (14)														
18	コンピュータ情報処理学 (22)	組織学 (91)													
19	総合講座 (15)														
20	Medical EnglishⅠ (7)														
21	早期臨床体験 (37)		薬理学 (66)												
22			免疫学 (22)	統合基礎医学 (14)							習	学	学		
23			医学統計学 (13)	臨床遺伝学 (13)											
24				疫学 (13)											
25		解剖学 A (87)													
26															
27															
28															
29															
30	アセンブリⅠ	アセンブリⅡ	アセンブリⅢ												

(概略のため、内容に変更がある場合があります。)

※ 1 人工臓器を含む

年次 ▼

プロフェッショナリズム  
コミュニケーション

専門職連携

診療と実践

医学知識

社会と医療

独創的探究心

M6

卒業試験

総合医学

PCC OSCE (H30より)

選択制総合実習 (H30より)

M5

総合試験Ⅱ

臨床実習後期<sup>9)</sup>

総合試験Ⅰ

臨床実習前期<sup>8)</sup>

M4

OSCE

CBT

基本的診療技能Ⅱ

臨床系<sup>7)</sup>

PBLⅡ

法医学

M3

基本的診療技能Ⅰ

臨床系<sup>6)</sup>

PBLⅠ

予防医学

公衆衛生学

Medical EnglishⅢ

医学研究入門  
-科学研究の基礎Ⅲ-

M2

プロフェッショナリズムⅢ

アセンブリⅢ

病理学

基礎総合試験 (基礎医学)

疫学

Medical EnglishⅡ

Human Biology  
-科学研究の基礎Ⅱ-

プロフェッショナリズムⅡ

アセンブリⅡ

人の行動と心理Ⅱ

感染制御系<sup>5)</sup>

機能系<sup>3)</sup> 形態系<sup>4)</sup>

医学統計学

M1

早期臨床体験  
生命倫理学  
総合講座  
(病と死の人間学)  
プロフェッショナリズムⅠ

アセンブリⅠ

人の行動と心理Ⅰ

生化学 組織学  
解剖学A

数学  
コンピュータ情報処理学

読書ゼミナール  
-科学研究の基礎Ⅰ-

英語  
Medical EnglishⅠ  
TOEFL ITP

化学 物理学 生物学

人文社会学系<sup>1)</sup>

医学教育入門

健康科学・体育実技

第2外国語<sup>2)</sup>

臨 床 系<sup>6)</sup> 血液系、神経系、運動器系、循環器系、呼吸器系、消化器系、  
腎臓内科系、腎・尿路・生殖器外科系、女性生殖器系、内分泌代謝系・乳腺疾  
患、精神・行動系、膠原病・感染症系、腫瘍系、成長・発達・小児系、画像診断I、  
臨床検査、救急医学、東洋医学

臨床実習後期<sup>9)</sup> 学外病院、在宅医療、緩和医療科、麻酔科、放射線科、整形外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科

卒業コンピテンス・コンピテンシー

△別表1△

[illegible]

\*:2015年度以前の入学生を除く。

# 目 次

平成29年度 時間割表	1	ページ
教育に関する基本方針	2	ページ
シラバスを読むにあたって	7	ページ
I. 授業、試験についての注意・留意事項		
1. 授業の欠席と定期試験受験資格についての注意	12	ページ
2. 出校制限を必要とされる疾患への対応	13	ページ
3. 学生の出席確認についての注意	14	ページ
4. 学生による授業評価表の提出についての 取り決め事項	14	ページ
5. 定期試験、I T 試験受験の心得	15	ページ
6. 各種試験における別室受験に関する 取り決め事項	15	ページ
7. 進級・卒業判定基準について	16	ページ
8. 自習のために利用できる施設及び利用上 の留意事項	18	ページ
9. 教室・実習室・ロッカー等の利用に関する注意	20	ページ
10. I T 学習室（12階）利用に関する心得	20	ページ
11. 情報検索室（12階）利用に関する心得	21	ページ
12. CSフロア（14階）利用に関する心得	22	ページ
13. 学内LAN利用上の注意	23	ページ
14. 臨床実習における患者等の個人情報保護 について	23	ページ
15. 電子カルテ等の患者個人情報取り扱いの注意	24	ページ
16. 藤田保健衛生大学医学部における学生の 個人情報保護について	26	ページ
II. 教育要項		
[医人間学系＜文化・情報・コミュニケーション＞]		
近現代文学	28	ページ
論 理 学	34	ページ
人 類 学	38	ページ
社 会 学	42	ページ
歴 史 学	46	ページ
教 育 学	50	ページ
法 学	58	ページ
経 済 学	66	ページ
数 学	72	ページ
医学教育入門	76	ページ
人の行動と心理 I	82	ページ
読書ゼミナール－科学研究の基礎 I－	86	ページ
プロフェッショナリズム I	110	ページ
コンピュータ情報処理学	114	ページ
[医人間学系＜医療と倫理＞]		
生命倫理学	120	ページ
総合講座（病と死の人間学）	124	ページ
[医人間学系＜外国語＞]		
英 語	129	ページ
Medical English I	137	ページ
ド イ ツ 語	141	ページ
フ ラ ン ス 語	145	ページ
中 国 語	148	ページ
ポルトガル語	151	ページ
[医人間学系＜基礎科学＞]		
健 康 科 学	154	ページ
体 育 実 技	157	ページ
生 物 学	161	ページ
化 学	176	ページ
物 理 学	187	ページ
生 理 化 学	205	ページ
アセンブリ	210	ページ
[基礎医学系＜人体構造学＞]		
解 剖 学 A	213	ページ
組 織 学	226	ページ
[臨床医学系]		
早期臨床体験	243	ページ
[S T H]		
基礎教室体験実習（選択）	251	ページ

## 平成29年度 時 間 割 表

曜日	前 期 (4/10(月)～7/31(月))					
	1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目	6 時限目
月	英 語 読書ゼミナール	読書ゼミナール 英 語	数 学	健 康 科 学	アセンブリ I	S T H
火	英 語 ドイツ語/フランス語 /中国語/ポルトガル語	ドイツ語/フランス語 /中国語/ポルトガル語 英 語	B : 生 物 学 B : 物 理 学	Medical English I	総 合 講 座 (病と死の人間学)	S T H
水	近現代文学・論理学・ 人類学・社会学	B : 生 物 学 B : 物 理 学	A : 生 物 学 A : 物 理 学	化 学	コンピュータ 情報処理学	コンピュータ 情報処理学
木	歴史学・教育学 ・法学・経済学	体 育 実 技 S T H	S T H 体 育 実 技	B : 生 物 学 B : 物 理 学	人の行動と 心 理 I	S T H
金	早期臨床体験 医学教育入門	医学教育入門 早期臨床体験	早期臨床体験 医学教育入門	A : 生 物 学 A : 物 理 学	化 学	医学教育入門
土	S T H	S T H	S T H			

曜日	後 期 (10/2(月)～1/31(水))					
	1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目	6 時限目
月	英 語 プロフェッショナルズⅡ	プロフェッショナルズⅡ 英 語	組 織 学	組 織 学	アセンブリ I	S T H
火	英 語 ドイツ語/フランス語 /中国語/ポルトガル語	ドイツ語/フランス語 /中国語/ポルトガル語 英 語	組 織 学	組 織 学	組 織 学	組 織 学
水	近現代文学・論理学・ 人類学・社会学	生 命 倫 理 学	解 剖 学 A	解 剖 学 A	解 剖 学 A	S T H
木	歴史学・教育学 ・法学・経済学	体 育 実 技 S T H	S T H 体 育 実 技	解 剖 学 A	解 剖 学 A	S T H
金	生 理 化 学	物 理 学	解 剖 学 A	生 物 学 ／ 化 学	生 物 学 ／ 化 学	生 物 学 ／ 化 学
土	S T H	S T H	S T H			

# 教育に関する基本方針

## 教育目標

藤田保健衛生大学は、建学の理念に「独創一理」を掲げています。「独創一理」とは「独創的な学究精神を堅持して真理を探究し、おおらかな誇りを持ち、感激性に富む、個性豊かな人格を形成する」ことをめざすものです。本学医学部は、患者さん中心のチーム医療の担い手として、リサーチマインドと国際的視野を有する人間性豊かな「良き臨床医」の育成をめざしています。

## 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

藤田保健衛生大学医学部は、以下の方針に基づいてカリキュラムを作成し、実施する。

1. 建学の理念である独創一理を体現する学生を養成するため、卒前から卒後に至るまで一貫した、学習成果基盤型の医学教育を行う。
2. 段階的な教育を行うため、カリキュラムを以下の3つの課程に分ける：
  - ① 医・人間学系では、準備教育として自発的に学習に取り組む技術と能力の修得、並びにコミュニケーション能力の向上や多様な価値観及び文化の理解に繋がる教育を行う。
  - ② 基礎系では、生命科学であると同時に臨床医学の根幹を成す基礎医学教育を行う。
  - ③ 臨床系では、卒業時に十分な臨床能力の修得を目指した参加型臨床実習を中心とする多様な形態の教育を行う。
3. 医療人としてのプロフェッショナリズムを確立するため、準備教育から臨床過程に至るまで、学習段階に応じて繰り返し学ぶ学習プログラムを実施する。
4. 準備教育から基礎、基礎から臨床など課程をまたいで教育される項目については垂直的に統合した教育プログラムを実施する。
5. 複数の専門分野が取り扱う項目については、教育プログラムを水平的に統合して学習効率を高める。
6. 医療チームのリーダーたりうる資質を備えるべく、専門職連携を学習する機会を持つ。
7. 地域に貢献する医療人としての見識を備えるため、社会的及び国際的な観点から医療を考える機会を持つ。

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

藤田保健衛生大学医学部は、「独創的な学究精神を持った謙虚で誠実な医師」となるため、所定の課程を修め以下の能力を身につけた者に対して、学士（医学）の学位を授与します。

1. 医師としてのプロフェッショナリズム  
医師としての責任感と職業倫理観に基づいて行動し、生涯にわたり向上心を持ち自己研鑽に励む自覚と能力
2. コミュニケーション能力  
お互いの立場を尊重し、相手から信頼される関係を築くためのコミュニケーション能力
3. 専門職連携  
患者の健康問題の解決に向け、多職種での取り組みを実践する能力
4. 医学および関連領域の知識  
医療の基盤となっている基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用する能力

5. 独創的探究心

疑問点を解決するために行動する独創的な学究精神と科学的能力

6. 診療の実践

安全かつ科学的根拠に基づいた適切な診療を実践する能力

7. 地域社会への貢献

地域の保健・医療・福祉の課題を理解し、その解決のために貢献する能力

**6GPA制度の導入について**

平成28年度から、GPA制度を導入しています。

＜GPA制度による成績評価＞

評価	GP	成績（評点）
S	4	90～100点
A	3	80～89点
B	2	70～79点
C	1	60～69点
D	0	60点未満
F	0	無資格

＜計算方法＞

$$\text{GPA} = \frac{[\text{科目の単位数} \times \text{当該科目のGP}] \text{の合計}}{\text{科目の単位数合計（D、Fを含む）}}$$

＜対象科目＞

全科目。

## プロセス基盤型教育からアウトカム（学習成果）基盤型教育へ

本学医学部は医学教育モデル・コア・カリキュラム（最新版：平成22年度改訂版）に則りプロセス基盤型教育が行われてきたが、平成27年度 第1～3学年よりアウトカム（学習成果）基盤型教育を採用入れた新カリキュラムへ移行しています。

### ① 卒業時に学生が身につける能力

医学部の使命に基づいて、卒業時に全ての医学生が身につける能力として「卒業コンピテンス（Ⅰ～Ⅶの7領域）」及び「卒業コンピテンシー（合計：37領域）」を定める。

## 卒業コンピテンス・卒業コンピテンシー

### Ⅰ. 医師としてのプロフェッショナリズム

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時に自己に驕ることなく協調性、責任感、倫理観を有して行動できる。生涯にわたり、向上心を持ち自己研鑽に励む自覚を有する。

1. 医師として常識ある行動がとれる。
2. 医療にかかわる法律を理解し遵守できる。
3. 医学倫理について理解し、それに基づいて行動ができる。
4. 個人の尊厳を尊重し、利他的、共感的に対応できる。
5. 自己評価を怠らず、自己管理できる。
6. 他者に対して適切な助言、指導ができ、他者からの助言、指導を受け入れられる。
7. 社会から期待される医師の役割を説明できる。

### Ⅱ. コミュニケーション能力

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時にお互いの立場を尊重して、相手から信頼される関係を築き、適切なコミュニケーションを実践することができる。

1. 患者ならびに家族との良好な人間関係が構築できる。
2. 医療スタッフとの円滑な意思疎通ができる。
3. 異文化を背景とする他者との適切な意思疎通の重要性を説明できる。

### Ⅲ. 専門職連携

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時に専門職連携を実践できる。

1. 他職種の役割を理解し、尊重することができる。
2. 医師の役割を理解できる。
3. 患者の健康問題を多職種で解決に向けて取り組むことができる。

### Ⅳ. 医学および関連領域の知識

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時に医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。

1. 正常な構造と機能
2. 発達、成長、加齢、死

3. 心理、行動
4. 病因、構造と機能の異常
5. 診断、治療
6. 医療安全
7. 疫学
8. 医学統計学
9. 医学英語

#### V. 独創的探究心

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時にグローバルな視野に立って科学に興味を持ち、疑問点に対して解決するために行動することができる。

1. 自らの考えや疑問点を検証するための基礎的方法論を学び、応用することができる。
2. 論文等の情報を適切に収集することができる。
3. 収集した情報を論理的、批判的に吟味し、自分の意見を加えて発表できる。
4. 海外での研究に従事することができる語学力を有する。(2015年度以前の入学生を除く。)

#### VI. 診療の実践

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時に患者に対しての同情心をもち、科学的根拠に基づいた安全な診療を実施できる。

1. 病歴を正確に聴取し、必要な身体診察ができる。
2. 基本的臨床手技を安全に実施できる。
3. 病歴・身体所見より鑑別診断を挙げ、必要な検査を選択し、その結果を評価できる。
4. 頻度の高い、または、緊急性や重症度の高い疾患・病態の診断・治療の計画を立てることができる。
5. 診療録を正確に記載し、診療情報を上級医に報告できる。
6. 症例についての要約（サマリー）を作成し、プレゼンテーションできる。
7. 病状説明や患者教育に参加できる。
8. 個人情報保護を理解し厳守できる。

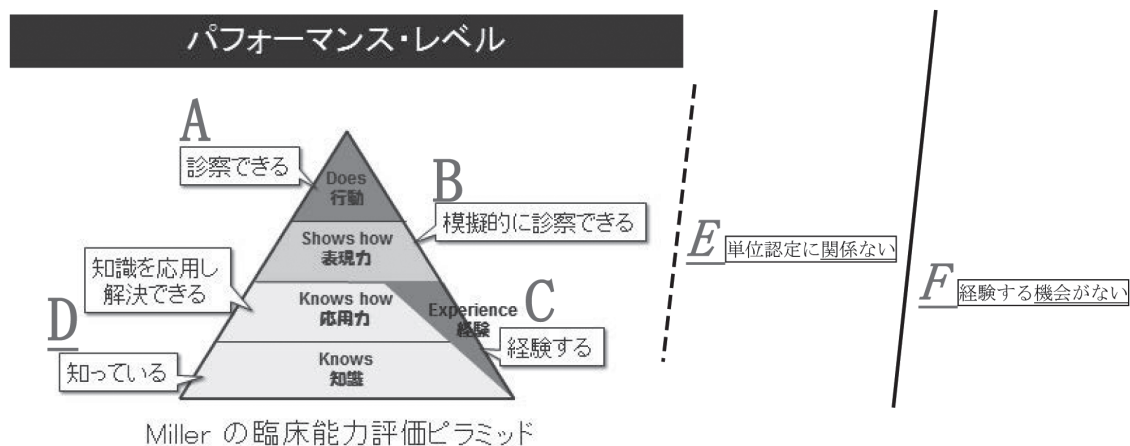
#### VII. 社会と医療

藤田保健衛生大学医学部学生は、卒業時に地域社会の保健・医療・福祉の施策に協力・推進し、公衆衛生の向上と増進に寄与できる。

1. 社会と健康の係わりを理解し、疾病予防と健康増進に取り組むことができる。
2. 保健・医療・福祉の現状を把握し、資源を活用してその改善を図ることができる。
3. 地域医療に貢献することができる。

## ② 臨床能力を評価するためのパフォーマンス・レベル

低学年における教科から、テーマに沿って段階的に実践力（応用力）を積み上げていき、卒業時に身につける能力をパフォーマンス・レベルとして評価する。



※ 千葉大 田邊先生の図改変

- A** : Does (「実践できる」「診察できる」といった臨床現場でのパフォーマンス)  
診療の一部としての実践できることが単位認定の要件である。  
多くは臨床実習で獲得する。
- B** : Shows How (「模擬的に実践できる」「模擬的に診察できる」といったパフォーマンス)  
模擬診療として実践できることが単位認定の要件である。  
シミュレーション学習で獲得する。
- C** : Experience (「経験する」「討論する」といった技能・態度)  
基盤となる技能、態度を修得していることが単位認定の要件である。  
エクスポージャー、討論、経験などで獲得する。
- D** : Knows (「知っている」といった浅い知識)  
Knows How (「知識を応用し解決できる」といった深い知識)  
基盤となる知識を修得していることが単位認定の要件である。
- 
- E** : 経験する機会があるが、単位認定に関係ない
- 
- F** : 経験する機会がない

## ③ 各教科の履修内容と卒業コンピテンシーとの関係

「卒業コンピテンシー」(37領域)の全項目について、各教科修了時における学生のパフォーマンスの到達レベル（パフォーマンス・レベル）をA～Fで表示する。(別表1参照)

# シラバスを読むにあたって

## 1. 内容について

この冊子は、Ⅰ. 授業、試験についての注意・留意事項、Ⅱ. シラバス、の二つの部分から成っています。Ⅰについては、学生が学習するにあたって、また、試験（定期試験、IT試験など）を受験するにあたっての注意・取り決め事項・心得・留意事項などをまとめた部分です。学生は内容を良く理解した上で責任ある学習の行動をとってください。次に、Ⅱについては、各授業科目の教育目標、学習目標、評価法、授業日程、到達目標などを示した部分です。以下の2～5を熟読し、高い学習効果をあげるよう活用してください。

## 2. シラバスの使い方

シラバスとは授業の概要のことです。この中には各授業を通して学生の皆さんが何を学ぶのかが提示されています。従って、授業に出る前に、シラバスには必ず目を通し、その到達目標を頭に入れて講義や実習に望むことが必要です。

シラバスに提示されていることは、「能動的」に「学ぶ」目標であり、「受身的」に「教えてもらえる」ことではないことを強調しておきます。大学は、学生自らが積極的に課題を見つけ、発掘し、そしてそれを解決して行く過程を学び、その力をさらに高めて行くところだからです。又、社会も藤田保健衛生大学もそのような意欲的な勉学態度を持ち続け、社会に貢献できる医師を養成することが大切であると考えます。各授業では教員は学生の理解を助け深めるような教材を提示し、学生の学ぶ意欲を引き出したいと考えています。授業で理解が十分出来なければ遠慮無く教員に質問してください。

## 3. 到達目標について

シラバスに記載された「到達目標」は、学生がその授業を通して学ぶ行動目標です。即ち「到達目標」として記載された事柄については、学生自らが説明したり、述べたり出来ることが求められます。「到達目標」のうち○で示されたものは医学部カリキュラム内容のうち「コア」の事項に相当し、全国の医科大学、医学部の授業で必修で学ぶべき項目に当たります。一方●で示されたものは本学独自のカリキュラム内容も踏まえており、コア以外の部分において学生諸君が学ぶべき項目を示しています。（「コア」の事項は、文部科学省との協力により「医学における教育プログラム研究・開発事業委員会」から「モデル・コア・カリキュラム」として平成13年に提示され、平成22年度に改訂されています。以下にモデル・コア・カリキュラムの項目を簡略して示したので参照してください。）本学カリキュラムにおける「到達目標」は○も●もその重要性は同じであることを念頭において学んでください。

### 【医学教育モデル・コア・カリキュラム（抜粋）】

#### A 基本事項

##### 1 医の原則

- (1) 医の倫理と生命倫理
- (2) 患者の権利
- (3) 医師の義務と裁量権
- (4) インフォームドコンセント

##### 2 医療における安全性確保

- (1) 安全性の確保
- (2) 医療上の事故等への対処と予防

- (3) 医療従事者の健康と安全

### **3 コミュニケーションとチーム医療**

- (1) コミュニケーション
- (2) 患者と医師の関係
- (3) 患者中心のチーム医療

### **4 課題探究・解決と学習の在り方**

- (1) 課題探求・解決能力
- (2) 学習の在り方
- (3) 医学研究への志向の涵養
- (4) 生涯学習への準備
- (5) 医療の評価・検証

## **B 医学・医療と社会**

- (1) 社会・環境と健康
- (2) 地域医療
- (3) 疫学と予防医学
- (4) 生活習慣と疾病
- (5) 保健、医療、福祉と介護の制度
- (6) 死と法
- (7) 診療情報
- (8) 臨床研究と医療

## **C 医学一般**

### **1 生命現象の科学**

- (1) 生命現象の物質的基礎
- (2) 生命の最小単位－細胞
- (3) 生物の進化と多様性
- (4) 生態と行動

### **2 個体の構成と機能**

- (1) 細胞の構成と機能
- (2) 組織・各臓器の構成、機能と位置関係
- (3) 個体の調節機構とホメオスタシス
- (4) 個体の発生
- (5) 生体物質の代謝
- (6) 遺伝と遺伝子

### 3 個体の反応

- (1) 生体と微生物
- (2) 免疫と生体防御
- (3) 生体と放射線・電磁波・超音波
- (4) 生体と薬物

### 4 病因と病態

- (1) 遺伝子異常と疾患・発生発達異常
- (2) 細胞傷害・変性と細胞死
- (3) 代謝障害
- (4) 循環障害
- (5) 炎症と創傷治癒

## D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

- 1 血液・造血器・リンパ系
- 2 神経系
- 3 皮膚系
- 4 運動器（筋骨格）系
- 5 循環器系
- 6 呼吸器系
- 7 消化器系
- 8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）
- 9 生殖機能
- 10 妊娠と分娩
- 11 乳房
- 12 内分泌・栄養・代謝系
- 13 眼・視覚系
- 14 耳鼻・咽喉・口腔系
- 15 精神系

## E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療

- 1 感染症
- 2 腫瘍
- 3 免疫・アレルギー疾患
- 4 物理・化学的因子による疾患
- 5 成長と発達
- 6 加齢と老化
- 7 人の死

## F 診療の基本

### 1 症候・病態からのアプローチ

【ショック】【発熱】【けいれん】【意識障害・失神】【チアノーゼ】【脱水】【全身倦怠感】  
【肥満・やせ】【黄疸】【発疹】【貧血】【出血傾向】【リンパ節腫脹】【浮腫】【動悸】【胸水】【胸痛】  
【呼吸困難】【咳・痰】【血痰・咯血】【めまい】【頭痛】【運動麻痺・筋力低下】【腹痛】【悪心・嘔吐】  
【嚥下困難・障害】【食思（欲）不振】【便秘・下痢】【吐血・下血】【腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤】  
【蛋白尿】【血尿】【尿量・排尿の異常】【月経異常】【関節痛・関節腫脹】【腰背部痛】

### 2 基本的診療知識

- (1) 薬物治療の基本原則
- (2) 臨床検査
- (3) 外科的治療と周術期管理
- (4) 麻酔
- (5) 食事と輸液療法
- (6) 医用機器と人工臓器
- (7) 放射線等を用いる診断と治療
- (8) 内視鏡を用いる診断と治療
- (9) 超音波を用いる診断と治療
- (10) 輸血と移植
- (11) リハビリテーション
- (12) 介護と在宅医療
- (13) 緩和医療・慢性疼痛

### 3 基本的診療技能

- (1) 問題志向型システム
- (2) 医療面接
- (3) 診療記録
- (4) 臨床判断
- (5) 身体診察
- (6) 基本的臨床手技

## G 臨床実習

(省 略)

#### 4. 評価法について

皆さんは「良き医師」になることを目指して学びます。その大きな目標に向かって学んで行く過程で、皆さんは学んだ成果についての評価を受けることになります。知識、技能、態度を含めた、多角的な評価を受ける必要があります。学生が各教科でどのような評価法を受けるかについてはそれぞれのページに記載されている事項をよく読み理解して下さい。

また、次学年への進級に当たっては以下に注意すること。

- (1) 不合格の科目がある場合は進級が認められません。ただし、各学年とも不合格科目が1科目のみで、かつ医学部教授会が別に定める要件をすべて満たしているときは、進級判定臨時教授会での審議を経て進級させることがある。未修得科目の累積は、2学年以降、各学年の進級判定時において2科目以内とする。
- (2) 2学年では(1)に加え、基礎医学科目が終了する学年末に実施される基礎総合試験に合格すること。
- (3) 4学年では(1)に加え、臨床の現場で患者さんに接するstudent doctorとしての能力を社会に示す必要があるため、共用試験に合格すること。安全管理研修会・感染対策研修会（秋季開催分）に出席すること。
- (4) 5学年では臨床実習の評価の他、ER実習、5学年総合試験に合格し、全体セミナー、安全管理研修会・感染対策研修会（春季・秋季開催分）に出席すること。

#### 5. 少人数学習形式授業について

1学年の「読書ゼミナール」、「早期臨床体験」、2学年の「Human Biology」、3学年の「PBL I」、そして4学年の「PBL II」などは数名から成るグループでの学習で進みます。コミュニケーションが重視される授業形式であり、時間や出席など遵守すべき事項があるので注意してください。これら科目の出席の取扱いに関する規定や評価法についてはシラバスに記載されています。

医学部 教務委員長  
長 崎 弘

## I 授業、試験についての注意・留意事項



## 1. 授業の欠席と定期試験受験資格についての注意

### 【授業時間】

- 1 時限 8:40 ～ 9:50
- 2 時限 10:00 ～ 11:10
- 3 時限 11:20 ～ 12:30
- 4 時限 13:20 ～ 14:30
- 5 時限 14:40 ～ 15:50
- 6 時限 16:00 ～ 17:10

### 【使用教室】

601	生涯教育研修センター 1 号館 6 階601講義室
602	生涯教育研修センター 1 号館 6 階602講義室
603	生涯教育研修センター 1 号館 6 階603講義室
701	生涯教育研修センター 1 号館 7 階701講義室
801	生涯教育研修センター 1 号館 8 階801講義室
809	生涯教育研修センター 1 号館 8 階809講義室
810	生涯教育研修センター 1 号館 8 階810講義室
901	生涯教育研修センター 1 号館 9 階901講義室
909	生涯教育研修センター 1 号館 9 階909講義室
910	生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室
1001	生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室
1101	生涯教育研修センター 1 号館11階1101講義室
1205	生涯教育研修センター 1 号館12階1205講義室
IT学習室	生涯教育研修センター 1 号館12階コンピュータ学習室
SGL室	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室1301 ～ 1316
スキルスラボ	生涯教育研修センター 1 号館14階スキルスラボ
B1実習室	医学部 1 号館地下 1 階実習室
B2実習室	医学部 1 号館地下 2 階実習室
1F実習室	医学部 1 号館 1 階実習室
フジタホール500	医学部 1 号館フジタホール500

各授業科目の欠席が所定の時間を超えると、当該科目に対する定期試験の受験資格を失うので、次の事項をよく理解し授業にのぞむこと。詳細は「藤田保健衛生大学医学部学生心得及び規程」を参照のこと。

1. 定期試験を受けるためには、授業科目ごとに次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない（藤田保健衛生大学医学部学生心得及び規程第28条）。
  - (1)所定の講義時間の2/3以上を受講していること。
  - (2)実習（臨床実習を含む）を完了していること。
2. 各授業科目を欠席した場合には、欠席理由を証明する資料を添えた欠席届・補講願を期限内に学務

課へ提出すること。欠席届・補講願が受理された者については、事情により補講・補習を行い、これの完了を条件として欠席時間の回復を認めることがある（藤田保健衛生大学医学部学生心得及び規程第35条）。

3. 欠席届・補講願の種類（下記 a～d）と提出期限に注意すること（藤田保健衛生大学医学部学生心得及び規程第35、36、37条）。

a) 通常の欠席

本学学校医の診断書、本人の配偶者、6親等内の血族及び3親等以内の姻族に当たらない医師の診断書、公的交通機関・警察などの発行する公的証明書などを添えて、出校後5日以内に欠席届・補講願を提出。

b) 忌引、出校制限を必要とされる疾患、就職試験、演者としての学会発表などによる特別の欠席  
出校後5日以内に事実を証明できる書類を添付して特別欠席届・補講願を提出。

c) 上記以外の理由で実習を欠席した場合は直筆で記載した保護者と本人の事由書を添付して、実習欠席届・補講願を提出すること。

d) なお病気、災害その他により欠席5日以上になる時は長期欠席届・補講願を提出。

また、2ヶ月以上になる時は休学願を提出。

4. 補講・補習による救済処置の適用上限は、原則として該当コマ数全体の1/3以内とする。講義・演習は原則として補講を行わない。

<補足資料>

○上記第2項による受験資格回復のための手順

- ①事由証明書を添えた欠席届・補講願（指導教員の署名・捺印を要す）が既に学務課へ提出され、受理されている。
- ②事務部長、教務委員長、学生指導委員長が確認・許可する。
- ③本人が該当授業担当教員（ないし教授）へ補講実施を依頼する。
- ④担当教員（ないし教授）による補講を実施する。
- ⑤教員の補講完了印が捺印された証明書を、該当試験日の前日昼までに本人が学務課へ提出する。

注1. 欠席届・補講願および事由証明書を提出しただけでは、受験資格回復の充分条件ではない（補講を行うことが必須条件である）。

注2. 欠席回数1／3超のため定期試験の受験資格なしと判定された者は、引き続き再試験の受験資格もない。

**2. 出校制限を必要とされる疾患への対応**

1. 出校制限を必要とされる疾患（学校保健安全法施行規則で指定されている感染症）

A. 第1種感染症（改正感染症法の一類感染症および結核を除く二類感染症）

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ（H5N1）

B. 第2種感染症（飛沫感染する伝染病で学校において流行を広げる可能性が高いもの）

インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風

しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎

C. 第3種感染症（学校教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性があるもの、改正感染症法の三類感染症を含む）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（感染性胃腸炎：ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症など）

2. Aの疾患に罹患した学生は、出校をせず適切な指定医療機関の指示に従う。その後、連絡の取れる家族又は関係者が、学務課に電話（0562-93-2603 夜間：080-2623-8002）で連絡する。学務課の職員は、学部長、学生指導委員長、教務委員長、事務部長、学校医（健康管理室長）、感染対策室長に連絡する。連絡を受けた前記の役職者は学部長を中心として対策を協議し、これを実施する。その際に学部長は、当該感染症の専門教職員の参加を要請することができる。罹患した学生は治癒するまで出校停止とする。
3. B及びCの疾患に罹患した学生は、出校をせず、学務課に電話（0562-93-2603）で連絡し、最寄りの医療機関で治療を受ける。その医療機関で出校を許可された後、出校する。なお、必要に応じて学長が出校停止を指示する場合がある。
4. これらの疾患に罹患した学生は、後日、診断書と特別欠席届を学務課に提出すること。
5. これらの疾患が、医学部で急速に広まる場合は、学部長が学長及び理事長に報告し、理事長の判断により、学校閉鎖を行う。
6. これらの疾患で、出校を制限された学生の授業や実習については、後日、補習などで可能な限り補填されることとする。ただし、期間の妥当性などに関しては、教務・学生指導合同委員会で協議することがある。

### 3. 学生の出席確認についての注意

学生の出席確認は、以下に示すとおり厳格に行う。

1. 学生の出席確認は、教員が講義室に入室後、速やかに実施する。出席確認は教員の講義室入室直後及び講義中に複数回行われることがある。
2. 講義・実習中も常時名札着用が義務づけられている。名札を着用していない学生は、たとえ出席していても欠席とみなす。
3. 途中一時退室を希望する学生は、その理由を教員に述べ、教員が許可すれば退室できる。
4. 教員の許可を得ないで退室した学生は、出席を取り消し、欠席とする。
5. 私語等、他の学生に迷惑をかける行動、態度をとった学生は退室を命じられることがある。この場合、出席を取り消し、欠席とする。

### 4. 学生による授業評価表の提出についての取り決め事項

1. 学生は「講義に関する学生評価」または「科目全体の講義企画に対する学生評価」を行うことになっている授業においては、次に定める規則に従って評価を行うものとする。
2. 評価方法  
eラーニングシステム（Moodle）で、講義終了後から当日の22時まで評価入力可能とする。なお、入力は1回のみとする。
3. 無効な評価

第2項に従って行われた評価であっても、当該授業に出席しなかった学生が回答したものは無効となる。

#### 4. 注意

学務課窓口では、学生からの申し立ては一切受け付けない。

### 5. 定期試験、IT試験受験の心得

試験を受験する際には、医学生としての良識に則り、下記の諸注意を遵守すること。

#### 1. 学生は試験会場への入室に際し、以下に従うこと。

- 試験開始5分前には指定座席に静かに着席すること。名札着用は必須である。万一忘れた場合は、至急学務課に行き、名札の購入を申請する。
- 20分以上遅刻した者の受験は一切認めない。(試験会場への入室禁止)
- 試験開始20分以内であれば、遅刻受験を認めるが、あくまで仮受験とする。
  - ・答案用紙の配布直前から完了までの間、試験会場への入室は禁止する。
  - ・遅刻者は試験監督者の指示に従い入室し、入室時に渡される「遅刻事由書」を記入した後、指定座席にて受験できる。(卒試、総合試験を除く)

#### 2. 筆入れ、下敷き、コート、ひざ掛け、デジタル時計などの使用は禁止する。

#### 3. 携帯電話等通信機器は、試験開始前に学務課にて回収し、試験終了後返却する。

#### 4. 予め許可のある場合を除き、教科書、ノート、参考書、辞書などの使用は禁止する。

#### 5. 学年・学籍番号・氏名などが明確に記載されていない答案用紙は、全て無効とみなす。

#### 6. 配布された答案用紙は全て提出しなければならない。答案用紙を試験会場の外に持ち出すことは不正行為とみなす。

#### 7. 試験会場内においては、全て監督者の指示に従って行動しなければならない。

#### 8. 試験開始後30分を経過しなければ、中途退出を認めない。(卒試、総合試験を除く)

#### 9. 不正行為、ならびにそれに準ずるとみなされるような行為は、絶対に行ってはならない。監督者が係る行為であると判断した場合には、直ちに答案用紙ならびに関係物品類を押収し、退出を命ずる。

上記の諸注意に違反する行為があった場合には、学則第45条、医学部学生心得及び規程第34条に基づき、教授会の議を経て、学長名で訓戒処分（謹慎、受験停止、停学、退学など）を行うことがある。

定期試験を欠席した際は、藤田保健衛生大学医学部学生心得及び規程第30条に則り手続きを踏むこと。追試験受験資格については教務委員会等で検討決定する。なお、手続きを踏まない者は追試験の受験資格を与えられない。

### 6. 各種試験における別室受験に関する取り決め事項

医学部で行われる各種試験（入学試験を除く）において、学生から別室受験の申し出があった場合には、以下の取り決めに従い対応する。（連絡先：学務課 0562-93-2603）

#### 1. 別室受験は、原則として次の号のいずれかに該当する学生を対象とする。

- 1) 出校制限を必要とされる疾患（学校保健安全法施行規則で指定されている感染症）に罹患した者で医学部長が認めた者

- 2) 試験日前日までに別室受験の申し出があり、医学部長が認めた者
- 3) 試験当日に、前記1)を疑われる症状<sup>\*1</sup>を呈した者から別室受験の申し出があり、医学部長又は教務委員長が認めた者

\* 1・・・インフルエンザを疑うのは、次のいずれかがある場合とする。

- a) 体温が38度を超えるとき
- b) 咽頭痛や咳などの感冒様症状があり、かつ体温が37度以上のとき

2. 各種試験における別室受験の実施は、以下のとおり対応する。

試験区分	別室受験の対応
卒業試験（1・2・追）	有
総合試験（基礎・M5）	有
共用試験C B T	有
O S C E 全般	なし
定期試験	なし
再（追）試験	有
中間試験	なし
I T 試験	なし
T O E F L    I T P    テスト	なし

\* 定期試験及び中間試験において、学生から別室受験の申し出があった場合、実施の適否は学科目担当責任者の判断に委ねる。ただし、試験会場及び試験監督者の手配は学科目担当責任者が行って下さい。

## 7. 進級・卒業判定基準について

### 1 学年から 6 学年共通要件

各学年次に履修すべき全科目（アセンブリを含む）の履修を進級の条件とする。

### 1 学年から 4 学年共通要件

再試験不合格科目が2科目以内の場合、その科目の特別再試験を受験し、特別再試験での合格を条件に進級を認める。不合格科目を持つ学生は、特別再試験を必ず受験しなければならない。ただし、各学年とも特別再試験での不合格科目が1科目のみで、かつ「特別裁量要件」を全て満たしている時、進級判定臨時教授会での審議を経て進級を認めることがある。

#### 【特別裁量要件】

- A) 不合格科目の本試験の評価点<sup>註1)</sup>が基準以上であること。
- B) 本試験の総合成績（GPA）において、基準以上の成績を取めていること。
- C) 2 学年は基礎総合試験、4 学年はCBTにおいても基準以上の成績を取めていること。
- D) 進級に際し、学部長へ「卒業までに相応する知識を修得する」旨の念書を提出すること。

なお、未修得科目の取り扱いは以下の通りとする。

- ①未修得科目の累積は、2学年以降、各学年の進級判定時において2科目以内とする。
- ②未修得科目を持つ学生は、進級後に単位修得のため試験を受けることができる。<sup>註2)</sup>
- ③卒業判定教授会までに未修得科目の単位が修得できていない場合、教授会が別に定める、未修得科目等についての試問に合格することによって卒業を認めることがある。

註1) 本試験結果の「素点」とIT試験及び実習などの平常点を加算した合計点(100点満点)のこと。

註2) 未修得科目の単位取得は、科目等履修生に準じて本試験、再試験及び特別再試験によって判定を行う。

未修得科目のIT試験、実習を受ける必要はない。2学年の基礎総合試験を再受験する必要もない。

留年者は次年度に全科目を再履修する必要がある。

## 2 学年特別要件

共通要件に加え、基礎総合試験に合格(60%以上あるいは平均点 $-1\sigma$ から平均点 $-1.5\sigma$ の間で判定)することを進級の条件とする。

## 4 学年特別要件

共通要件に加え、次の各号の要件を全て満たすことを進級の条件とする。

### 1. 全国共用試験に合格する。

全国共用試験の合格基準は次のとおりである。

- ①CBTの合格基準は別に通知する。
- ②OSCEで2課題を合格すること。
  - a. 技能の評価:「医療面接」200点満点、「バイタルサイン」等6ステージ各100点の合計800点満点の70%(560点)以上
  - b. 態度の評価:80%以上

### 2. 安全管理研修会・感染対策研修会(秋季開催分)へ出席する。

※進級\*判定後、進級\*者は4学年後期から臨床実習を開始し、留年者は4学年後期の臨床実習期間を自学自習にあてる。

\*便宜上「進級」という文言を使用するが、4学年臨床実習に臨む資格があることを認定するものである。上に記載した4学年の進級条件を満たした学生は、4学年臨床実習から継続して5学年臨床実習に臨むことができる。

## 5 学年特別要件

次の各号の条件を全て満たすことを進級の条件とする。

- 1. 臨床実習の65単位中53単位以上が60%以上の評価点をとる。  
(65単位中12単位が60%未満の評価点の場合は不合格)
- 2. ER実習に合格する。
- 3. 総合試験I及びIIに合格する。
- 4. 全体セミナーに出席する。
- 5. 平成29年10月～平成30年2月に予定されている実習に合格する。

6. 安全管理研修会・感染対策研修会（年2回）へ出席する。

※6年に進級が決まった学生の内、総合試験成績下位者は基礎学力強化合宿（3月下旬～4月上旬予定）への参加を義務づける。

#### 6 学年特別要件

次の各号の条件を全て満たすことを卒業の条件とする。

1. 卒業試験に合格する。
2. 大学が指定する卒業要件を全て満たすこと。

#### 【卒業試験の合否判定】

- ①卒業試験Ⅰ（9月初旬実施予定）の得点3割と卒業試験Ⅱ（11月下旬実施予定）の得点7割を合算した卒業試験総合成績を用いて12月中旬に行う。
- ②①で卒業認定された学生の内、下位40名程度を卒業保留者とする。  
卒業保留者は、卒業保留者追試験（1月初旬実施予定）を受験する。卒業試験総合成績5割と卒業保留者追試験成績5割を合算した総合成績を用いて1月下旬に行う。

#### 【卒業認定者、卒業保留者に対し、大学が指定する卒業要件】

##### ◇卒業認定者（卒業保留者以外）

- ・1月開催の全国模擬試験の受験
- ※年末年始の強化授業、2月VTR講義の受講は任意とする。

##### ◇卒業保留者

- ・年末年始の強化授業への出席
- ・1月開催の全国模擬試験の受験
- ・1月末に実施予定の卒業保留者追試験の受験
- ・2月VTR講義への出席
- ・2月国試直前合宿への参加（指定者のみ）

#### 8. 自習のために利用できる施設及び利用上の留意事項

学生が自習のために利用できる施設は、図書館、生涯教育研修センター1号館7階自習室、9階中教室、10・11階（6学年自習室）、13階SGL（Small Group Learning）室、職員宿舎とよあけ1・2階（5学年グループ学習室）及び医学部1号館1階・3階自習室（臨床実習を行う学生のみ利用可）である。施設利用に際し留意すべきことを以下に示す。なお、名札未着用者の自習室への入室を禁ずる。また、著しいマナー違反者はすべての自習室の使用を禁止する場合もあるので、規則を遵守し、良識をもって利用すること。

#### <図書館>

1. 開館時間は平日の8時45分から22時まで、土曜日は17時までとする。1月下旬～2月は日祝祭日も開館する。

2. 利用にあたっては「藤田学園医学・保健衛生学図書館利用規程」を遵守すること。

#### ＜生涯教育研修センター 1号館7階自習室＞

1. 年間を通して利用できる。利用可能時間は9時から24時までとする（利用できない場合もあるので事前に確認しておくこと）。
2. 利用申し込みは、9時から18時までに生涯教育研修センター 1号館警備室に備えてある生涯教育研修センター 1号館7階自習室利用者名簿に必要事項を漏れなく記載すること。
3. キープと称して机を占拠するなど私物化しない。私物類はその都度持ち帰ること。
4. 私物類の放置は不要品と見なし廃棄する（収集・廃棄は契約業者が行う）。
5. 自習室内は、飲食は禁止する。備え付けの備品等を損傷・破損してはならない。（備品等の修復に係る費用は請求する場合もある。）
6. 他の利用者等に迷惑がかかる行為を行ってはならない。学生にあるまじき行為をした場合は、部屋の利用は禁止し、厳罰に処すことがある。

#### ＜生涯教育研修センター 1号館9階中教室＞

1. 前期・後期定期試験前の2週間及び試験期間中、原則として8時30分から24時までの間、生涯教育研修センター 1号館9階909・910講義室を自習スペースとして開放する。ただし、授業で使用している場合は利用できない。
2. 利用者は施設使用後に後片づけなど整理整頓をして原状に復すること。
3. 勉強スペース確保のため私物留置等を行った者は、嚴重注意の上、当分の間、施設利用を不許可にする。
4. 私物類の放置は不要品と見なし廃棄する（収集・廃棄は契約業者が行う）。
5. 他の利用者等に迷惑がかかる行為を行ってはならない。学生にあるまじき行為をした場合は、施設の利用は禁止し、厳罰に処すことがある。

#### ＜生涯教育研修センター 1号館10階・11階（M6自習室）＞

1. 自習室の使用時間は6時30分から24時までとする。
2. 各室班長が毎月「教室等使用許可願」を学務課に提出すること。許可願は利用月の10日前から前日までに提出しなければならない。未提出の場合は使用を禁止する。
3. 室内は土足禁止とし、清潔な状態を保つこと。目隠しや貼り紙等の室内装飾は禁止する。また、室内への私物類の持込は最小限に止め、電子レンジ・テレビ等の家電品、カセットコンロ等の調理品、暖房機器等の持ち込みは禁止する。明らかに学習に必要な物（教科書や書籍類など）以外の持ち込みを希望する場合は、班長が班員の要望をとりまとめ、申請書に事由書を添えて、事前に許可を得なくてはならない。
4. 備え付けの備品および壁を損傷・破損してはならない。修復に係る費用は請求する場合もある。
5. 使用期日が終了したら室内の清掃をし、学務課の点検を受けて速やかに自習室を返却しなくてはならない。

#### ＜生涯教育研修センター 1号館13階SGL室(1301～1316)＞

1. 利用できる日時は、原則として平日の15時50分から24時及び土曜日の8時30分から24時までとし、日曜祝日、6月11日、10月10日、年末年始は利用できない。
2. 利用の申し込みについては、学務課へ届け出ること。申込み方法は、利用する日ごとに「教室等使用許可願」を記入し、平日は8時30分から16時30分、土曜日は8時30分から12時までに提出すること。部屋の鍵は、平日15時50分から16時30分、土曜日8時30分から12時の間に、学務課より受け取ること。

時間内に鍵を受け取らない場合は利用申し込みを取り消す。

3. 利用者は施設使用後に後片づけなど整理整頓をして、原状に復し、施錠をすること。施錠後は利用終了時間が①平日16時30分、土曜日12時以前の場合は学務課へ、②平日16時30分、土曜日12時以降の場合は生涯教育研修センター1号館警備室へ鍵を返却すること。（警備員が不在の場合は、警備室カウンター脇に備え付けてある「13階SGL室鍵返却BOX」に返却すること。）
4. SGL室は勿論のこと、フロア内での飲食は禁止する。備え付けの備品等を損傷・破損してはならない。（備品等の修復に係る費用は請求する場合もある。）
5. 隣室等の邪魔になるような大きな音を出すなど、他人に迷惑がかかるような行為を行ってはならない。学生にあるまじき行為をした場合は、部屋の利用は禁止し、厳罰に処すことがある。
6. 私物類の放置は不要品と見なし廃棄する（収集・廃棄は契約業者が行う）。
7. SGL室の定員は16名とする。
8. 試験・行事等を考慮して利用方法等を制限する場合がある。
  - 授業期間を除く平日の利用は土曜日に準ずる。
  - 定期試験開始の1週間前より1～4年生に貸し出す部屋を割り当てる。
    - ・割り当ての解除は平日13時、土曜日9時からとする。（試験期間中の解除は土曜日に準ずる）
  - 1～4年生の総合試験、共用試験の1週間前より該当学年のみ部屋を割り当てる。

#### ＜職員宿舎とよあけ1階・2階（M5グループ学習室）＞

1. 学習室の使用時間は6時から24時までとする。
2. 利用するにあたり、事前にグループ学習室代表者が「職員宿舎とよあけグループ学習室使用誓約書」を提出すること。
3. 学習室は、清潔な状態を保つこと。貼り紙などの室内装飾は禁止する。また、明らかに学習に必要なもの（教科書や書籍類など）以外の持ち込みはしないこと。学習室使用後は後片づけなど整理整頓をして原状に復すこと。
4. 備え付けの備品および壁を損傷・破損してはならない。備品などの修復に関する費用は請求する場合もある。
5. ガス、風呂、シャワー、洗濯機、乾燥機についての使用を禁止する。但し、エアコン、冷蔵庫については使用を許可する。
6. 他の利用者などに迷惑が掛かる行為を行ってはならない。学生にあるまじき行為をした場合は、学習室の利用は禁止とし、学則に従い厳罰に処する。
7. 私物類の放置は不要品として廃棄する。廃棄に伴う費用は学生負担とする。
8. 学習室は、医学部担当教員および医学部事務部職員が管理において必要時に出入りする。
9. 1人の無責任な行為は、グループ全体の連帯責任とする。

#### 9. 教室・実習室・ロッカー等の利用に関する注意

- 教室・実習室等は授業以外にも入学試験、医学セミナー等の学事に使用されるため、学生は教室・実習室等を常に清潔に保つ義務を有する。
- 学生は日頃、教室・実習室・ロッカー等の清掃に努めること。年度末や大学入試の前には、特に留意して清掃に関する掲示の指示に従うこと。
- 学生は教室・実習室・ロッカー上部等に私物等を放置しないこと。
- 教室・実習室・ロッカー等に放置された私物類（書籍、ノート、文具、傘ほか）については、その日

の17時以降に回収し、3日間学務課で預かる。忘れ物に気付いた場合は3日以内に学務課に申し出る  
こと。

- 3日を越えても申し出のない私物等は、学務課で廃棄処分にする。私物等の廃棄に係る費用を大学が学生に請求する場合がある。
- ロッカーの使用において問題があると大学が判断した学生に対しては、次年度以降のロッカーの貸出を行わない場合がある。

#### 10. IT学習室（12階）利用に関する心得

IT学習室は、医学医療の教育、試験等での利用を主目的として設置されている。なお、当面は教員の指導下での利用に限る。

利用する学生は、以下の心得に従って利用すること。

1. 飲食を行わないこと。
2. 室内の清潔、整理整頓に留意し、利用終了時には備品を原状に復しておくこと。
3. 緊急事態に備え、IT学習室および生涯教育研修センターからの避難経路について熟知しておくこと。
4. 倫理に反する行為を行わないこと。倫理に反する行為を行った場合には学則・諸規程に則り懲戒およびIT学習室の利用停止の処分を受けることがある。
5. 他人に迷惑を及ぼす行為を行わないこと。他人に迷惑を及ぼす行為を行った場合にはIT学習室の利用停止の処分を受けることがある。
6. IT学習室の備品を破損した場合には教員に直ちに報告し、破損届けの文書を提出すること。利用者の粗暴な扱いに基づくと判断された破損について、医学情報教育推進室室長から修復費の負担を請求されることがある。
7. IT学習室における授業や試験、研修等を妨害しないこと。
8. 授業や試験の時間帯を超えてIT学習室内に所有物を放置しないこと。放置した所有物は廃棄される。廃棄に係る費用の負担を請求されることがある。
9. 盗難防止、不正防止等のための監視用カメラがIT学習室内に設置されていることを熟知しておくこと。
10. IT学習室の管理運営について意見や質問がある場合は、医学情報教育推進室に提出すること。

#### 11. 情報検索室(12階)利用に関する心得

情報検索室は、学生の勉学に向けたコンピュータの情報検索機能の共同利用を主目的として設置されている。利用できる時間は、平日は8:30～20:00、土曜日は12:30までとする。なお、日曜祝日及び休日、6月11日、10月10日、年末年始は利用できない。利用する学生諸君は、以下の心得に従って利用すること。

1. 入室時に、自らの名前、所属（学部学年等）、入室時刻を記入用紙に記載すること。
2. 飲食を行わないこと。
3. 室内の清潔、整理整頓に留意し、利用終了時には備品を原状に復しておくこと。
4. 緊急事態に備え、情報検索室および生涯教育研修センターからの避難経路について、熟知しておくこと。

5. 倫理に反する行為を行わないこと。倫理に反する行為を行った場合には学則・諸規程に則り懲戒を受けることがある。
  6. 長時間の座席の占有を含め、他人に迷惑を及ぼす行為を行わないこと。他人に迷惑を及ぼす行為を行った場合には情報検索室の利用停止の処分を受けることがある。
  7. 情報検索室の備品を破損した場合には教員に直ちに報告し、破損届けの文書を提出すること。利用者の粗暴な扱いに基づくと判断された破損について、コンピュータ関連教室室長より修復費の負担を請求されることがある。
  8. 情報検索室内に所有物を放置しないこと。放置した所有物は廃棄される。廃棄に係る費用の負担を請求されることがある。
  9. 盗難防止、不正防止等のためのカメラが情報検索室内に設置されていることを熟知しておくこと。
- 情報検索室の管理運営について意見や質問がある場合は、コンピュータ関連教室管理運営委員長あるいはコンピュータ関連教室室長・室員に提出すること。

## 12. CSフロア（14階）利用に関する心得

CSフロアは、藤田学園で学び、研修する教職員、研修医、学生が知識・技能・態度ともすぐれた医療人になるために基本的な診療技術を修得する場を提供することを目的に設置されている。利用者は本学園の教職員、研修医、学生および特に利用が許可された者で、利用できる時間は、年中6:00～24:00とするが、必ず事前に管理者に申し出ること。管理者の対応時間は、年末年始を除く平日の9:00～17:00とする。利用する学生諸君は、以下に従って利用すること。

### 1. CSフロアの利用手続き

所定の使用願をCSフロア管理室（生涯教育研修センター1号館14階、内線2794）に提出すること。

スキルスラボの使用にあたって、使用器材によっては使用法に習熟したインストラクター（教職員およびトレーニングを受けた学生）の同伴が求められることがある。

\*使用願は学園ホームページからのダウンロード、CSフロア管理室で入手できる。

\*使用願を提出前に使用状況の確認をCSフロア管理室で行うこと。

\*授業での使用が優先される。また管理・運営上必要な場合には利用を制限することがある。

### 2. CSフロア機材の貸出し

原則としてCSフロア機材は施設外への貸出しは行わない。研修会などやむを得ない場合は貸出しを許可することがある。学园内・外の他の場所での使用に関しては、その機材の使用法を熟知した教職員（学生）が借用責任者となること。

機材貸出し時には所定のCSフロア機材借用届をCSフロア管理室に提出すること。

### 3. 部屋の施錠等

使用許可をうけた利用者は、廃棄物などの処理を適切に行い、使用終了後は空調・照明を消すこと。

### 4. 備品などの破損に関して

備品・器具等は現状復帰を原則とし、不用意に備品・器具を破損した場合には、所定のスキルスラボ利用記録に破損の状況を記載し、直ちに管理者に申し出ること。また、破損の状況により、利用者がその修理費用等を負担しなければならない場合がある。

### 5. 消耗品など

使用する消耗品（フェイスマスクなど）は各自持参するのを原則とする。

なお、CSフロアは全学の共同利用施設であるが、その管理・運営は医学部があたる。

### 13. 学内LAN利用上の注意

大学内の建物は学術・教育用のネットワークによって接続されており、このネットワークは医科学情報ネットワーク（通称：学内LAN）と呼ばれています。

学内LANはインターネットにも接続され、ホームページを使った情報検索や、電子メールなどが利用できます。学内には学生が自由に利用できる端末が各所にありますが、インターネットに関する犯罪が多発しており、学内LANを利用する場合には以下の点について注意し、利用してください。

#### 1. パスワード等個人情報の保護に関する注意

- ・パスワードを他人に教えてはいけません。
- ・他人のパスワードを不正に入手してはいけません。
- ・他人のID、パスワードを利用してネットワーク上のパソコンにアクセスする行為は「不正アクセス禁止法」により罰金または懲役を科せられます。
- ・個人情報保護のガイドラインを遵守してください。

個人情報保護のガイドラインに抵触する行為があった場合には学則第45条および第46条に基づく処罰を受けることがあります。

#### 2. 著作権侵害等に関する注意

- ・ファイル交換（P2P）による著作権侵害が非常に大きな社会問題になっています。
- このため、学内LANにおけるファイル交換ソフトの利用は禁止されています。
- 本項に反する行為があった場合には学則第45条に基づく処罰を受けることがあります。

#### 3. ウイルス、ネットワーク犯罪の予防と対処

- ・コンピュータウイルスに感染しないように、自分のノートブックコンピュータを学内LANに接続する場合はウイルスチェックソフトを導入しておいてください。
- ・ネットワーク利用時には種々の詐欺行為の被害者とならないように気をつけてください。特に金融機関などを装ったメールやWebサイトを警戒し、金融関係の暗証番号やクレジットカード番号などの管理には十分注意してください。
- ・ネットワークを使った犯罪により被害を被った場合には速やかに教員・職員に連絡してください。

#### 4. 他のコンピュータ利用者への配慮

- ・学内のコンピュータ関連機器・設備の利用に当たっては、他の利用者の迷惑にならないように、利用時の静粛および利用後の作業スペースの整頓を心がけてください。
- ・電子メールや電子掲示板などを使う場合は、第3者に迷惑をかけないように、記載内容に配慮してください。

### 14. 臨床実習における患者等の個人情報保護について

#### I. 学内施設での臨床実習における患者等の個人情報保護に関する規則（学生用）

1. 臨床実習中に患者の個人情報を含むすべての個人情報について、漏洩、盗聴、無許可閲覧、改ざん、破壊あるいは消去などに関して学生が関与する問題が発生した時、発見した医学部あるいは病院職員は、直ちに実習担当の指導医または実習責任者に口頭で報告し、実習責任者は各教育病院の臨床実習運営委員会委員長に報告する。
2. 各教育病院の臨床実習運営委員会委員長は関係者および学生から事情聴取を行なう。

3. 各教育病院の臨床実習運営委員会委員長は医学部長、病院長、教務委員長、学生指導委員長、事務部長らと協議して問題の解決に当たる。
4. 医学部長は教授会において事例の報告を行なう。
5. 学生が個人情報等を故意に漏洩、盗聴、無許可閲覧、改ざん、破壊あるいは消去した場合には、学則第45条に基づく処罰を行なう。
6. また、個人情報等を過失により漏洩、消去あるいは紛失した場合であっても学則に基づき処罰を行なう場合がある。
7. 大学側は、必要ならば刑事告発をする。

注1： 早期臨床体験実習中に問題が発生した場合には第1項、第2項、第3項における「各教育病院の臨床実習運営委員会委員長」を「早期臨床体験実習コーディネーター」と読み替えるものとする。

注2： 選択制総合医学実習中に問題が発生した場合には第1項、第2項、第3項における「各教育病院の臨床実習運営委員会委員長」を「選択制総合医学国内委員会委員長」と読み替えるものとする。

## Ⅱ. 学外施設での臨床実習における患者等の個人情報保護に関する規則（学生用）

1. 学外施設での臨床実習中に患者の個人情報を含むすべての個人情報について、漏洩、盗聴、無許可閲覧、改ざん、破壊あるいは消去などに関して学生が関与する問題が発生した時、発見した施設職員は、直ちに学外実習担当講師に口頭で報告し、学外実習担当講師はファックスまたは電話で医学部長に連絡する。
2. 医学部長は、6学年選択制総合医学においては選択制総合医学国内委員会委員長に対して、また4・5学年臨床実習においては臨床実習運営委員会委員長に対して、関係者および学生から事情聴取を行なうよう指示する。
3. 選択制総合医学国内委員会委員長又は臨床実習運営委員会委員長は医学部長、教務委員長、学生指導委員長、事務部長らと協議して問題の解決に当たる。
4. 医学部長は教授会において事例の報告を行なう。
5. 学生が個人情報を故意に漏洩、盗聴、無許可閲覧、改ざん、破壊あるいは消去した場合には、学則第45条に基づく処罰を行なう。
6. また、個人情報を過失により漏洩、消去あるいは紛失した場合であっても学則に基づき処罰を行なう場合がある。

## 15. 電子カルテ等の患者個人情報取り扱いの注意

### I. 電子カルテの使用

電子カルテの使用に当たっては、下記事項を厳守すること。

- 1) 指導担当の教員から指示された患者の電子カルテを閲覧・記載する。担当患者以外の閲覧は禁じられている。
- 2) 電子カルテシステム使用に当たっては、事前にトレーニングを受け、ID及びパスワードの発行を受けること。
- 3) 電子カルテの利用時には患者毎に使用者が自動的に記録されることに留意すること。
- 4) 自らがアクセスした電子カルテを他者に利用させないこと。（他者による不正使用が自らの使用履

歴として記録される危険性があります。)

- 5) 他者がアクセスした電子カルテシステムを使用しないこと。(不正使用履歴により他者に損害を与える危険性があります。)
- 6) 検査結果の画像を含め、使用中のカルテの画面内容を携帯電話、カメラ等で写真撮影しないこと。
- 7) 電子カルテ使用途中で離席する時は、毎回使用終了(ログアウト)の手続きを必ず行うこと。
- 8) 使用の最後には、使用終了(ログアウト)の手続きを必ず行うこと。

## Ⅱ. 紙媒体への記入もしくは私的PC(パーソナルコンピュータ)へのデータ入力について

個人情報保護法に則し、患者氏名、ID.No、生年月日、住所、入院日、手術日等個人が特定できるデータを、紙媒体、電子媒体(例、私的PC、USB等)として保管しないこと。

## Ⅲ. 患者個人情報の指定区域\*外への持ち出し禁止

患者個人情報は、以下に従い扱うこと。

- 1) 電子カルテの記載内容や検査値等を直接プリントアウトしたものや、患者さんの情報が記載されている紙媒体などは、絶対指定区域外に持ち出さないこと。また、指定区域内であっても放置せず、常時携帯すること。
- 2) ローテートした科の終了時までに、上記1)の患者個人情報の書類は、必ずシュレッダーで破棄しておくこと。
- 3) 発表したケースレポートやOHPフィルムについても、ローテートした科の終了時までに、上記と同様に対処すること。
- 4) 私的PC及び記録メディア中の記載も、ローテートした科の終了時までに、個人情報が誤って入力されたりしていないか厳格に確認すること。

\*指定区域：第一教育病院…各病棟、スタッフ館、外来棟  
第二教育病院、七栗記念病院…各病棟、医局

## Ⅳ. 私的PCならびにUSBメモリー使用上の注意

臨床実習で使用する私的PCは、ファイル交換ソフトがインストールされておらず、最新のウィルス対策がなされているものに限る。またUSBメモリーもパスワードでロックされるものを使用すること。なお、使用にあたっては、ログインパスワードの設定、情報の匿名化や暗号化を徹底すること。

## Ⅴ. 患者包括同意の表示について

第一教育病院の電子カルテ(第一画面)上には、Student Doctorを意味する「SD」のアイコンが表示される。包括同意を得られた患者は青色で「SDあり」、断った患者は赤字で「SDなし」、同意を確認できていない患者は非表示となる。

## Ⅵ. 処罰について

上記の注意事項を遵守しない場合は、「藤田保健衛生大学医学部患者等の個人情報保護に関する誓約書」に違反するため処罰する。

## 16. 藤田保健衛生大学医学部における学生の個人情報保護について

医学部事務部 H17年5月1日

「個人情報」とは、個人に関する情報で、氏名、学籍番号、生年月日、住所、電話番号、顔写真などによって特定の個人を識別できる情報を指します。医学部における学生教育には、さまざまな個人情報を作成し、利用することが不可欠です。医学部では、教育、研究そして診療にかかる機関として、学生の個人情報を含む記録を所定の目的に使用いたします。もちろん、医学部において使用される個人情報の保護には万全の体制で取り組みます。本説明文について疑問があるときは医学部長に申し出てください。申し出がない場合には本説明書の内容については包括的に同意が得られたものとします。

学生のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本説明文は平成17年5月1日から発効しますが、国内における法整備あるいは他大学の状況に基づいて随時見直しを図るものとします。

1. 医学部における学生個人情報の利用目的：学生の個人情報は下記の目的に利用します。
  - (1)科目責任者による学生の当該科目成績評価および管理
  - (2)教授会や事務部による学生の成績管理および進級判定
  - (3)教授会や事務部による学生の出席管理
  - (4)教授会や事務部による学生生活指導および管理（宿所届、顔写真など）
  - (5)教授会や事務部による学生教育および指導上の連絡
  - (6)ご父母（保護者）への成績や出席状況の説明
  - (7)医学部が指定する試験等に係る第三者への情報提供
2. 上記の目的以外の利用：事前に学生に対して目的を連絡又は公表し、学生からの同意を得た上で行います。
3. 学生の権利：個人情報について学生には次の権利があります。
  - ・ 所定の手続きを行った上で、自己の個人情報の開示を請求することができます。
  - ・ 開示を受けた自己の個人情報の内容について不服があれば、所定の手続きの上、医学部に対し、異議申し立てができます。
4. 学生のプライバシー保護：医学部における学生のプライバシー保護のために下記の点に留意します。
  - ・ 定期試験評価、進級判定結果等の発表は、個人名が特定できない形で行います。
  - ・ 学生の健康診断、予防接種などに懸かる結果の通知は学生のプライバシーを損なわない方法により行います。
5. 第三者への情報提供：学生本人の同意がある場合や、法令により開示が求められた場合等、正当な理由がある場合の他は、個人識別が可能な状態で第三者に情報は提供しません。
6. 個人情報に関する相談窓口：個人情報の取り扱いに関する疑問や不明な点がある場合は、指導教員、教務委員長、学生指導委員長、学年担任が相談窓口となりますので、いずれかまで連絡してください。また、学生からの個人情報保護に関する意見や提案などについては学生・教員懇談会が窓口となります。
7. 医学部個人情報保護委員会：学生の個人情報保護に関する審議のために本委員会を医学部教授会内におきます。



## Ⅱ 教 育 要 項



## 近現代文学Ⅰ（ポップカルチャーから現代日本社会まで）

### 〔教育目標〕

日本の近現代文学を出発点にし、表現文化の特質、さらにはその社会的批評性について学び、理解することを目標とする。同時に、表現文化を研究する際に必須の批評理論の基礎を学び、それら批評理論を使って表現文化を分析する能力を身につける。

現在の日本近現代文学研究の射程は広く、マンガ・アニメ・映画にまで至る。本授業であつかうのは、小説およびアニメーションなどの多様な表現文化である。身近にある様々な表現文化から、言語や性、あるいはメディアなどに関わる能力を養う。そのことを通じて、人間と小説などの表現文化との関わりについて理解を深める。

### 〔学習目標〕

日本近現代文学およびその他の表現文化について、表現方法について考察し、表現の批評性について理解を深める。同時に批評理論について学び、その援用を試みる。

### 〔授業の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。  
教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。  
授業時に示す課題を作成する。

### 〔評価〕

持ち込み不可のテスト（80％）および、レポート・課題（20％）で評価する。ただし、レポート・課題未提出の場合は、評価対象としない。

### 〔フィードバック〕

授業内容をふまえ、再度、作品・文献を読解し理解を深める。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜日	時間	場所
奥田 浩司 客員准教授	毎週水曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館9階909講義室

### 〔教科書〕

『刺繍する少女』小川葉子（角川文庫）  
『注文の多い料理店』宮沢賢治（新潮文庫）

### 〔推薦参考書〕

授業時に示します。

### 〔使用する教室〕

生涯教育研修センター1号館9階909講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	12	水	1	奥田浩司	選択科目ガイダンス	1001
1	4	19	水	1	奥田浩司	(1)作品を読むとはどういうことか ●分析的な読解について理解する。	909
2	4	26	水	1	奥田浩司	(2)文学的な言語表現について:導入 ●文学的な言語表現の特徴を説明できる。	909
3	5	10	水	1	奥田浩司	(3)文学的な言語表現について:展開 ●文学的な言語表現について簡単な分析ができる。	909
4	5	17	水	1	奥田浩司	(4)物語と構造:導入 ●物語の構造分析について説明できる。	909
5	5	24	水	1	奥田浩司	(5)物語と構造:展開1 ●物語の構造分析の方法論を理解する。	909
6	5	31	水	1	奥田浩司	(6)物語と構造:展開2 ●物語の構造分析を具体的な作品を用いて説明できる。	909
7	6	7	水	1	奥田浩司	(7)物語と構造:展開3 ●学んだ知識を活用し小説以外の表現を分析する。	909
8	6	14	水	1	奥田浩司	(8)児童文学と現代の視覚文化:導入 ●宮沢賢治『どんぐりと山猫』について説明できる。	909
9	6	21	水	1	奥田浩司	(9)児童文学と現代の視覚文化:展開1 ●『どんぐりと山猫』と『となりのトトロ』を比較して考察できる。	909
10	6	28	水	1	奥田浩司	(10)児童文学と現代の視覚文化:展開2 ●宮沢賢治『なめとこ山の熊』について説明できる。	909
11	7	5	水	1	奥田浩司	(11)児童文学と現代の視覚文化:展開3 ●『なめとこ山の熊』と『もののけ姫』を比較して考察できる。	909
12	7	12	水	1	奥田浩司	(12)現代の視覚文化の諸問題:1 ●『思い出のマーニー』の問題点について説明できる。	909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
13	7	19	水	1	奥田浩司	(13)現代の視覚文化の諸問題:2 ●『思い出のマーニー』と現代社会の関係について考察する。	909
	7	26	水	1	奥田浩司	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 近現代文学Ⅱ（ポップカルチャーから現代日本社会まで）

### 〔教育目標〕

日本語で書かれた近現代文学を中心に、映像文化における受容の問題、障害者、セクシャルマイノリティに関する表現について扱う。同時に、表現文化を研究する際に必須の分析方法（批評理論）の基礎も学び、それを使って表現文化を分析する能力を身につける。

現在の日本近現代文学研究の領域は広く、マンガ・アニメ・映像文化にまで至る。本授業で扱う対象は、小説、映画、アニメなどである。このようなポップカルチャーも含めた幅広い表現文化について考察することを通して、表現し受容することの社会的な意味について理解を深める。

### 〔学習目標〕

日本近現代文学おとびその他の表現文化について、表現方法について考察し、表現の批評性について理解を深める。同時に批評理論について学び、その援用を試みる。

### 〔講義の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。  
教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。  
授業時に示す課題を作成する。

### 〔評価〕

持ち込み不可のテスト（80％）および、レポート・課題（20％）で評価する。ただし、レポート・課題未提出の場合は、評価対象としない。

### 〔フィードバック〕

授業内容をふまえ、再度、作品・文献を読解し理解を深める。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜日	時間	場所
奥田 浩司 客員准教授	毎週水曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館9階909講義室

### 〔教科書〕

『恍惚の人』 有吉佐和子（新潮文庫）  
『少年と少女のポルカ』 藤野千夜（講談社文庫）

### 〔推薦参考書〕

授業時に示します。

### 〔使用する教室〕

生涯教育研修センター1号館9階909講義室

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	4	水	1	奥田浩司	(1)作品の受容について:導入1 ●受容の問題について理解する。	909
2	10	11	水	1	奥田浩司	(2)作品の受容について:導入2 ●文学作品とアニメの受容の関係について議論する。	909
3	10	18	水	1	奥田浩司	(3)作品の受容について:展開1 ●『コクリコ坂から』について説明できる。	909
4	10	25	水	1	奥田浩司	(4)作品の受容について:展開2 ●宮沢賢治の詩と『コクリコ坂から』の関係について説明できる。	909
5	11	1	水	1	奥田浩司	(5)作品の受容について:展開3 ●『天空の城ラピュタ』について説明できる。	909
6	11	8	水	1	奥田浩司	(6)作品の受容について:展開4 ●『ガリヴァー旅行記』と『天空の城ラピュタ』の関係について議論する。	909
7	11	15	水	1	奥田浩司	(7)老いと表現文化1 ●有吉佐和子『恍惚の人』について説明できる。	909
8	11	22	水	1	奥田浩司	(8)老いと表現文化2 ●有吉佐和子『恍惚の人』について議論する。	909
9	11	29	水	1	奥田浩司	(9)老いと表現文化3 ●『恍惚の人』について、小説と映画を比較して考察できる。	909
10	12	6	水	1	奥田浩司	(10)セクシャルマイノリティ1 ●セクシャルマイノリティについて説明できる。	909
11	12	13	水	1	奥田浩司	(11)セクシャルマイノリティ2 ●藤野千夜『少年と少女のポルカ』について説明できる。	909
12	12	20	水	1	奥田浩司	(12)セクシャルマイノリティ3 ●映画『ハッシュ』と現代社会の関係について考察する。	909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
13	1	10	水	1	奥田浩司	(13)現代文化の諸問題:1 ●映画『ハッシュ』と現代社会の関係について議論する。	909
14	1	17	水	1	奥田浩司	(14)現代文化の諸問題:2 ●家族の視点から、現代の文化的問題について考察する。	909
15	1	24	水	1	奥田浩司	(15)まとめ ●各講義の内容について考察を深める。	909
	1	31	水	1	奥田浩司	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

## 論 理 学 I（記号論理学の基礎－文論理学と述語論理学－）

### [教育目標]

私たちがとくに意識することなくおこなっている「論証」を意識化し、対象化して、その構造や正しさを一般的な仕方で考察するのが論理学です。

論理学にはアリストテレス以来の2300年以上の歴史がありますが、19世紀末にドイツのフレーゲによって大革命がおこなわれて新しい論理学が生まれました。「論理学 I」では、主として、この新しい論理学である記号論理学（文論理学および第1階の述語論理学）の解説と演習をおこないます。

受講生の皆さんが積極的に参加し、考え、発言し、議論することが大切です。そのような意欲のある人の受講を期待します。

### [学習目標]

- ・ 論証の構造を論証図で表すことができる。
- ・ 文論理学での記号化ができる。
- ・ 述語論理学での記号化ができる。
- ・ 推論の妥当性を説明できる。
- ・ 真理表が利用できる。
- ・ ヴェン図が利用できる。
- ・ セマンティック・タブローが利用できる。

### [講義の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

講義内容の理解には練習問題を解いてみるのが不可欠です。宿題として指定した問題は必ず解いてみて、指定日までに提出してください。30分程度を目安とする。

### [評 価]

定期試験の成績を基本にするが、必要に応じて授業への貢献度や出席状況等を加味する。

### [フィードバック]

課題レポートは添削のうえ返却するので、復習を行うこと。

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
木戸 正幸 客員教授	毎週水曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1号館 9階910講義室

### [教科書]      なし（資料を配布する）

[推薦参考書] 「マグローヒル大学演習 現代論理学 (I)」

J. Nolt & D. Rohatyn (オーム社)

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室

[授 業 日 程]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	12	水	1	木戸 正幸	選択科目ガイダンス	1001
1	4	19	水	1	木戸 正幸	論証の構造(論証図)	910
2	4	26	水	1	木戸 正幸	文論理(原子文と分子文)	910
3	5	10	水	1	木戸 正幸	真理関数と真理表	910
4	5	17	水	1	木戸 正幸	文論理での記号化の練習	910
5	5	24	水	1	木戸 正幸	恒真・恒偽・事実に推論の妥当性	910
6	5	31	水	1	木戸 正幸	述語論理(文の内部構造)	910
7	6	7	水	1	木戸 正幸	定言命題と記号化	910
8	6	14	水	1	木戸 正幸	関係と多重量化	910
9	6	21	水	1	木戸 正幸	述語論理での記号化の練習	910
10	6	28	水	1	木戸 正幸	ヴェン図	910
11	7	5	水	1	木戸 正幸	セマンティック・タブロー1	910
12	7	12	水	1	木戸 正幸	セマンティック・タブロー2	910
13	7	19	水	1	木戸 正幸	構文論と意味論	910
	7	26	水	1	木戸 正幸	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 論 理 学 Ⅱ（経験科学の論理）

### 〔教育目標〕

私たちがとくに意識することなくおこなっている「論証」を意識化し、対象化して、その構造や正しさを一般的な仕方で厳密に考察するのが論理学です。

医学をはじめとする経験諸科学の研究や応用においても論証が用いられることはいうまでもないでしょう。「論理学Ⅱ」では、これら経験科学の基本的構造、とくに仮説演繹法、因果関係、帰納的推論（蓋然的推論）の構造などを理解し、具体的に把握・検討する練習をします。

受講生の皆さんが積極的に参加し、考え、発言し、議論することが期待されます。そうした意欲のある人の受講を希望します。

### 〔学習目標〕

- ・経験科学の構造の基本を説明できる。
- ・科学的説明の論理構造を解説することができる。
- ・帰納推論（蓋然的推論）の特徴を説明できる。
- ・仮説演繹法を説明できる。
- ・必要原因と十分原因について説明できる。
- ・仮説検定の論理的構造を説明できる。
- ・ベイズの定理を利用できる。

### 〔講義の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

自分の頭で考え、疑問をもつことが大切です。講義で扱った内容や例はよく復習し、自分なりの理解と疑問点をもって次の講義に臨んでください。30分程度を目安とする。

### 〔 評 価 〕

定期試験の成績を基本にするが、必要に応じて授業への貢献度や出席状況等を加味する。

### 〔フィードバック〕

課題レポートは添削のうえ返却するので、復習を行うこと。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
木戸 正幸 客員教授	毎週水曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館9階910講義室

### 〔教科書〕      なし（資料を配布する）

[推薦参考書] 「マグローヒル大学演習 現代論理学（Ⅱ）」

J. Nolt & D. Rohatyn（オーム社）

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室

[授 業 日 程]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	4	水	1	木戸 正幸	論理の記号	910
2	10	11	水	1	木戸 正幸	必然と蓋然	910
3	10	18	水	1	木戸 正幸	演繹・帰納・アブダクション	910
4	10	25	水	1	木戸 正幸	科学的説明の論理1	910
5	11	1	水	1	木戸 正幸	科学的説明の論理2	910
6	11	8	水	1	木戸 正幸	仮説演繹法1	910
7	11	15	水	1	木戸 正幸	仮説演繹法2	910
8	11	22	水	1	木戸 正幸	ゼンメルヴァイスの例	910
9	11	29	水	1	木戸 正幸	仮説検定の考え方1	910
10	12	6	水	1	木戸 正幸	仮説検定の考え方2	910
11	12	13	水	1	木戸 正幸	仮説検定とベイズの定理	910
12	12	20	水	1	木戸 正幸	ベイズの定理(事前確率・事後確率)	910
13	1	10	水	1	木戸 正幸	蓋然性の論理	910
14	1	17	水	1	木戸 正幸	必要条件と十分条件	910
15	1	24	水	1	木戸 正幸	ロスマンのパイモデル	910
	1	31	水	1	木戸 正幸	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

## 人 類 学 I (文化人類学)

### [教育目標]

社会や人間の生活についての文化人類学という学問の考え方を様々な事例を通して紹介し、人間という存在の多様性と普遍性を考える。人間の文化に関する多くの事例にふれることにより、文化の本質や多様性を理解できるようにする。

### [学習目標]

文化の多様性を認識し、視野を広げる。

### [講義の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

短期的なビジョンでの予習は特に必要ないが、長期的なビジョンとしては、インターネットやテレビ、文献などを通して日ごろから異文化への興味を持つようにすること、自分の身近にある様々なもの、しくみ、心のありようなどを文化という視点から考えられるようにしておくことなどが、事前学習としては望ましい。授業後は、提示された事例の意味を理解し、自分なりの考え方をまとめられるよう30分程度考察すること。

### [評価]

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

### [フィードバック]

各回の授業前半で解説した概念や状況を、後半で映像資料を用いて個別により詳しく説明する。各学期の最終回の授業ではそれまでに教えた内容について再度確認する。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
三木 誠 客員講師	毎週水曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階810講義室

### [教科書] 指定せず

### [推薦参考書] 特になし

### [使用する教室] 生涯教育研修センター1号館8階810講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	12	水	1	三木 誠	選択科目ガイダンス	1001
1	4	19	水	1	三木 誠	文化人類学概論(映像資料鑑賞を含む。)	810
2	4	26	水	1	三木 誠	文化の多様性(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
3	5	10	水	1	三木 誠	文化の多様性(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
4	5	17	水	1	三木 誠	性別と社会(映像資料鑑賞を含む。)	810
5	5	24	水	1	三木 誠	婚姻と家族(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
6	5	31	水	1	三木 誠	婚姻と家族(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
7	6	7	水	1	三木 誠	宗教と世界観(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
8	6	14	水	1	三木 誠	宗教と世界観(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
9	6	21	水	1	三木 誠	宗教と世界観(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810
10	6	28	水	1	三木 誠	宗教と世界観(4)(映像資料鑑賞を含む。)	810
11	7	5	水	1	三木 誠	儀礼と祝祭(映像資料鑑賞を含む。)	810
12	7	12	水	1	三木 誠	環境と文化(映像資料鑑賞を含む。)	810
13	7	19	水	1	三木 誠	異文化と自文化(映像資料鑑賞を含む。)	810
	7	26	水	1	三木 誠	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 人 類 学 Ⅱ（民族文化論）

### 〔教育目標〕

世界には、我々が生きている社会とは全く異なった価値観や行動様式を持つ民族社会が多数存在する。この授業では、世界各地の民族社会に関する知識を深め、そのような社会を成り立たせている固有の論理や変化の様相について考える。

### 〔学習目標〕

文化の多様性に関する知識を深め、異文化を正當に評価する態度を身につける。

### 〔講義の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

短期的なビジョンでの予習は特に必要ないが、長期的なビジョンとしては、インターネットやテレビ、文献などを通して日ごろから民族という社会的集団への興味を持つようにすること、自分の身近にある様々な文化要素が、異文化ないし異民族から見たらどのように意味づけられるのかといった点について、想像力を膨らませることができるようになっておくことなどが、事前学習として望ましい。授業後は、提示された事例の意味を理解し、自分なりの考え方をまとめられるよう30分程度考察すること。

### 〔 評 価 〕

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

### 〔フィードバック〕

各回の授業前半で解説した概念や状況を後半で映像資料を用いて個別により詳しく説明する。各学期の最終回の授業では、それまで教えた内容について再度確認する。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
三木 誠 客員講師	毎週水曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階810講義室

### 〔教科書〕 指定せず

### 〔推薦参考書〕 特になし

### 〔使用する教室〕 生涯教育研修センター1号館8階810講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	4	水	1	三木 誠	民族と国家(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
2	10	11	水	1	三木 誠	民族と国家(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
3	10	18	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
4	10	25	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
5	11	1	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810
6	11	8	水	1	三木 誠	民族文化の諸相(4)(映像資料鑑賞を含む。)	810
7	11	15	水	1	三木 誠	異文化からみた日本文化(映像資料鑑賞を含む。)	810
8	11	22	水	1	三木 誠	観光と文化(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
9	11	29	水	1	三木 誠	観光と文化(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
10	12	6	水	1	三木 誠	伝統文化の継承(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
11	12	13	水	1	三木 誠	伝統文化の継承(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
12	12	20	水	1	三木 誠	伝統文化の継承(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810
13	1	10	水	1	三木 誠	新たな文化の形成(1)(映像資料鑑賞を含む。)	810
14	1	17	水	1	三木 誠	新たな文化の形成(2)(映像資料鑑賞を含む。)	810
15	1	24	水	1	三木 誠	新たな文化の形成(3)(映像資料鑑賞を含む。)	810
	1	31	水	1	三木 誠	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

# 社 会 学 I

## [教育目標]

社会学Ⅰは「社会問題の社会学」とし、現代社会のさまざまな問題（家族、ジェンダー、セクシャル・マイノリティ、少子高齢化、地域と医療・福祉問題）を学ぶ。また、そうした事象を扱いながら、社会学的／社会的に事象を捉える視座を獲得することを目指す。

## [学習目標]

- ・「あたりまえ」を疑う、社会学的視点を身につけることができる。
- ・様々な社会問題と自分がいま／ここに生きていることとを繋いで考えられるイマジネーション（＝社会学的想像力）とは何かを理解できる。
- ・現代の複雑な社会問題を理解・分析できる。

## [授業の種類]

講義のみ

## [準備学習（予習・復習等）]

事前に配布する資料を読み、授業内容について各自充分に学習しておくこと（30分程度）。

## [ 評 価 ]

毎回のコメントの提出（30％）、平常点（授業態度等：20％）、定期試験（50％）。

## [フィードバック]

毎回提出されるコメントについては、授業内容で適宜フィードバックする。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
辻村 大生 客員講師	毎週水曜	授業終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階809講義室

## [教科書] 特になし（授業にて資料を適宜配布）

## [推薦参考書]

好井裕明、2002『「あたりまえ」を疑う社会学』 光文社新書  
 宇都宮京子編、2009『よくわかる社会学』 ミネルヴァ書房

## [使用する教室]

生涯教育研修センター1号館8階809講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	12	水	1	辻村大生	選択科目ガイダンス	1001
1	4	19	水	1	辻村大生	社会学とは何か	809
2	4	26	水	1	辻村大生	社会に対する理解-因果的理解と意味理解	809
3	5	10	水	1	辻村大生	家族の機能と役割	809
4	5	17	水	1	辻村大生	家族を「する」ということ	809
5	5	24	水	1	辻村大生	セックス／ジェンダー／セクシュアリティ	809
6	5	31	水	1	辻村大生	ジェンダーバイアス、セクシュアル・マイノリティ	809
7	6	7	水	1	辻村大生	少子化と社会	809
8	6	14	水	1	辻村大生	「子ども」とは何か	809
9	6	21	水	1	辻村大生	高齢化と社会	809
10	6	28	水	1	辻村大生	エイジズムと「老い」の観念	809
11	7	5	水	1	辻村大生	地域と社会問題	809
12	7	12	水	1	辻村大生	都市・農村と限界集落	809
13	7	19	水	1	辻村大生	地域社会と福祉・医療	809
	7	26	水	1	辻村大生	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 社会学Ⅱ

### [教育目標]

社会学Ⅱは「医療と社会学」とし、社会学的な視点や理論を踏まえ、医療をめぐる様々な問題（組織・集団、医療にまつわるカテゴリーの社会的構築、コミュニケーション、公害・環境問題の被害、現代のテクノロジーと医療、「病」をめぐる社会的定義と社会運動、健康の社会的ネットワーク）について学習する。

### [学習目標]

- ・医療をめぐる様々な論点について、社会学的な理論や視点から捉えることができる。

### [授業の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

- ・事前に配布する資料を読み、授業内容について各自充分に学習しておくこと（30分程度）。
- ・本授業は、おおよそ1つのテーマについて、1）社会学理論や視点の概要、2）そうした理論や視点からの医療・福祉をめぐる問題へのアプローチ、をセットにして授業を進めていきます。1）を用いながら、その他どのような事象やケースを理解・分析できるのか、復習として発展的に考えてみてください（30分程度）。

### [評価]

毎回のコメントの提出（30%）、平常点（授業態度等：20%）、定期試験（50%）。

### [フィードバック]

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜日	時間	場所
辻村 大生 客員講師	毎週水曜	授業終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階809講義室

### [教科書] 特になし（事前に授業資料を適宜配布）

### [推薦参考書]

好井裕明、2014『違和感から始まる社会学』光文社新書  
中川輝彦・黒田浩一郎編、2010『よくわかる医療社会学』

ミネルヴァ書房

### [使用する教室]

生涯教育研修センター1号館8階809講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	4	水	1	辻村 大生	医療を社会学するということ	809
2	10	11	水	1	辻村 大生	集団論・組織論	809
3	10	18	水	1	辻村 大生	医療をめぐる組織・集団	809
4	10	25	水	1	辻村 大生	社会的構築主義	809
5	11	1	水	1	辻村 大生	生と死の社会的構築	809
6	11	8	水	1	辻村 大生	会話分析	809
7	11	15	水	1	辻村 大生	医療・福祉におけるコミュニケーション	809
8	11	22	水	1	辻村 大生	環境社会学の理論	809
9	11	29	水	1	辻村 大生	公害・環境問題と社会的障害	809
10	12	6	水	1	辻村 大生	リスク社会論	809
11	12	13	水	1	辻村 大生	テクノロジーと医療問題	809
12	12	20	水	1	辻村 大生	社会運動論	809
13	1	10	水	1	辻村 大生	「病」をめぐる社会運動	809
14	1	17	水	1	辻村 大生	社会関係資本論	809
15	1	24	水	1	辻村 大生	「健康」と社会関係	809
	1	31	水	1	辻村 大生	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

## 歴 史 学 I（病気の社会史）

### 〔教育目標〕

本講義では、古来より存在した脚気、糖尿病、結核、ハンセン病などの代表的な疾病と人間の社会との変化に満ちた関係を分析することにより、病気と人間との出会い、関わり方、怒りや悲しみなどの心的現象一般に触れ、病気とは人間にとって如何なる意味を有してきたかを、歴史的背景のなかで考察する。

### 〔学習目標〕

歴史学の到達目標は細かい事項や年代の暗記などではなく、歴史の大きな流れを理解させることにある。そこで、この目標がどの程度達成されたかを確認するため、最後に論述を中心とする試験を行うことにする。

### 〔講義の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

予習として、配布した講義資料の該当分を読んでおくこと。30分程度を目安とする。

### 〔 評 価 〕

定期試験に出席状況、授講態度などを加味して総合的に判定する。

### 〔フィードバック〕

受講態度が適性であったか、問題のある学生を指導する。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
滝田 毅 客員教授	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階810講義室

### 〔教科書〕 滝田作成のプリント

### 〔推薦参考書〕 『病と人間の文化史』 立川昭二（新潮社） その他適宜指示する。

### 〔使用する教室〕 生涯教育研修センター1号館8階810講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	13	木	1	滝田 毅	選択科目ガイダンス	1001
1	4	20	木	1	滝田 毅	日本人と脚気(1)—脚気とは何か	810
2	4	27	木	1	滝田 毅	日本人と脚気(2)—支配層に多発した奇病	810
3	5	11	木	1	滝田 毅	日本人と脚気(3)—明治政府と脚気対策	810
4	5	18	木	1	滝田 毅	豊かな社会と糖尿病(1)—糖尿病の医学的概要	810
5	5	25	木	1	滝田 毅	豊かな社会と糖尿病(2)—治療法の歩み	810
6	6	1	木	1	滝田 毅	豊かな社会と糖尿病(3)—糖尿病の過去と現在	810
7	6	8	木	1	滝田 毅	結核の社会史(1)—結核の医学的概要	810
8	6	15	木	1	滝田 毅	結核の社会史(2)—結核の歴史	810
9	6	22	木	1	滝田 毅	結核の社会史(3)—現代世界と結核	810
10	6	29	木	1	滝田 毅	ハンセン病と人権(1)—ハンセン病の医学的概要	810
11	7	6	木	1	滝田 毅	ハンセン病と人権(2)—日本での差別と人権抑圧	810
12	7	13	木	1	滝田 毅	ハンセン病と人権(3)—残された課題	810
13	7	20	木	1	滝田 毅	総合演習	810
	7	27	木	1	滝田 毅	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 歴 史 学 Ⅱ（人物疾病史）

### 〔教育目標〕

本講義では、ナポレオン、ヒトラー、ルーズベルト、モーツァルト、平清盛、織田信長、徳川家康など歴史上の多彩な著名人の疾病を史料に基づき分析し、そうした疾病が彼らの情勢判断や政策決定にいかなる影響を及ぼし、歴史をどのように変えていったか、考察することにした。

### 〔学習目標〕

歴史学の到達目標は細かい事項や年代の暗記などではなく、歴史の大きな流れを理解させることにある。そこで、この目標がどの程度達成されたかを確認するため、最後に論述を中心とする試験を行うことにする。

### 〔講義の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

予習として、配布した講義資料の該当分を読んでおくこと。30分程度を目安とする。

### 〔 評 価 〕

定期試験に出席状況、授講態度などを加味して総合的に判定する。

### 〔フィードバック〕

受講態度が適性であったか、問題のある学生を指導する。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
滝田 毅 客員教授	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階810講義室

### 〔教科書〕 滝田作成のプリント

〔推薦参考書〕 『ヒトラーの震え、毛沢東の摺り足』 小長谷正明（中公新書）  
『病気が変えた日本の歴史』 篠田達明（NHK出版）  
その他適宜指示する。

〔使用する教室〕 生涯教育研修センター1号館8階810講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	5	木	1	滝田 毅	ナポレオンの胃痛(1)	810
2	10	12	木	1	滝田 毅	ナポレオンの胃痛(2)	810
3	10	19	木	1	滝田 毅	ヒトラーの震え(1)	810
4	10	26	木	1	滝田 毅	ヒトラーの震え(2)	810
5	11	2	木	1	滝田 毅	フランクリン・ルーズベルトの病歴(1)	810
6	11	9	木	1	滝田 毅	フランクリン・ルーズベルトの病歴(2)	810
7	11	16	木	1	滝田 毅	愛煙家フロイトと口腔癌	810
8	11	30	木	1	滝田 毅	モーツアルトの死因	810
9	12	7	木	1	滝田 毅	熱病で悶死した平清盛	810
10	12	14	木	1	滝田 毅	武田信玄の死因	810
11	12	21	木	1	滝田 毅	織田信長と高血圧	810
12	1	4	木	1	滝田 毅	徳川家康の健康維持法と死因(1)	810
13	1	11	木	1	滝田 毅	徳川家康の健康維持法と死因(2)	810
14	1	18	木	1	滝田 毅	孝明天皇と天然痘(痘瘡)	810
	1	25	木	1	滝田 毅	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

## 教育学Ⅰ（臨床教育学入門）

### 〔教育目標〕

教育ってなんだろう？勉強させられること？入試や試験に合格すること？

ホントにそれだけだったら、すごく味気ないことじゃないか。教育という係わりのなかには、天使と悪魔、二つの顔がある。障害や病気、各種の困難の中でも、学ぶ意欲、知的好奇心がチャンスを開くこともあるし、また社会体制によっては、それで人を意のままに管理、操作することもある。教育、即ち教養の世界には、時間と空間を越えて、シェイクスピアから、ヒトゲノム、ウィキペディアまでさまざまな教養や知のかたちがあるが、その一方では、たかが自分1人がこの生涯で触れられる文化や教養、知識なんか、たかが知れたものと呟いてもみたくなる。人を育てても教育、自分を育てても教育、最近では自分育てなどとも言ったりもする。

その教育をめぐるトピックスのすべてを紹介というのは、限られた時間数ではできないが、〈子ども〉〈学校〉〈教育の手法〉〈特別支援教育〉を軸にして、その玄関くらいまでをご案内しようというのが、この入門編の目標である。

### 〔学習目標〕

- ・教育学の考え方やその研究範囲に触れる。
- ・教育学の主要なキーワードやテーマについてあらましを理解する。

### 〔授業の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

講義便覧の講義予定と教科書を参照し、次回のテーマにつき予め自分でも考えておく。約30分程度。

### 〔 評 価 〕

定期試験の成績と授業への出席状況などを総合的に判定して評価する。

### 〔フィードバック〕

2回程度、簡単なハウスワークを出すので、それをベースにして、講義の全体像をつかめるように努力して欲しい。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
石川 道夫 客員教授	毎週木曜	講義の前後に対応	生涯教育研修センター1号館9階909講義室

- [教科書] 「家族・育み・ケアリング－家族論へのアプローチ」  
成山文夫・石川道夫編（北樹出版）
- [推薦参考書] 「新版 教育学がわかる」AERAムック（朝日新聞社）  
「教育学がわかる事典」田中智志（日本実業出版社）
- [使用する教室] 生涯教育研修センター1号館9階909講義室

## 〔授業日程〕

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	13	木	1	石川道夫	選択科目ガイダンス	1001
1	4	20	木	1	石川道夫	教育とは何か。「教育」という言葉の意味。 ○教育の本質とその役割について理解する。	909
2	4	27	木	1	石川道夫	教育を考えるための枠組み・思考モデル。 ○教育を考えるためのさまざまな枠組みを理解する。 ○目的と用途により、さまざまな教育のかたちがあることを知る。	909
3	5	11	木	1	石川道夫	子どもと家庭、教育の始まり。 ○人の生育の個別的な背景を理解し、問題点を把握する。 ○乳幼児の保育について学ぶ。	909
4	5	18	木	1	石川道夫	母子関係、児童虐待、1人前になること。 ○生まれと育ちが個人の健康にどんな影響を持っているかを学ぶ。	909
5	5	25	木	1	石川道夫	現代社会の中の子ども ○個体及び集団を取り巻く環境要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。	909
6	6	1	木	1	石川道夫	教育の方法、カリキュラム、教育評価 ○自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身につける。	909
7	6	8	木	1	石川道夫	障がい児の種類とその教育 ○学校教育で問題となる障がい児の種類を概説できる。	909
8	6	15	木	1	石川道夫	学習障害と自閉症スペクトル ○発達障害の子どもたちの教育可能性について学ぶ。	909
9	6	22	木	1	石川道夫	特別支援教育の現場。 ○特別支援教育の現場のいろいろについて学ぶ。	909

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
10	6	29	木	1	石川道夫	教育相談(カウンセリング) ○コミュニケーションの方法と技能を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	909
11	7	6	木	1	石川道夫	社会教育、生涯学習 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ○継続学習に必要な情報を収集できる。	909
12	7	13	木	1	石川道夫	学力の国際比較、PISA、国際バカロレア ○学力の国際比較について理解する。	909
13	7	20	木	1	石川道夫	教育の南北問題。発展途上国の教育。 ○教育における貧困と豊かさを学ぶ。	909
	7	27	木	1	石川道夫	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 教育学Ⅱ（気にかける〈care〉仕方）

### 〔教育目標〕

教育的な発達・成長への支援の最もオリジナルな形態は、母親による新生児の世話にあるという。教育の「教える」(teaching)という行為の半面には、いつも「育てる・世話する」(care)がある。しかし、教育を社会的な適応と狭く考えると、この「育てる」という面が疎かになるという弊害もある。教育の社会的な機能の低下やフェミニズム論の台頭などによって、この「育てる」、あるいは「気にかける〈care〉こと」のもつ意義が、この10年くらいにわかに注目されるようになってきた。男性と女性というものの考え方の違いに、男性の正義の倫理に女性のケアの倫理を対置させるという向きもある。

この言葉は、看護、社会福祉の分野では主に「ケアリング」という呼称で使われているが、この講義では、この言葉の思想と精神的な背景を紹介しながら、教育とケアの原点について考え直す機会となることを目指したい。

### 〔学習目標〕

「ケア」「ケアリング」をめぐるさまざまな見解とその背景を知る。

### 〔授業の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

講義便覧の講義予定と教科書を参照し、次回のテーマにつき予め自分でも考えておく。約30分程度。

### 〔 評 価 〕

定期試験の成績と授業への出席状況、レポートなどを総合的に判定して評価する。

### 〔フィードバック〕

2回程度、簡単なハウスワークを出すので、それをベースにして講義の全体像をつかめるように努力して欲しい。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
石川 道夫 客員教授	毎週木曜	講義の前後に対応	生涯教育研修センター1号館9階909講義室

### 〔教科書〕 「ケアリングのかたち ころろ・からだ・いのち」

石川道夫・田辺稔編（中央法規出版）

**【推薦参考書】** 「ケアリングのかたち2 こころと手」石川道夫編（中央法規出版）  
「新・哲学講義 ⑥共に生きる」川本隆史（岩波書店）  
「ケアリング 看護婦・女性・倫理」ヘルガ・クーゼ（メディカ出版）

**【使用する教室】** 生涯教育研修センター1号館9階909講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	5	木	1	石川道夫	今、なぜケアリングなのか ○コミュニケーションの重要性を理解する。	909
2	10	12	木	1	石川道夫	魔女、産婆、女性 ○医学・医療の歴史の一端に触れる。	909
3	10	19	木	1	石川道夫	教育におけるティーチングとケアリング ○コミュニケーションの重要性を理解する。	909
4	10	26	木	1	石川道夫	子ども部屋から在宅ケアまで ○教育の歴史、文化史の一端に触れる。	909
5	11	2	木	1	石川道夫	世話物、世話やき、お節介 ○情報を重要性と必要性にしたがって客観的・ 批判的に思考する態度を身につける。	909
6	11	9	木	1	石川道夫	ライフスキルは教育できるのか ○人の心理的および社会的背景や自律した生 活を送るための課題を理解する。	909
7	11	16	木	1	石川道夫	ロビンソン・クルーソーから「漂流教室」まで ○特殊な状況を例に教育における人間形成の 目指すものを考える。	909
8	11	30	木	1	石川道夫	コミュニケーション、ナラティブ、関係性 ○人と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮 する。	909
9	12	7	木	1	石川道夫	シャドウ・ワークとエンパワメント ○貧困、人種差別、ジェンダーなどをめぐる問題 について学ぶ。	909
10	12	14	木	1	石川道夫	正義の倫理、ケアの倫理 ○生と死に関わる教育的・倫理的問題を列挙 できる。	909
11	12	21	木	1	石川道夫	悪の体験としての自己変容。 映画「スタンド・バイ・ミー」 ○教育の限界について考える。	909
12	1	4	木	1	石川道夫	学校教育。教師は何をしているのか。 「青い目と茶色い目」の教育実践。 ○教えることに隠れた戦略の功罪に触れる。	909

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
13	1	11	木	1	石川道夫	学校、その様々な容貌。一元的な定義の不可能。 「あいだ・中間者・媒介者」としての学校。 ○さまざまな学校の有り様について考える。	909
14	1	18	木	1	石川道夫	臨床教育学のススメ ○現代社会の中での教育学の活用について 学ぶ。	909
	1	25	木	1	石川道夫	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

# 法 学 I

## [教育目標]

### 1. 法とは何か

法が社会において、どのように機能しているのか、我々はその中でどのような関係に位置付けられているのかを把握し、法を学ぶ上での感覚を養います。

### 2. 法の体系

法がどのような体系に分類され、利害関係者（ステークホルダー）との間の関係性と基本的な知識を学びます。

### 3. 法律行為の主体

民法を中心に、法律行為の主体となる「人」とはどのようなものか、ステークホルダーとの間では、どのような注意が必要かを学びます。

### 4. 債権債務

債権の発生原因として契約、不法行為の基本的な知識を学びます。

### 5. 法的思考によるリスクの回避

上記で学んだことを踏まえ、社会において、自分と利害関係者との関係性を意識しながら、具体的にどのように思考することでリスクの回避ができるのかを学びます。

## [学習目標]

### 1. 法の体系とステークホルダーとの関係性の理解

### 2. 法人の運営、契約の基礎の学習

### 3. 法的思考の体得

## [講義の種類]

講義のみ

## [準備学習（予習・復習等）]

復習として、講義時に配布した資料を確認し、理解を深めてください。約30分程度。

## [ 評 価 ]

出席及びレポートの提出状況、定期試験の得点に基づき評価します。

## [フィードバック]

レポートは返却します。講義中のポイントに従って記述されているか、他の人と内容が異なる場合、どのような考え方の違いがあるのかを考えてみてください。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
六渡 昌平 兼任准教授	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館9階910講義室

〔教科書〕 伊藤正己・加藤一郎編「現代法学入門〔第4版〕」（有斐閣双書）

〔推薦参考書〕 講義の中で適宜に紹介します。

〔使用する教室〕 生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	13	木	1	六渡昌平	選択科目ガイダンス	1001
1	4	20	木	1	六渡昌平	法の適用・体系 (1)法源 ●法源の種類と特徴が理解できる。 (2)法の適用 ●法の適用、解釈が理解できる。	910
2	4	27	木	1	六渡昌平	法の適用対象 ●制限能力者制度、法人が理解できる。	910
3	5	11	木	1	六渡昌平	意思表示 ●法律行為の要素である意思表示が理解できる。	910
4	5	18	木	1	六渡昌平	物権 ●物権の種類と特徴が理解できる。	910
5	5	25	木	1	六渡昌平	物権 ●物権の種類と特徴が理解できる。	910
6	6	1	木	1	六渡昌平	債権 ●債権の特徴が理解できる。	910
7	6	8	木	1	六渡昌平	債権 ●債権の特徴が理解できる。	910
8	6	15	木	1	六渡昌平	契約 ●契約書の作成を通じて、法律行為の主体、物権、債権の特徴、理解を深める。	910
9	6	22	木	1	六渡昌平	契約 ●契約書の作成を通じて、法律行為の主体、物権、債権の特徴、理解を深める。	910
10	6	29	木	1	六渡昌平	契約 ●契約書の作成を通じて、法律行為の主体、物権、債権の特徴、理解を深める。	910
11	7	6	木	1	六渡昌平	事務管理・不法行為 ●事務管理、不法行為の特徴が理解できる。	910
12	7	13	木	1	六渡昌平	刑事法 ●刑法の概要が理解できる。	910

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
13	7	20	木	1	六渡昌平	契約 ●契約書の作成を通じて、法律行為の主体、 物権、債権の特徴、理解を深める。	910
	7	27	木	1	六渡昌平	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 法 学 II

### [教育目標]

医療従事者（医師、看護師、療法士、検査技師等）及び医療機関（病院、診療所等）には、医療行為を実施するにあたり、様々な法的規制が及んでいる。

患者を診察し、治療方針を説明し、患者の同意を得た上で治療方針を決定する。その上で、検査、処置、手術等の医療行為を実施し、医療行為の対価としての診療報酬を患者から支払ってもらう。

当然のような一連の流れではあるが、全ての行為に伴う患者・医療従事者・医療機関の権利及び義務には法的な裏付け・根拠がある。また、法律は、医師及び医療機関に対し、良質な医療の提供及び医療安全の確保等のため最低限度の規制を行うものである。

患者の権利・義務、医師の権利・義務につき、法的な裏付け・根拠を理解することは、医師が患者に対し、良質かつ安全な医療を提供する上で重要である。

2015年からは医療事故調査制度が開始され、医療事故に対する国民の関心も高まっており、医療安全に関する医師及び医療機関に課せられている法的義務を理解する必要性は高い。

法学Ⅱでは、医師、医療機関と特にかかわりの深い法領域に特化して、その内容、問題点等を学びます。

### [学習目標]

下記の項目につき具体的事例を通じて、医療と法の関わりについて理解を深める。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ① 医療と法律の関わり（総論） | ② 医療情報の保護と利用 |
| ③ 医療安全の確保       | ④ 患者と医師の法律関係 |
| ⑤ 医師の義務         | ⑥ 患者の義務      |
| ⑦ 医療提供体制について    | ⑧ 医療法人について   |
| ⑨ その他の諸問題       |              |

### [講義の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

学習テーマについて各自十分学習しておくこと。事前に配布する事例・設問について10分程度検討することが望ましい。

### [ 評 価 ]

出席及びレポートの提出状況、定期試験の得点に基づき評価します。

(1)知識：知識量及び理解度の両面をレポート及び定期試験で判定する。

(2)講義及び実習態度：医学生として常識ある受講態度であったかを評価する。

[フィードバック]

レポート評価後、採点の上、返却する。講義内で、レポートの評価を行うので復習すること。定期試験後に配布される解答を復習すること。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
木村 環樹 兼任准教授	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室
米山 健太 客員講師	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室

初回授業時に担当教員の連絡先のメールアドレスを伝えるので、担当教員に質問等ある場合にはメールにて連絡をとることが可能。

[教科書] (未定) ※教科書使用の場合、後日掲示します。

[推薦参考書] 「実践講座 実践医療法－医療の法システム－」  
著者 山口 悟（発行所 株式会社信山社）

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	5	木	1	米山健太	医療と法律の関わり(総論) ○医の倫理と法律の関係性を理解する。	910
2	10	12	木	1	木村環樹	医療情報の保護と利用① ○診療情報の重要性を理解し、情報の取り扱いに関する法的規制を理解する。	910
3	10	19	木	1	木村環樹	医療情報の保護と利用② ○診療情報の保護に関する法的規制と法的責任を理解する。 ○医療広告の対する法的規制を通じて医師の倫理観を理解する。	910
4	10	26	木	1	木村環樹	医療安全の確保① ○医療における安全性確保のための法的制度を理解する。	910
5	11	2	木	1	米山健太	医療安全の確保② ○医療における安全性確保のための法的制度を理解する。	910
6	11	9	木	1	木村環樹	患者と医師の法律関係① ○医療契約成立の前提となるインフォームドコンセントについて理解する。	910
7	11	16	木	1	木村環樹	患者と医師の法律関係② ○医療契約を法的に分析することで患者と医師の権利義務関係の法的根拠を理解する。	910
8	11	30	木	1	木村環樹	患者と医師の法律関係③ ○医療契約を法的に分析することで患者と医師の権利義務関係の法的根拠を理解する。	910
9	12	7	木	1	米山健太	医師の義務① ○医師法・医療法に規定されている医師の義務を理解することを通じて、患者の権利を理解する。	910
10	12	14	木	1	木村環樹	医師の義務② ○医師法・医療法に規定されている医師の義務を理解することを通じて、患者の権利を理解する。	910

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
11	12	21	木	1	木村環樹	医師の義務③ ○医師法・医療法に規定されている医師の義務を理解することを通じて、患者の権利を理解する。	910
12	1	4	木	1	米山健太	医師の義務④・患者の義務 ○医師法・医療法に規定されている医師の義務を理解することを通じて、患者の権利を理解する。 ○患者の義務という観点から、患者と医師の法的関係性の理解を深める。	910
13	1	11	木	1	木村環樹	医療機関に対する法的規制 ○医療機関に対する法的規制を通じた医療の質向上及び医療安全の確保の制度を理解する。	910
14	1	18	木	1	木村環樹	医療計画・医療法人について ○医療計画と医療法人制度を学ぶことを通じた医療の質向上及び医療安全確保の制度を理解する。	910
	1	25	木	1	木村環樹	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

## 経 済 学 I（医療経済入門）

### 〔教育目標〕

日本の医療は、国民皆保険制度を採用しており、世界最高水準の平均寿命や高い保健医療水準を実現してきた。しかしながら、日本経済が停滞しているにもかかわらず、高齢化が進む中で、高齢者医療費を中心とした医療費が大幅に増加し、対国民所得比は9%を超える状況となっている。近年、それらに対応するため様々な医療制度改革が行われている。今後、「将来にわたり持続可能な医療保険制度」を構築することが大きな課題となっている。

本講義は、医療経済、社会政策の観点から日本の医療組織、医療・介護保険制度等の仕組みを学ぶとともに、医療の現状と課題（2025年問題に基づく地域包括ケア等）について認識することを目的としている。

なお、経済学は他の社会科学よりもその用語・手法を理解していないと内容の解釈が難しい。これらの用語や手法に関しても解説する。

### 〔学習目標〕

- 医療に関わる諸制度の仕組みと現状を理解する。
- 医療供給体制をめぐる現状と課題を理解する。
- 先進諸外国の医療制度の現状と問題点を認識する。
- 法人としての医療組織の仕組みと現状を理解する。
- 医療における知的所有権の課題を理解する。

### 〔授業の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

事前に指示された資料を熟読し、講義に出席して下さい。また、講義終了後、ノートにまとめること。約30分程度を目安とする。

### 〔 評 価 〕

「授業中の態度」（30%）、「レポートなどの提出物」（10%）、「定期試験」（60%）などを含めて総合的に判断する。

### 〔フィードバック〕

定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

### 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜 日	時 間	場 所
村田 幸則 兼任助教 (医療科学部)	火・木	16:00～17:00	医療科学部9号館5階510

**[ 教 科 書 ]**

「入門 医療経営情報学」 山内一信他編著（同友館）

**[推薦参考書]**

「入門 医療経済学」 真野俊樹著（中公新書）

「スティグリッツ入門経済学」J・Eスティグリッツ著（東洋経済）

「経済学的思考センス」大竹文雄著（中公新書）

**[使用する教室]** 生涯教育研修センター 1 号館 8 階809講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	13	木	1	村田幸則	選択科目ガイダンス	1001
1	4	20	木	1	村田幸則	社会保障制度を俯瞰的に理解する。	809
2	4	27	木	1	村田幸則	医療保険制度の仕組みを理解する。	809
3	5	11	木	1	村田幸則	診療報酬制度の仕組みを理解する。	809
4	5	18	木	1	村田幸則	国民医療費の内容を理解する。	809
5	5	25	木	1	村田幸則	日本と諸外国の医療制度の違いを理解する。	809
6	6	1	木	1	村田幸則	高齢者医療制度を理解する。	809
7	6	8	木	1	村田幸則	介護保険制度を理解する。	809
8	6	15	木	1	村田幸則	医療法人制度と制度改革を理解する。	809
9	6	22	木	1	村田幸則	医療と知的所有権の関係を理解する。	809
10	6	29	木	1	村田幸則	医療組織の人的資源管理を理解する。	809
11	7	6	木	1	村田幸則	企業会計と病院会計の違いを理解する。	809
12	7	13	木	1	村田幸則	病院の事業継続計画を立案する。	809
13	7	20	木	1	村田幸則	医療を取巻く環境の変化を理解する。	809
	7	27	木	1	村田幸則	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、定期試験はコマ数にカウントしない。

## 経 済 学 II

### [教育目標]

我が国の医療は社会保険方式による財源を元にして、公的医療保険制度によって運営され、世界でもトップクラスの良質で安価なサービスを提供している。しかし、経済成長が鈍化し、国の財政が逼迫している今日、急増する高齢者医療費をより効率的に運用するための改革が迫られている。この授業は、これら医療保険制度が抱える環境変化に対応すべく諸問題について、経済学的な分析方法を応用しながらその解決の在り方を考えていく。内容としては、医療サービスの特徴である不確実性、外部性、情報の非対称性等、市場メカニズムによる一般経済と異なる理論を、基本的な経済学の分析方法と同時並行的に学びながら、それらを比較することから理解を深めていく。将来、医師を目指す学生にとって、より安全、公平で、かつ効率的な医療供給体制を発展、維持するために、これら医療制度と経済知識は不可欠である。よって目標は、医薬品価格や診療報酬の在り方を含め、パラドックスに溢れた医療現場のなかで、ある程度、あるべき方向について自分の考え方を示すことができるようになることにおく。

### [学習目標]

- (1)基本的な経済理論が説明できる。
- (2)医療経済の特殊性が説明できる。
- (3)経済的理論の現実社会への応用ができる。
- (4)将来のあるべき医療経済体制について自分の意見が言える。

### [授業の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

毎回授業前にシラバスに示された教科書の範囲を30分以上学習し、授業後は講義ノートと教科書の重点項目について30分以上復習すること。

### [ 評 価 ]

中間レポート（20%）、筆記式の期末試験（80%）の総合評価とする。

### [フィードバック]

中間レポートにコメントを加えてフィードバックする。

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
米本 倉基 兼任教授	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階809講義室

[教科書] 『入門 医療経済学 「いのち」と効率の両立を求めて』  
真野俊樹著（中公新書）

[推薦参考書] 『医療経済学』 漆博雄編（東京大学出版会）

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1 号館 8 階809講義室

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	10	5	木	1	米本倉基	イントロダクション 医療と経済	809
2	10	12	木	1	米本倉基	市場の失敗と医療	809
3	10	19	木	1	米本倉基	価格、独占と寡占理論と医療	809
4	10	26	木	1	米本倉基	公平と効率、費用対効果分析	809
5	11	2	木	1	米本倉基	経済学の歴史	809
6	11	9	木	1	米本倉基	厚生経済学	809
7	11	16	木	1	米本倉基	医療という特殊な財の性質について	809
8	11	30	木	1	米本倉基	医療情報の経済学	809
9	12	7	木	1	米本倉基	リスクの経済学	809
10	12	14	木	1	米本倉基	経済成長と社会保障の問題	809
11	12	21	木	1	米本倉基	医療の技術と質の評価	809
12	1	4	木	1	米本倉基	医療のプレイヤーとその行動1 患者と医療機関	809
13	1	11	木	1	米本倉基	医療のプレイヤーとその行動2 保険者と行政	809
14	1	18	木	1	米本倉基	まとめ	809
	1	25	木	1	米本倉基	定期試験	603

※定期試験はコマ数にカウントしない。

## 数 学

### 〈3-(2), (3)〉

#### [教育目標]

「自然は数学の言葉で書かれている」と言われるように、自然科学の様々な分野の根底にある学問が数学であり、数学は、現象を正確に記述し、正確に伝えるために極めて有効である。

準備教育モデル・コア・カリキュラム（平成13年度版）における「医学・歯学教育における教養教育の意義」として「医師、歯科医師又は研究者となる前に人としての素養を培っていくもの」とされており、この教育内容ガイドラインに挙げられた各項目を習得していく際、自然科学の様々な分野の根底にある学問としての数学の習得は重要である。

また、医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成22年度改訂版）においてA～Gで分類された各項目において、数学的知識、考え方をを用いる場面は少なくなく、医師として求められる基本的な資質としても、数学の習得は重要といえる。

以上のような観点から、医師として、また教養として必要な数学の知識、考え方を習得することを目標とし、本科目では、数学の中でも、大学初年時に学ぶべき基本となる「線形代数学」、「微分積分学」および「確率統計学」の基礎を中心に学ぶ。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1)線形代数学の基本概念を理解し、演算ができる。
- (2)微分積分学の基本概念を理解し、演算ができる。
- (3)確率論的なものの見方を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。

#### [身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

#### [授業の種類]

講義のみ。ただし、講義の中で演習の時間あり。

#### [準備学習（予習・復習等）]

数学の理解のためには、概念について深く考えること、自ら手を動かして演算していただくことが重要となる。このようなことの繰り返しを通じて、少しずつ理解が深まっていくものである。そのため、講義の前に教科書を一読すること、講義の後に理解の確認と関連する例題を解いてみるのが大事である。それぞれ30分以上を目安とする。

#### [ 評 価 ]

- (1)知識；（卒業コンピテンシー IV-8）、パフォーマンス・レベルD  
知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。
- (2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；(卒業コンピテンシー I-4, 5, 6)、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

#### [フィードバック]

定期試験は試験後に配布される解答及び解説を復習すること。レポートは後日に解説する。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

#### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
鏡 裕行 准教授	火・木	12:30～13:20	生涯教育研修センター1号館9階906

[教科書] 「線形代数入門 基礎と演習」吉本武史・豊泉正男（学術図書）  
「第2版 微分積分学 思想・方法・応用」吉本武史（学術図書）  
「新版 基本統計学」本多勝・石田崇（産業図書）

[推薦参考書] 「線型代数学」佐武一郎（裳華房）  
「線型代数入門講義－現代数学の《技法》と《心》－」  
長岡亮介（東京図書）  
「解析概論」高木貞治（岩波書店）  
「微分積分講義」南和彦（裳華房）  
「確率統計学」須子純太・鈴木誠・浮田善文・小林学・後藤正幸  
（オーム社）

[使用する教室] 生涯教育研修センター1号館10階1001講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	4	10	月	3	鏡 裕行	線形代数学(1) ベクトルと行列、行列の積と逆行列 ●ベクトルの基本概念を理解し、演算ができる。 ●行列の基本概念を理解し、演算ができる。 ●行列の積の定義を理解し、演算ができる。 ●逆行列の意味を理解し、演算ができる。	1001
2	4	17	月	3	鏡 裕行	線形代数学(2) 行列式 ●行列式の概念を理解し、演算ができる。 ●余因子の概念を理解し、演算ができる。	1001
3	4	24	月	3	鏡 裕行	線形代数学(3) 連立1次方程式と行列の階数 ●行列を用いた連立1次方程式の解法を理解し、演算ができる。 ●階数の概念を理解できる。	1001
4	5	1	月	3	鏡 裕行	線形代数学(4) 固有値と固有ベクトル ●固有値と固有ベクトルの概念を理解し、演算ができる。 ●行列の対角化を理解し、演算ができる。	1001
5	5	8	月	3	鏡 裕行	微分積分学(1) 数と集合、数列、関数と連続性 ●数、集合、数列、関数、連続性の概念を理解できる。	1001
6	5	15	月	3	鏡 裕行	微分積分学(2) 1変数関数の微分、テーラー展開 ●1変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ●テーラー展開を理解し、演算ができる。	1001
7	5	22	月	3	鏡 裕行	微分積分学(3) 1変数関数の積分 ●1変数関数の積分を理解し、演算ができる。	1001
8	5	29	月	3	鏡 裕行	微分積分学(4) 多変数関数の微分積分 ●多変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ●多変数関数の積分を理解し、演算ができる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
9	6	5	月	3	鏡 裕行	確率統計学(1) 確率変数と確率分布 ○事象と標本空間の定義を説明できる。 ○確率の概念と加法定理を説明できる。 ○離散型確率変数と連続型確率変数を定義し、それらの分布を説明できる。 ○確率変数の期待値と分散・標準偏差の定義と性質を説明できる。 ○2項分布と正規分布を説明できる。 ○統計量と標本分布を説明できる。	1001
10	6	12	月	3	鏡 裕行	確率統計学(2) 標本平均の分布と中心極限定理 ○正規母集団からの標本平均の分布を計算できる。 ○中心極限定理と標本平均の正規近似を説明できる。	1001
11	6	19	月	3	鏡 裕行	確率統計学(3) 統計的推定 ○点推定と区間推定の概念を説明できる。 ○正規母集団における平均の信頼区間を計算できる。 ○正規分布でない母集団における平均の信頼区間を計算できる。	1001
12	6	26	月	3	鏡 裕行	確率統計学(4) 仮説検定1 ○仮説の統計的検定法を説明できる。 ●母平均を検定できる。	1001
13	7	3	月	3	鏡 裕行	確率統計学(5) 仮説検定2 ○母集団の分散と標本分散の違いを説明でき、正規性を検定できる。 ●カイ2乗検定法を説明できる。	1001
14	7	10	月	3	鏡 裕行	確率統計学(6) 条件付確率とベイズの定理 ○条件付確率と乗法定理を説明できる。 ●ベイズの定理を理解し、演算ができる。	1001

## 医学教育入門

### [教育目標]

学問や科学技術の進歩と社会の変化に対応した生涯学習者としての態度を理解することを目標とします。

生涯学習とは、学校において行われる学習のみならず、地域・社会で行われている学習をも含んだ包括的な概念です。科学技術の発展に伴い、医学の情報量も飛躍的に増加しています。医学部在学中に学んだ知識を基にして、卒業後も積極的に自己学習を行う必要があります。大学における学習方法は高校までの学習方法とは異なること、大学卒業後も自分で発見した課題を自己学習によって解決するための能力が必要とされることを理解する必要があります。

### [学習目標（到達目標）]

- 1) 医学教育の仕組みを理解することができる。
- 2) 自分の将来像を見据えてキャリア・デザインを考えることができる。
- 3) レポートの書き方、文献検索方法など、大学生にとり不可欠な学習方法を実践できる。

### [身につける能力]

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

### [授業の種類] 講義、演習、実習

### [授業形態] 金曜日午前は、原則早期臨床体験のAグループとBグループの講義が一週ごとに交代となる。但し金曜日6限については、AグループとBグループの合同授業が入ることがある。

### [準備学習（予習・復習等）]

疑問に思ったことは質問し、分からないまま放置しないこと。また、事前課題が出された場合は、15分程度を目安に取り組むこと。講義中の指示をしっかりと聞き守ること。

### [評価] (卒業コンピテンス I-5、Ⅲ-1、V-1, 2, 3)、パフォーマンス・レベルD レポートとポートフォリオを評価する。

### [フィードバック]

ポートフォリオとレポートについて、評価して返却する。

### [コーディネーター] 中島 昭 教授 (生理化学)

[コーディネーター・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
中島 昭 教授	月～金	12：30～13：20 16：00～18：00	生涯教育研修センター1号館8階803

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
中島 昭 教授 (生理化学)	講義終了後に対応		
大槻 眞嗣 教授 (臨床総合医学)	講義終了後に対応		
長崎 弘 教授 (生理学Ⅰ)	講義終了後に対応		
近藤 一直 教授 (薬理学)	講義終了後に対応		
石原 慎 教授 (地域医療学)	講義終了後に対応		
角川 裕造 准教授 (生物学)	講義終了後に対応		
鴨下 淳一 准教授 (物理学)	講義終了後に対応		
若月 徹 准教授 (健康科学)	講義終了後に対応		
飯塚 成志 准教授 (臨床医学総論)	講義終了後に対応		
佐々木ひと美 准教授 (腎泌尿器外科学)	講義終了後に対応		
林 孝典 講師 (生化学)	講義終了後に対応		
岩田 義弘 講師 (耳鼻咽喉科学Ⅰ)	講義終了後に対応		
後藤 和恵 兼任講師 (医学教育企画室)	講義終了後に対応		
中島 志保 兼任講師 (図書館)	講義終了後に対応		
湯川 望 兼任講師 (図書館)	講義終了後に対応		

[教科書] なし

[推薦参考書] なし

[講義教室] 生涯教育研修センター1号館10階1001講義室、12階IT学習室、  
14階スキルスラボ、8階809・810講義室、6階602講義室

## [授業日程] Aグループ

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	21	金	6	中島 昭	カリキュラム概論1 ●本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 $\left( \begin{array}{c} \text{AB} \\ \text{グループ} \\ \text{合同} \end{array} \right)$
2	4	28	金	6	中島 昭	カリキュラム概論2 ●本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 $\left( \begin{array}{c} \text{AB} \\ \text{グループ} \\ \text{合同} \end{array} \right)$
3	5	19	金	2	長崎 弘	研究者としての道 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001
4	5	19	金	3	飯塚成志 大槻眞嗣 若月 徹 林 孝典	PBLの説明と実践(1) ●PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ●藤田式PBLを理解できる。 ○学習課題を発掘する。	1301~1312
5	5	19	金	6	石原 慎	臨床医への道 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 $\left( \begin{array}{c} \text{AB} \\ \text{グループ} \\ \text{合同} \end{array} \right)$
6	5	26	金	6	角川裕造 中島 昭	基礎医学展望:生物学と生理学の関係 ●生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ●基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001 $\left( \begin{array}{c} \text{AB} \\ \text{グループ} \\ \text{合同} \end{array} \right)$
7	6	2	金	3	飯塚成志 大槻眞嗣 若月 徹 林 孝典	PBLの説明と実践(2) ●PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ●藤田式PBLを理解できる。 ○学習課題を発掘する。	602

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
8	6	2	金	6	鴨下淳一 岩田義弘	臨床医学展望:物理学と耳鼻咽喉科学の関係 ●耳鼻咽喉科学を理解するために物理学の知識が必要であることを説明できる。 ●臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001 AB グループ 合同
9	6	9	金	6	佐々木ひと美	女性医師のキャリアデザイン ●医師としての多様なキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 AB グループ 合同
10	6	16	金	1	中島 昭	●レポートの構成要素を説明できる。 ○実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。	IT学習室
11	6	16	金	2	中島志保 湯川 望	図書館の利用と文献検索方法 ●国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。	IT学習室
12	6	30	金	2	石原 慎 後藤和恵 中島 昭	座学から臨床実習へ:OSCEとCBTの理解 ●OSCEとCBTの目的を説明できる。 ●知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	IT学習室 スキルスラボ
13	6	30	金	3	石原 慎 後藤和恵 中島 昭	座学から臨床実習へ:OSCEとCBTの理解 ●OSCEとCBTの目的を説明できる。 ●知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	スキルスラボ
14	7	14	金	1	中島 昭 後藤和恵	グループワーク:キャリア・デザインの構築 ●医師のキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる	809 810
15	7	14	金	2	中島 昭 後藤和恵	グループワーク:キャリア・デザインの構築 ●医師のキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	809 810

## [授業日程] Bグループ

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	21	金	6	中島 昭	カリキュラム概論1 ●本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 AB グループ 合同
2	4	28	金	6	中島 昭	カリキュラム概論2 ●本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 AB グループ 合同
3	5	12	金	2	近藤一直	研究者としての道 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001
4	5	12	金	3	飯塚成志 大槻眞嗣 若月 徹 林 孝典	PBLの説明と実践(1) ●PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ●藤田式PBLを理解できる。 ○学習課題を発掘する。	1301~1312
5	5	19	金	6	石原 慎	臨床医への道 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。 ○生涯学習の重要性を説明できる。	1001 AB グループ 合同
7	5	26	金	3	飯塚成志 大槻眞嗣 若月 徹 林 孝典	PBLの説明と実践(2) ●PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ●藤田式PBLを理解できる。 ○学習課題を発掘する。	602
6	5	26	金	6	角川裕造 中島 昭	基礎医学展望:生物学と生理学の関係 ●生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ●基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001 AB グループ 合同
8	6	2	金	6	鴨下淳一 岩田義弘	臨床医学展望:物理学と耳鼻咽喉科学の関係 ●耳鼻咽喉科学を理解するために物理学の知識が必要であることを説明できる。 ●臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	1001 AB グループ 合同

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
10	6	9	金	1	中島 昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レポートの構成要素を説明できる。</li> <li>○実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。</li> </ul>	IT学習室
11	6	9	金	2	中島志保 湯川 望	図書館の利用と文献検索方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。</li> </ul>	IT学習室
9	6	9	金	6	佐々木ひと美	女性医師のキャリアデザイン <ul style="list-style-type: none"> <li>●医師としての多様なキャリアを説明できる。</li> <li>○生涯学習の重要性を説明できる。</li> </ul>	1001 AB グループ 合同
12	6	23	金	2	石原 慎 後藤和恵 中島 昭	座学から臨床実習へ:OSCEとCBTの理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>●OSCEとCBTの目的を説明できる。</li> <li>●知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。</li> </ul>	IT学習室 スキルスラボ
13	6	23	金	3	石原 慎 後藤和恵 中島 昭	座学から臨床実習へ:OSCEとCBTの理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>●OSCEとCBTの目的を説明できる。</li> <li>●知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。</li> </ul>	スキルスラボ
14	7	7	金	1	中島 昭 後藤和恵	グループワーク:キャリア・デザインの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>●医師のキャリアを説明できる。</li> <li>○生涯学習の重要性を説明できる。</li> <li>○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる</li> </ul>	809 810
15	7	7	金	2	中島 昭 後藤和恵	グループワーク:キャリア・デザインの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>●医師のキャリアを説明できる。</li> <li>○生涯学習の重要性を説明できる。</li> <li>○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>	809 810

# 人の行動と心理 I

〈A-1(4), 2, 3〉

## 〔教育目標〕

本講義は大きく前半と後半に分かれる。前半では良好な医師－患者関係を築くために必要な知識を学ぶ。医師は診断基準に従って患者を分類し、その診断名に応じた適切な治療を施す。その際、良好な医師－患者関係が築かれているならば、こうした医療行為は患者と協働しながら、より円滑に、より有効なものとなるだろう。さらに、患者が医師を信頼し、温かく支えられていると実感するなら、その関係性自体が患者への援助となるだろう。ここでは、医療場面で見られる特殊な関係性について理解し、医師－患者関係を良好にするコミュニケーションスキルについて学ぶ。

後半では心理学の基礎的な知識を学ぶ。心理学は生体が示す特定の行動が、どういう条件で発現したり、抑制されたりするかを実証データより明らかにし、その分析から行動を支えている内的過程（こころ）のメカニズムを推論していく。ここでは、心理学で明らかにされてきた内的過程について、医師として最低限必要だと思われるテーマを取り上げて概説する。

## 〔学習目標〕

- ①医師－患者関係の特徴について理解する。
- ②良好な医師－患者関係を実現するコミュニケーションスキルについて学ぶ。
- ③心理学の基礎的な知識について学ぶ。

## 〔身につける能力〕

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

## 〔授業の種類〕

講義と講義内での演習

## 〔準備学習（予習・復習等）〕

講義で学んだところは、配布資料を読み返したり、引用文献に目を通したりをすることで理解を深めること。約10～20分程度を目安とする。分からないところは自身で調べるか、授業後の時間を使って質問すること。

## 〔評価〕

知識；卒業コンピテンシー I-4, II-1, IV-3, パフォーマンスレベルD

知識量および理解度の両面を問う定期試験に加え、講義の出席状況、態度をもとに総合的に判定する。

## 〔フィードバック〕

試験後配布される解答及び解説を復習すること。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
石川佳奈 客員講師	毎週木曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室

[ 教 科 書 ]      特に使用しない

[推薦参考書]      講義の際に随時紹介する

[使用する教室]      生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	13	木	5	石川佳奈	医師－患者関係を学ぶ意義 ●医師－患者関係を学ぶ意義について理解し、良好な医師－患者関係のイメージをつかむ。	1001
2	4	20	木	5	石川佳奈	コミュニケーションの理解① ○医師－患者関係を理解するための基礎的なコミュニケーションについて体験する。	1001
3	4	27	木	5	石川佳奈	コミュニケーションの理解② ○医師－患者関係を理解するための基礎的なコミュニケーションについて理解を深める。	1001
4	5	11	木	5	石川佳奈	医師－患者関係の理解① ○医師と患者の信頼関係について理解し、求められる医師の態度のあり方について学ぶ。	1001
5	5	18	木	5	石川佳奈	医師－患者関係の理解② ○患者の病に関する語りを通して、その精神的・身体的苦痛の意味を学ぶ。	1001
6	5	25	木	5	石川佳奈	医師－患者関係の理解③ ○患者に情報提供を行うことの重要性や患者中心のチーム医療について学ぶ。	1001
7	6	1	木	5	石川佳奈	コミュニケーションスキル① ○患者の心理的および社会的背景を捉えるために必要なスキルを学ぶ。	1001
8	6	8	木	5	石川佳奈	コミュニケーションスキル② ○患者と家族の精神的・身体的苦痛の背景や配慮するために必要なスキルを学ぶ。	1001
9	6	15	木	5	石川佳奈	コミュニケーションスキル③ ○個々のコミュニケーションスキルを統合し、実際の場面での応用の仕方を理解する。	1001
10	6	22	木	5	石川佳奈	医師のメンタルヘルスの維持 ●バーンアウトについて学び、自身のメンタルヘルス維持に役立てる。	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
11	6	29	木	5	石川佳奈	心理学とは何か ●人の行動と心理を理解するための基礎的な考え方を学ぶ。	1001
12	7	6	木	5	石川佳奈	心理学各論① ○人が新しい行動様式や知識を習得する過程や人の行動が始発し持続する過程について学ぶ。	1001
13	7	13	木	5	石川佳奈	心理学各論② ○個人差に言及した性格とそれに関連する概念、知能の発達や環境との関連について学ぶ。	1001
14	7	20	木	5	石川佳奈	心理学各論③ ●精神疾患の治療におけるエビデンスのある認知行動療法の概念について学ぶ。	1001

## 読書ゼミナール ―科学研究の基礎Ⅰ― 〈A-4〉

### 〔教育目標〕

日本語を母国語とする我々は、思考に用いる言語として日本語を使っていることをごく当然のことにように考えています。少し考え方を変えれば、私たちは外国語の授業時間以外は生まれて以降絶えず日本語のトレーニングをしてきたわけですし、現在も日々の生活の中でそれを実践していることになります。そのような状況でも英語を得意とする人と不得意とする人がいるのと同様、トレーニングの違いから日本語の得意な人、不得意な人がいるのは極めて当然のことです。

この“読書ゼミナール―科学研究の基礎Ⅰ―”の授業は「医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力の涵養と言語による表現力の啓発を目的とする」ことにあります。医療の世界は既にインフォームド・コンセントが広く浸透しており、患者さんや御家族の心情を汲み取った上で適切かつ的確に、かつ曖昧さを極力排して、言葉や文章によって説明できるという能力が医療従事者には強く要求されています。こういう時代であるからこそ、学生諸君の思考の基本となる日本語の力が更に錬磨されることを期待して、この“読書ゼミナール―科学研究の基礎Ⅰ―”がカリキュラムに加えられています。講師と一緒にテキストを読み、内容の要旨や論点を把握し、討論や文章作成等の過程を通じて、医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力を高めてもらいたいと思います。

### 〔学習目標〕

- ・感情や事象の言語による表現に関心を持つようになること。
- ・文章の要点の把握が出来るようになること。
- ・自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現できるようになること。
- ・論理的かつ明晰な文章を作る努力を厭わない持久力を身につけること。
- ・課題を決められた様式に従って文書または口頭で発表できること。

### 〔到達目標〕

- ・医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。
- ・テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。
- ・討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。

### 〔身につける能力〕

別紙（別表1）参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを示した表）

### 〔授業の種類〕

演習

### [授業形態]

- ・各グループ当りの学生数：約8名（全体で17グループ）
- ・テキストの選択

担当教員と使用するテキストのリストが担当教員の項に示されています。それを基に学生諸君がそれぞれの担当教員に登録して頂きます。

- ・登録者数が不均一の場合は、各グループ間で人数の過不足が無いように調整します。テキストを早く読了してしまった場合は新しいテキストを担当教員と学生とで決めて頂きます。そのグループの構成メンバーを再度他の班に割り振ることはしません。
- ・医学部入学後、初めて体験する少人数形式の授業です。

### [準備学習（予習・復習等）]

必要に応じて予習課題を出すことがあります。それぞれ数十分程度。担当者の指示に従うこと。

### [評価]

演習および演習態度；（卒業コンピテンシー I -4, 5、V-1、パフォーマンス・レベルC・V-3、パフォーマンス・レベルD）

評価は14コマ全部終了した時点で実施する。

どの程度テキストを理解したか、議論に積極的に参加したか、文章作成が的確であったか等を担当教員が総合的に判定します。段階評価による点数制ですので、消極的な議論参加では減点となります。点数の計算法は担当教員に配付してあります。担当教員が学生諸君の評価に用いる主な項目が以下に示してあります。

- 1) 周到に準備したか？
- 2) テキストの内容を正確に把握したか？
- 3) ストーリーを的確に説明したか？
- 4) ポイントをつく発言をしたか？
- 5) 積極的に討論へ参加したか？
- 6) 人の意見をうのみにせずに吟味したか？
- 7) 討論を上手にまとめたか？
- 8) 感想やまとめを文章化したか？
- 9) 文章による表現が的確であったか？

### [フィードバック]

問題がある場合は対応する。

### [注意事項]

この“読書ゼミナールー科学研究の基礎Ⅰー”は演習扱いとする。欠席した場合には速やかに担当教員に申し出て指示を得ること。

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1号館13階など

[コーディネーター] 前野 芳正 准教授 (ウイルス・寄生虫学)

## [教科書]

### 前半9コマ

#### 1時間目

- 若月 徹 『問題解決の心理学 –人間の時代への発想』 安西祐一郎 (中公新書)  
 大熊 真人 『パリわずらい 江戸わずらい』 浅田次郎 (小学館文庫)  
 佐藤 労 『共生保障く支え合いの戦略』 宮本太郎 (岩波新書)  
 鏡 裕行 『ゲーデル 不完全性定理』 林晋・八杉満利子 訳・解説 (岩波文庫)  
 中島 昭 『脳には妙なクセがある』 池谷裕二 (扶桑新書)  
 森山 陽介 『大学、研究機関の研究に関するプレスリリースおよび新聞記事』

webの中から

- 飯塚 成志 『パーソナリティ障害 –いかに接し、どう克服するか』 岡田尊司 (PHP新書)  
 深澤 元晶 『99・9%は仮説 思いこみで判断しないための考え方』 竹内薫 (光文社新書)  
 吉田 友昭 『あるがままに 自閉症です』 東田直樹 (エスコアール出版部)

#### 2時間目

- 一瀬 千穂 『芥川龍之介全集1』 芥川龍之介 (ちくま文庫)  
 近藤 一直 『走れメロス』 太宰治 (新潮文庫)  
 塚本健太郎 『「感染症パニック」を防げ! ~リスク・コミュニケーション入門~』  
 岩田健太郎 (光文社新書)  
 前野 芳正 『世界で一番いのちの短い国 –シエラレオネの国境なき医師団』  
 山本敏晴 (小学館文庫)  
 角川 裕造 『単純な脳, 複雑な「私」』 池谷裕二 (講談社ブルーバックス)  
 金子 葉子 『羅生門 蜘蛛の糸』 杜子春 外十八篇 芥川龍之介 (文春文庫)  
 林 孝典 『休み時間の薬物治療学』 柳澤輝行 (講談社)  
 原田 信広 『爆発的進化論 –1%の奇跡がヒトを作った』 更科功 (新潮新書)

### 後半7コマ

#### 1時間目

- 濱島 誠 『司馬遼太郎に日本人を学ぶ』 森史朗 (文春新書)  
 平田ゆかり 『コメント力』 齋藤 孝 (ちくま文庫)  
 若月 徹 前半7コマと同一テキスト使用  
 吉田 友昭 『小泉八雲集』 小泉八雲 著、上田和夫 訳 (新潮文庫)  
 大熊 真人 前半7コマと同一テキスト使用

飯塚 成志 前半7コマと同一テキスト使用  
一瀬 千穂 『芥川龍之介全集2』 芥川龍之介（ちくま文庫）  
鏡 裕行 前半7コマと同一テキスト使用  
前野 芳正 前半7コマと同一テキスト使用

## 2時間目

秦 龍二 『人を動かす』 D・カーネギー（創元社）  
守口 匡子 『働かないアリに意義がある』 長谷川 英祐（KADOKAWA）  
八代 耕児 『おとなの教養 - 私たちはどこから来て、どこへ行くのか?』  
池上彰著（NHK出版新書）  
太田 充彦 『かもめのジョナサン【完成版】』  
リチャード・バック 著、五木寛之創 訳（新潮文庫）  
鈴木 茂孝 『迷惑な進化 - 病気の遺伝子はどこから来たのか』  
Sharon Moalem and Jonathan Prince著 矢野真知子訳（NHK出版）  
佐藤 労 前半7コマと同一テキスト使用  
近藤 一直 『グローバリズム以後』 エマニュエル・トッド（朝日新書）  
角川 裕造 『音に色が見える世界「共感覚」とは何か』 岩崎純一（PHP電子文庫）

## [担当教員・オフィスアワー]

&lt;月曜日 1 時限目&gt;

担当者名		曜 日	時 間	場 所
1	若 月 徹 (健康科学 准教授)	随時 (メールでの対応可能)		生涯教育研修センター 1 号館 8 階807
	濱 島 誠 (法医学 助教)	随時。訪問前にメール等で日時の調整をすること。 mhamajim@fujita-hu.ac.jp		医学部 1 号館 3 階、地下 2 階
2	大 熊 真 人 (生理学Ⅱ 講師)	随時		時間指定の場合はm-ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡
	平 田 ゆかり (法医学 助教)	随時。訪問前にメール等で日時の調整をすること。 yhirata@fujita-hu.ac.jp		医学部 1 号館 3 階、地下 2 階
3	佐 藤 芳 (倫理学 教授)	月・火・金	17:00～19:00	生涯教育研修センター 1 号館 8 階806
	若 月 徹 (健康科学 准教授)	随時 (メールでの対応可能)		生涯教育研修センター 1 号館 8 階807
4	鏡 裕 行 (数学 准教授)	火・木	12:30～13:20	生涯教育研修センター 1 号館 9 階906
	吉 田 友 昭 (生物学 教授)	火～金	9:00～18:00	生涯教育研修センター 1 号館 7 階
5	中 島 昭 (生理化学 教授)	月～金	12:30～13:20 16:00～18:00	生涯教育研修センター 1 号館 8 階803
	大 熊 真 人 (生理学Ⅱ 講師)	随時		時間指定の場合はm-ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡
6	森 山 陽 介 (解剖学Ⅱ 助教)	月 火	16:00～18:00 17:00～19:00	医学部 1 号館806 医学部 1 号館B1実習室
	飯 塚 成 志 (臨床医学総論 准教授)	月～木	7:00～8:30	生涯教育研修センター 1 号館 9 階907
7	飯 塚 成 志 (臨床医学総論 准教授)	月～木	7:00～8:30	生涯教育研修センター 1 号館 9 階907
	一 瀬 千 穂 (薬理学 准教授)	昼休みおよび放課後		医学部 1 号館 5 階
8	深 澤 元 晶 (解剖学Ⅱ 助教)	月 火	16:00～18:00 17:00～19:00	医学部 1 号館 8 階806、 地下 1 階実習室
	鏡 裕 行 (数学 准教授)	火・木	12:30～13:20	生涯教育研修センター 1 号館 9 階906
9	吉 田 友 昭 (生物学 教授)	火～金	9:00～18:00	生涯教育研修センター 1 号館 7 階
	前 野 芳 正 (ウイルス・寄生虫学 准教授)	月～金	17:00～19:00	医学部 1 号館 6 階

## &lt;月曜日 2 時限目&gt;

担当者名		曜 日	時 間	場 所
1	一 瀬 千 穂 (薬理学 准教授)	昼休みおよび放課後		医学部 1 号館 5 階
	秦 龍 二 (解剖学 I 教授)	事前にアポイントをとること。 hata@fujita-hu.ac.jp		医学部 1 号館 8 階815
2	近 藤 一 直 (薬理学 教授)	昼休みおよび放課後		医学部 1 号館 5 階
	守 口 匡 子 (ウイルス・寄生虫学 講師)	月～金	9：00～17：30	医学部 1 号館 6 階
3	塚 本 健太郎 (微生物学 講師)	月・火・金	16：00～18：00	医学部 1 号館 8 階815
	八 代 耕 児 (化学 准教授)	月～金	16：00～18：00	生涯教育研修センター 1 号館8階
4	前 野 芳 正 (ウイルス・寄生虫学 准教授)	月～金	17：00～19：00	医学部1号館6階
	太 田 充 彦 (公衆衛生学 准教授)	月～水 土	16：00～18：00 9：00～12：30	医学部 1 号館 4 階
5	角 川 裕 造 (生物学 准教授)	月～金	17：00～19：00	生涯教育研修センター 1 号館 7 階
	鈴 木 茂 孝 (コンピュータ情報処理学 教授)	月～金	12：00～18：00	生涯教育研修センター 1 号館12階1203
6	金 子 葉 子 (生理学 I 准教授)	月～金	12：30～13：20 16：00～17：30	医学部 1 号館 4 階410
	佐 藤 芳 (倫理学 教授)	月・火・金	17：00～19：00	生涯教育研修センター 1 号館8階806
7	林 孝 典 (生化学 講師)	月～木	12：30～13：20 17：00～19：00	医学部 1 号館 6 階605
	近 藤 一 直 (薬理学 教授)	昼休みおよび放課後		医学部 1 号館 5 階
8	原 田 信 広 (生化学 教授)	月～木	12：30～13：20 17：00～19：00	医学部 1 号館 6 階605
	角 川 裕 造 (生物学 准教授)	月～金	17：00～19：00	生涯教育研修センター 1 号館 7 階

## &lt;月曜日1時限目&gt;

1) 若 月 徹 (健康科学)

前半7コマ

「問題解決の心理学 – 人間の時代への発想」安西祐一郎著 (中公新書)

“現代は問題解決の時代と言われている。私たちは毎日大なり小なり問題にぶつかり、なんとか切り抜けながら生活を送っています。また、医療者には患者の健康問題に対し問題解決を求められます。そこで問題解決とは何なのかということを今一度考えることにしましょう。

授業は「話し合い学習法 (LTD)」により進められます。高度なアクティブラーニングであるこの方法は学生の皆さんが主役です。各自の事前準備に基づいて、授業では4、5人のグループでのミーティングを通して行われます。仲間との対話を通して、読む力、考える力、話す力などを育む実践的な学習モデルです。”

濱 島 誠 (法医学)

後半7コマ

「司馬遼太郎に日本人を学ぶ」森史朗著 (文芸新書)

“日本人とは何か。戦車兵として戦場に駆り出され、抱いた問いを胸に、膨大な作品を紡ぎ出した巨人、司馬遼太郎。その本質に迫る読書体験ができます。

雑誌編集部で「司馬遼太郎」担当となった著者が、司馬遼太郎の代表作を紹介しながら、司馬遼太郎の人格、思想、魅力に迫ります。また日本史を改めて学ぶいい機会になります。”

2) 大 熊 真 人 (生理学Ⅱ)

前半7コマ

「パリわずらい 江戸わずらい」浅田次郎著 (小学館文庫)

“超多忙作家が国内外で遭遇した抱腹絶倒の出来事から、身近に起こる驚きと感動のエピソードまで絶妙の筆致で描く傑作エッセイ集。温泉場での仰天と脱力を赤裸々に描いた『話にもなりませんわ』、軽井沢の別荘に出現した謎の生物とは？『招かれざる客』、ナポリでナポリタンを追い求め亡き父を思う『多様性と二者択一』、ラスベガスでマイケル・ジャクソンとまさかの邂逅を遂げる『袖振り合うも多生の縁』、パスタとスイーツの本場でダイエットは続行できるのかを検証する『イタリアン・クライシス』ほか旅と食と感動が満載の全40篇。(カバー解説より)

日本航空の機内情報誌に連載されている、小説家 浅田次郎さんによるエッセイです。江戸っ子親父の考察を題材に、ちょっとだけ深く考える練習をしましょう。”

平 田 ゆかり（法医学）

後半7コマ

「コメント力」齋藤孝著（ちくま文庫）

“コメント力という、その要所でズバリポイントをついた一言二言がうまく言える力のことを指していると思います。気の効いたことが言えない場合、仕事のチャンスを失うことがあるかもしれません。コメントを求められた時に、自分自身の知識やオリジナリティの深さが問われてしまいます。

的確なコメントができない事は多々あります。本当に自分の意見をしっかり持ち、きちっと発言するという機会は、これからますます増えていくでしょう。そのように考えると、しっかりとした的確なコメントが、すぐできるという事は、なかなか難しいとしても、「基本的には的外れな発言をしない」ということは重要なことです。

ただ読むだけでは難しいと思いますが、考え方の目線やコツを掴んで頂ければと思います。”

3) 佐 藤 芳（倫理学）

前半7コマ

「共生保障＜支え合い＞の戦略」宮本太郎著（岩波新書）

“現代の社会は、少子化、超高齢化、晩婚化、貧困など社会の分断が進みつつあります。「支える側」「支えられる側」という二分法が成り立っていた時代が崩壊して、新しい共生の仕方が求められています。考えてみましょう。

第一章 制度はなぜ対応できないのか、第二章 共生保障とは何か、第三章 共生の場と支援の制度、第四章 社会保障改革のゆくえ、第五章 共生という価値と政治”

若 月 徹（健康科学）

後半7コマ

「問題解決の心理学 - 人間の時代への発想」安西祐一郎著（中公新書）  
“現代は問題解決の時代と言われている。私たちは毎日大なり小なり問題にぶつかり、なんとか切り抜けながら生活を送っています。また、医療者には患者の健康問題に対し問題解決を求められます。そこで問題解決とは何なのかということを今一度考えることにしましょう。

授業は「話し合い学習法（LTD）」により進められます。高度なアクティブラーニングであるこの方法は学生の皆さんが主役です。各自の事前準備に基づいて、授業では4、5人のグループでのミーティングを通して行われます。仲間との対話を通して、読む力、考える力、話す力などを育む実践的な学習モデルです。”

## 4) 鏡 裕 行 (数学)

前半7コマ

「ゲーデル 不完全性定理」林晋・八杉満利子 訳・解説 (岩波文庫)

“「自然は数学の言葉で書かれている」と言われるように、自然科学の諸分野の根底にある学問が数学であるとされ、数学的に証明されることが自然、宇宙の普遍的な真理であると考えられている。

一方、数学者ゲーデルは、1930年に発表した「不完全性定理」により、ある矛盾の無い理論体系の中に肯定も否定も証明できない命題が必ず存在することと、ある理論体系が無矛盾であるならば、その無矛盾性をその体系の中では証明できないということを証明した。

このことは、数学の無矛盾性を完全に証明しようと全数学者に呼びかけていた数学者ヒルベルトによる「ヒルベルト計画」に、深刻な影響を与えることとなった。

本書は、数学の定理でありながら、物理学をはじめとした自然科学、哲学、情報科学といった分野に多大な影響を与えたゲーデルの不完全性定理の解説書である。特に、「不完全性定理の数学的理解のための入門的解説ではなく、この定理の数学史における位置と意義の解説を主目的としてい」ることが特色である。数学基礎論の立場に沿って、筆者らによる長年の研究の成果に基づいて語られる数学史の解説は、上記のような関連分野に関わる読者を魅了してやまない。

本書を携えながら、著者の林晋先生らとともに、数学基礎論の歴史の旅に旅立ちましょう。”

## 吉 田 友 昭 (生物学)

後半7コマ

「小泉八雲集」小泉八雲著、上田和夫訳 (新潮文庫)

“ギリシャ系のイギリス人、ラフカディオ・ハーンは、明治中期に来日して帰化し、日本に関係した多くの著作を残した人です。中でも民間に伝わる伝承を作品化した、「怪談」などは有名で、「雪女」、「耳なし芳一のはなし」などは知っている人も多いかと思います。日本語自体は訳者によるものですが、短編でとっつきやすいわりには格調高い表現が多くて、大学生が取り組んでおかしくない作品集です。また、この文庫には「日本人の微笑」をはじめとする評論や挿話がいくつか含まれていて、江戸、明治、大正期の日本人のメンタリティー——もちろんそれは現在につながるもののわけですが——を考察するのに大変優れた材料を与えてくれます。これらの評論を軸にして、意見交換をしながら進めていく予定です。前半と同様、「聴く」機会も作りたいので、「怪談」の中の作品の朗読音源なども活用しながら、日本語リテラシーを育てて行ければと思います。”

5) 中 島 昭 (生理化学)

前半7コマ

「脳には妙なクセがある」池谷裕二著 (扶桑新書)

“著者の池谷裕二先生をご存知でしょうか？これまで受験勉強が忙しく、あまりテレビをご覧になっていないと思いますが、テレビに出演されることが多いので、今後気づかれることがあるかも知れません。

現職は東京大学薬学部教授で、私も日本神経科学会のシンポジウムで講演を聞いたことがあります。この手の一般向けの本を書く方は、大学に所属していても研究をあまりしていない方も多くいます。しかし、この方は別格で、講演はご自分の研究内容についてでしたが、「神経細胞のネットワークと記憶の発生」に関する先進的でとても興味深い内容でした。最先端の研究している著者が積極的にマスコミに登場して情報発信をするのは、将来を担う若者に科学に興味を持ってもらいたいという気持ちが強いからです。

本書は一般向けの本であり、脳について現在分かっていることが極めて平易に書かれていて、楽しく読み進むことができます。ただ単に面白いだけでなく、200以上の論文が引用され、事実に基づいたしっかりとした内容となっています。第7章の「脳は妙に自己満足する」では、好みの洋服が選ばれる理由を、脳に発生する「行動」と「感情」の矛盾から解説していて、私も妙に納得してしまいました。もちろん、解説は著者の主観ではなく、論文に報告されている科学的事実に基づいてなされたものです。”

大 熊 真 人 (生理学Ⅱ)

後半7コマ

「パリわずらい 江戸わずらい」浅田次郎著 (小学館文庫)

“超多忙作家が国内外で遭遇した抱腹絶倒の出来事から、身近に起こる驚きと感動のエピソードまで絶妙の筆致で描く傑作エッセイ集。温泉場での仰天と脱力を赤裸々に描いた『話にもなりませんわ』、軽井沢の別荘に出現した謎の生物とは？『招かれざる客』、ナポリでナポリタンを追い求め亡き父を思う『多様性と二者択一』、ラスベガスでマイケル・ジャクソンとまさかの邂逅を遂げる『袖振り合うも多生の縁』、パスタとスイーツの本場でダイエットは続行できるのかを検証する『イタリアン・クライシス』ほか旅と食と感動が満載の全40篇。(カバー解説より)

日本航空の機内情報誌に連載されている、小説家 浅田次郎さんによるエッセイです。江戸っ子親父の考察を題材に、ちょっとだけ深く考える練習をしましょう。”

## 6) 森 山 陽 介 (解剖学Ⅱ)

前半7コマ

「大学、研究機関の研究に関するプレスリリースおよび新聞記事」 Webから

“大学や研究機関は研究に関する論文が発表された際にその内容をまとめた日本語の解説記事（プレスリリース）を公表することが多い。その内容は簡易とはいいがたいが、生物学の知識があるならば理解できるものである。また、各新聞社はその内容をもとに新聞記事を掲載することもある。このゼミでは、それらのプレスリリースや新聞記事を徹底的に要約して新聞記事風の「見出し」を作成するとともに、内容について調べ理解したことを発表し疑問点について議論をする形式で行う。”

## 飯 塚 成 志 (臨床医学総論)

後半7コマ

「パーソナリティ障害 –いかに接し、どう克服するか」岡田尊司著 (PHP新書)

“本書の内容紹介によればパーソナリティ障害とは、「偏った考え方や行動パターンのために、家庭や社会生活に支障をきたしている状態のこと」。米国では人口の15%の人がパーソナリティ障害であるとの報告もあります。この障害の10タイプそれぞれについて、克服や援助の際のポイントとなる点が具体的に記されており、パーソナリティ障害の「入門書」とも言えますが、他の類似の本が煽ったり大衆受けする表現を多用したりしているのに比すれば、とても丁寧に、冷静に書かれています。精神科医である著者が実際の臨床経験の中で得た経験知や人生の知恵を伝えてくれる本であり、学ぶとはどういうことか、どのような心のありようで生きるべきか、など、本書を通じて様々なことを考えるきっかけになればと思います。”

7) 飯塚成志 (臨床医学総論)

前半7コマ

「パーソナリティ障害 ―いかに接し、どう克服するか」岡田尊司著 (PHP新書)

“本書の内容紹介によればパーソナリティー障害とは、「偏った考え方や行動パターンのために、家庭や社会生活に支障をきたしている状態のこと」。米国では人口の15%の人がパーソナリティ障害であるとの報告もあります。この障害の10タイプそれぞれについて、克服や援助の際のポイントとなる点が具体的に記されており、パーソナリティ障害の「入門書」とも言えますが、他の類似の本が煽ったり大衆受けする表現を多用したりしているのに比すれば、とても丁寧に、冷静に書かれています。精神科医である著者が実際の臨床経験の中で得た経験知や人生の知恵を伝えてくれる本であり、学ぶとはどういうことか、どのような心のありようで生きるべきか、など、本書を通じて様々なことを考えるきっかけになればと思います。”

一 瀬千穂 (薬理学)

後半7コマ

「芥川龍之介全集2」芥川龍之介著 (ちくま文庫)

“「人生を銀のピンセットで弄んでゐる (菊池寛)」と評された芥川龍之介 (1892年 (明治25年) 3月1日 - 1927年 (昭和2年) 7月24日) は、第一高等学校から、東京帝国大学文科大学英文科へ。在学中から作品を書き始め、教職と兼任、また27歳以降は新聞社等に嘱託のかたちながら作家一本で、数多くの短編小説を発表しました。夏目漱石の弟子にあたり、宇治拾遺物語や今昔物語に取材した王朝物、キリシタンを題材としたもの、日常の光景を切り取った小品群、強烈な皮肉や風刺の感じられる伏字だらけのものなど、その作品は多岐にわたります。才能に恵まれながらも「将来に対するぼんやりした不安」にとらえられ、自ら命を絶ったのは35歳の時でした。一連の作品群を読み返す時、まさにむき出しの研ぎ澄まされた神経、ナイフのようにするどい知性をひりひりと感じます。ああこれでは、長生きできなかつただろうな、と。芥川龍之介の作品は皆さんの年代に比較的近い、20~30代に書かれたことになりますね。私自身好きな作家なので、過去何度も作品を読み直しました。今彼の没した年齢を遥かにすぎて、再び万華鏡をのぞくかのように、年譜や時代背景も参照しながら作品に込められた意味や秘められた思いを紐解いてみたいと思います。芥川龍之介全集2には (大正6 - 8、25 - 27歳) 「或日の大石内蔵助」「袈裟と盛遠」「蜘蛛の糸」「地獄変」「開化の殺人」「奉教人の死」「邪宗門」他が収録されています。”

## 8) 深澤元晶(解剖学Ⅱ)

前半7コマ

「99・9%は仮説 思いこみで判断しないための考え方」竹内薫著(光文社新書)

“福沢諭吉は「学問のすすめ」において、「人間は科学的知識を用いて論理的思考を行うことにより、非科学的な迷信や不条理な因習に囚われず自由な個として独立できる」と説いた。皆さんはまさにその学問の過程にあり、日常の生活においてもそのようなあり方を実践してほしいと思う。本書は科学エッセイであり、いわゆる「常識」とは絶対的なものではなく、常に検証にさらされ、時には覆ることもあるということを具体的事例と共に紹介している。世界に対するこのような接し方こそが「科学」であり、あなた方もまた検証する側であるということ踏まえていただければ、これから学ぶ様々な専門知識に対する接し方も違ってくるのではなかろうか。情報をただ鵜呑みに記憶するのではなく、なぜそうなのか自分でも考えてみるというのは、面倒臭くはあるが、あなた方が「常識」に囚われず自由であるためにも必要である。その練習として、本書を皆さんと共に読んでみたい。”

## 鏡 裕行(数学)

後半7コマ

「ゲーデル 不完全性定理」林晋・八杉満利子 訳・解説(岩波文庫)

“「自然は数学の言葉で書かれている」と言われるように、自然科学の諸分野の根底にある学問が数学であるとされ、数学的に証明されることが自然、宇宙の普遍的な真理であると考えられている。

一方、数学者ゲーデルは、1930年に発表した「不完全性定理」により、ある矛盾の無い理論体系の中に肯定も否定も証明できない命題が必ず存在することと、ある理論体系が無矛盾であるならば、その無矛盾性をその体系の中では証明できないということを証明した。

このことは、数学の無矛盾性を完全に証明しようと全数学者に呼びかけていた数学者ヒルベルトによる「ヒルベルト計画」に、深刻な影響を与えることとなった。

本書は、数学の定理でありながら、物理学をはじめとした自然科学、哲学、情報科学といった分野に多大な影響を与えたゲーデルの不完全性定理の解説書である。特に、「不完全性定理の数学的理解のための入門的解説ではなく、この定理の数学史における位置と意義の解説を主目的として」いることが特色である。数学基礎論の立場に沿って、筆者らによる長年の研究の成果に基づいて語られる数学史の解説は、上記のような関連分野に関わる読者を魅了してやまない。

本書を携えながら、著者の林晋先生らとともに、数学基礎論の歴史の旅に旅立ちましょう。”

9) 吉 田 友 昭 (生物学)

前半7コマ

「あるがままに 自閉症です」東田直樹著 (エスコアール出版部)

“自閉症の著者が、幼少期からの記憶を振り返りながら自らの内面を吐露した稀有な随筆です。多くの自閉症の人は対面して会話をすることは正常にできないけれど、言語を操って思考することに何の支障もないので、著者は、自分のアイデンティティと周囲の受け取り方のズレの意味をきちんと分析して読者に示してくれます。その内容は、もしかして我々も心の中のほんの一部のきしみとして持っている「オリ」のようなものにつながるものなのではないかと感じてしまいます。

本文から引用：ビールを、僕がわざと「ジュース」と言うのは「違う、ビール」と言ってもらいたいからです。また、自分のではないお皿だとわかっているのに、自分のところに置こうとするのも「それ、お母さんの」と言ってほしいからです。(中略) 答えの内容が知りたいのではなく、その言葉のリズムや音の響きが僕にとっては重要だから、思った音が聴けるまで繰り返してしまいます。 等々

文章は全体に平易で短いのですが、その内容は人間の内面の本質、認知、自我、尊厳などについて考え直させる、鋭い刃物のような輝きを持っています。将来医療に携わる上での参考という面もありますが、皆さん自らの内省の材料としてもらい、話し合いを通じてお互いを高めあうことができれば幸いです。また、本書の中で出てくる「聴く」ことの意味はおそらく大変大きいので、皆さん自身にも「聴いて思い浮かべる」体験をしてもらう予定です。”

前 野 芳 正 (ウイルス・寄生虫学)

後半7コマ

「世界で一番いのちの短い国 - シエラレオネの国境なき医師団」山本 敏晴著 (小学館文庫)

“平均寿命34歳(2002年)、日本のわずか半分以下。世界で最も医療事情が悪い国、西アフリカのシエラレオネ共和国。十年以上も内戦が続き、病院の建物は壊れ、医師や看護師も国外に逃げ出している。この医療システムが崩壊した、世界で一番いのちの短い国に派遣された医師が、寝食を忘れ、力を尽くして、目の前のいのちを救っていく……。本書は、国境なき医師団としてシエラレオネ共和国に派遣された、山本敏晴さんの半年間の活動の記録である。紛争地帯のど真ん中で、いのちを救うために尽力する日本の医師の姿が、勇気と感動を与えてくれる…はずなんだけど、性欲の処理の仕方のような下世話な話もあってちょっぴり笑えたりもする。肩肘張らずにさらさらと読めるところが本書のいいところなのだ。”

## &lt;月曜日2時限目&gt;

## 1) 一瀬千穂 (薬理学)

前半7コマ

「芥川龍之介全集1」芥川龍之介著 (ちくま文庫)

“「人生を銀のピンセットで弄んでゐる (菊池寛)」と評された芥川龍之介 (1892年 (明治25年) 3月1日 - 1927年 (昭和2年) 7月24日) は、第一高等学校から、東京帝国大学文科大学英文科へ進学。在学中から作品を書き始め、教職と兼任、また27歳以降は新聞社等に嘱託のかたちながら作家一本で、数多くの短編小説を発表しました。夏目漱石の弟子にあたり、宇治拾遺物語や今昔物語に取材した王朝物、キリシタンを題材としたもの、日常の光景を切り取った小品群、強烈な皮肉や風刺の感じられる伏字だらけのものなど、その作品は多岐にわたります。才能に恵まれながらも「将来に対するぼんやりした不安」にとらえられ、自ら命を絶ったのは35歳の時でした。一連の作品群を読み返す時、まさにむき出しの研ぎ澄まされた神経、ナイフのようにするどい知性をひりひりと感じます。ああこれでは、長生きできなかつただろうな、と。芥川龍之介の作品は皆さんの年代に比較的近い、20～30代に書かれたことになりますね。私自身好きな作家なので、過去何度も作品を読み直しました。今彼の没した年齢を遥かに過ぎて、再び万華鏡をのぞくかのように、年譜や時代背景も参照しながら作品に込められた意味や秘められた思いを紐解いてみたいと思います。芥川龍之介全集1には大正3～6、22～25歳の作品、「ひよっとこ」「仙人」「羅生門」「鼻」「芋粥」「煙草と悪魔」「煙管」他が収録されています。”

## 秦 龍二 (解剖学I)

後半7コマ

「人を動かす」D・カーネギー著 (創元社)

“『人を動かす』(ひとをうごかす、原題: How to Win Friends and Influence People) は、自己啓発書の元祖と称されるデール・カーネギーの代表的著書の1つです。他者に対する自己の行動を変えることにより、他者の行動を変えることができる、という考えが中心となっています。ビジネスの世界で有名な著書ですが、その内容は医療の世界でも重要と考えられ、特に医師・患者関係の構築に有用と思われる提案がいくつもなされています。是非この機会に一緒にこの名著を輪読しましょう。”

2) 近 藤 一 直 (薬理学)

前半7コマ

「走れメロス」太宰治著 (新潮文庫)

“このタイトルはよく覚えている。小学生の頃、担任の先生が最も薦めたい本として紹介してくれた作品である。その時は友情とか信頼という概念を学ぶために子供向けの書下ろしを読んだ筈だがさて今、原作を大人の目で眺めたら何を感じるだろうか。単なる道徳だけではない、その奥から溢れ出る屈折や豊かな教養にも注目してみる。”

守 口 匡 子 (ウイルス・寄生虫学)

後半7コマ

「働かないアリに意義がある」長谷川英祐著 (メディアファクトリー)

“まずはamazonのサイトに記載されている本書の紹介文を以下に記します。

『女王バチのために黙々と働く働きバチや、列を成して大きな荷物を運ぶアリたちに共感を覚えた経験は誰にもあるはず。しかし実際に観察すると、アリもハチもその7割はボーッとしており、約1割は一生働かないことがわかってきた。また、働かないアリがいるからこそ、組織が存続していけるというのである！これらを「発見」した著者による本書は、アリやハチなどの集団社会の研究から動物行動学と進化生物学の最新知見を紹介。人間が思わず身につまされてしまうエピソードを中心に、楽しみながら最新生物学がわかる科学読み物である。生命の不思議に感動すると共に、読後には社会・会社・家族などへの考え方が少しだけ変わる、ラクになる。』”

## 3) 塚 本 健太郎 (微生物学)

前半7コマ

「「感染症パニック」を防げ! ~リスク・コミュニケーション入門~」 岩田健太郎著 (光文社新書)

“エボラ出血熱、新型インフルエンザ、デング熱、SARS、西ナイル熱、炭疽菌等によるバイオテロ……。高度な文明社会となった現代でも、感染症は相変わらず人類をおびやかしている。目に見えない敵、感染症のリスクを扱うときには、単に患者を診断し、病原体を見つけ、それを殺して治療する以上に必要となるものがある。それはパニックと対峙し、パニックによる被害拡大を防ぐためのコミュニケーションの方法である。「恐さ」をどのように捉え、いかに効果的に伝えるか。本書では、いくつもの感染症のアウトブレイクに居合わせ、“感染症にとりつかれた男”とも言われる医師・岩田健太郎が、その経験を交えながら、感染症を題材としたリスク・コミュニケーションのあり方を教える (カバー解説より)。

本書には、将来医師になった時にも役立つ内容がたくさん含まれています。この本を通して、リスク・コミュニケーションについて一緒に考えてみましょう。”

## 八 代 耕 児 (化学)

後半9コマ

「おとなの教養 ―私たちはどこから来て、どこへ行くのか?」 池上彰著 (NHK出版新書)

“いま学ぶべき教養とは何でしょうか。古来、ヨーロッパの大学制度では人が持つ必要がある技芸 (実践的な知識・学問) の基本と見なされた自由七科 (リベラル・アーツ) として、「文法学」、「修辞学」、「論理学」、「算術」、「幾何」、「天文学」、「音楽」がありました。本書では、多数の著書を刊行しテレビでもおなじみの池上彰氏が、ヨーロッパの自由七科にならって、現代人 (現代日本人) が学ぶべき教養として「宗教」、「宇宙」、「人類の旅路」、「人間と病気」、「経済学」、「歴史」、「日本と日本人」の7つを選んで講義形式でわかりやすく解説し、「自分がどういう存在なのか」を考えようとするヒントを解いています。皆さんはこの先、医師という医療人になっていくわけですが、その前に教養人であってほしいと思います。本書を手掛かりに教養について考えていきたいと思います。(目次: 序章 私たちはどこから来て、どこへ行くのか? ―現代の教養七科目 / 第一章 宗教―唯一絶対の神はどこから生まれたのか? / 第二章 宇宙―ヒッグス粒子が解き明かす私たちの起源 / 第三章 人類の旅路―私たちは突然変異から生まれた / 第四章 人間と病気―世界を震撼させたウイルスの正体 / 第五章 経済学―歴史を変えた四つの理論とは? / 第六章 歴史―過去はたえず書き換えられる / 第七章 日本と日本人―いつ、どのようにして生まれたのか?) ”

4) 前 野 芳 正 (ウイルス・寄生虫学) 前半7コマ

「世界で一番いのちの短い国 – シエラレオネの国境なき医師団」山本 敏晴著  
(小学館文庫)

“平均寿命34歳 (2002年)、日本のわずか半分以下。世界で最も医療事情が悪い国、西アフリカのシエラレオネ共和国。十年以上も内戦が続き、病院の建物は壊れ、医師や看護師も国外に逃げ出している。この医療システムが崩壊した、世界で一番いのちの短い国に派遣された医師が、寝食を忘れ、力を尽くして、目の前のいのちを救っていく……。本書は、国境なき医師団としてシエラレオネ共和国に派遣された、山本敏晴さんの半年間の活動の記録である。紛争地帯のど真ん中で、いのちを救うために尽力する日本の医師の姿が、勇気と感動を与えてくれる… はずなんだけど、性欲の処理の仕方のような下世話な話もあってちょっぴり笑えたりもする。肩肘張らずにさらさらと読めるところが本書のいいところなのだ。”

太 田 充 彦 (公衆衛生学) 後半7コマ

「かもめのジョナサン 【完成版】」リチャード・バック著 五木寛之創訳 (新潮文庫)

“この物語の主人公・ジョナサンは、ただ生きるため、食物を捕って巣に戻るためだけに飛ぶことを否定します。飛行技術を究極まで追求することは生きる意味を見つけるために必要と考え、他のカモメたちからの非難・放逐を受けた後もひたすらに飛行技術を追求します。果たして彼は誰も到達しえなかった飛行技術を獲得し、生きる意味を理解することになります。やがて彼に共感するカモメたちも現れます。しかしジョナサン亡き後、彼らの多くはジョナサンを神格化します。彼のように実際に飛ぶことなく、ただ彼を神話化していくのみとなります。”

## 5) 角 川 裕 造 (生物学)

前半7コマ

「単純な脳、複雑な「私」」池谷裕二著（講談社ブルーバックス）

“人工知能 (AI) が人間の能力を超える技術的特異点 (シンギュラリティ) が2045年に訪れるといわれています。残念ながらその頃私はもうこの世にいませんが、その時に是非君たちに確認してもらいたいことがあります。AIは「意識」を持つようになるのか？ その正否はわかりませんが、脳のすごいところは、日常のわれわれの行動のほとんどが無意識のレベルで決定されているところではないかと思います。プロの棋士は次に指す大事な一手を直感で決めることが多いといわれますが、直感はたゆまないトレーニングの成果として生み出された無意識に行われる脳の決定です。ところが鍛えられていない脳は、しばしば大事な決定を脳神経細胞の「ゆらぎ」の結果として出力してしまいます。そんな脳のクセを知っていれば、難しい対人関係も上手にこなすことができます。顔の半分しかお化粧していなくても相手に気づかれない方法だとか、狙った相手をまんまと恋におとし入れる方法、などのノウハウがこの本にはぎっしり詰まっています。ただし、この「ゆらぎ」がくせ者で、脳の働きを詳しく調べた結果、われわれが「自由意志」と思い込んでいたものが実はこの「ゆらぎ」によって決められていることがわかってきました。われわれには「自由意志」によって行動を起こす自由はなく、われわれが行使できるのは、「ゆらぎ」によって決められた行動を起こさない、という「自由否定」だけだったのです。”

## 鈴木 茂 孝 (コンピューター情報処理学) 後半7コマ

「迷惑な進化 - 病気の遺伝子はどこから来たのか」Sharon Moalem and Jonathan Prince著 矢野真知子訳 (NHK出版)

“病気に至る原因は、先天的なものから、後天的なものまで様々ですが、この本は、後者について、「なぜ人間はヘモクロマトーシスや糖尿病になる遺伝子を持っているのか」、「水生類人猿説」、「ウイルスと人間の関係」、「癌の発生」、「人と病原体のせめぎ合い」、「寿命」などを題材として語られています。読んでいるうちに、物語に引き込まれながらもツッコミどころも多々見つかると思いますが、そこがまた面白いのです。医学的な基礎知識が無くても、とても気楽に面白く読み進めることができます。きっと皆さんも負担なく読んでいただけたらと思います。

皆さんの体にも引き継がれている遺伝子の何億年にも渡る道程や記憶に思いを馳せてみましょう。皆さんとディスカッションし、調べ、学内のeラーニングサイトを使って知識の共有をしていきます。”

6) 金子 葉子 (生理学 I)

前半 7 コマ

「羅生門 蜘蛛の糸 杜子春 外十八篇」芥川龍之介著 (文春文庫)

“芥川龍之介は、小説家の登竜門である「芥川賞」にその名を留める不世出の天才作家です。テキストのタイトルに列挙されている小説は国語の教科書に載っていたこともあり、読んだことのある人が多いのではないのでしょうか。35歳で自ら命を絶つまでに多くの傑作短編小説を残しました。

芥川龍之介の作品は、初期と晩年で作風がかなり違うと言われています。テキストには初期から晩年にかけての21編の小説が収録されています。芥川作品の醍醐味を味わえることは間違いありません。読書ゼミナールを通じて芥川龍之介の人生、自然、宗教、道徳、愛…に対する思いを堪能しましょう。”

佐藤 芳 (倫理学)

後半 7 コマ

「共生保障<支え合い>の戦略」宮本太郎著 (岩波新書)

“現代の社会は、少子化、超高齢化、晩婚化、貧困など社会の分断が進みつつあります。「支える側」「支えられる側」という二分法が成り立っていた時代が崩壊して、新しい共生の仕方が求められています。考えてみましょう。

第一章 制度はなぜ対応できないのか、第二章 共生保障とは何か、第三章 共生の場と支援の制度、第四章 社会保障改革のゆくえ、第五章 共生という価値と政治”

7) 林 孝典 (生化学)

前半 7 コマ

「休み時間の薬物治療学」柳澤輝行著 (講談社)

“薬ってそうやって聞いているの？受容体って？痛み止めなのに胃が痛くなる事があるのはなんで？？せっかく医学生になったのに、お薬の事ってなんにも知らないって人は多いんじゃないかと思います。お薬の謎を順に学んでいくためには生物学に化学、生化学、解剖学…って多くの事を学ぶ必要があるんですが、本書にはこれらを学ぶ「キッカケ」がたくさん詰まっています。

ゼミでは沢山ある薬のギモンの中から、自分の興味がある所を選んで調べ、みんなの前で発表してもらおうと思ってます。藤田の医学生として、何かに興味をもって自ら勉強する「自学自習」の精神はもちろんの事です、医師として重要な能力である「人に説明する力」を養うという点に重きを置いて授業を進めていきたいと思っています。”

近 藤 一 直 (薬理学)

後半7コマ

「グローバリズム以降」エマニュエル・トッド著 (朝日新書)

“商業的には「トランプ勝利」や「イギリスのEU離脱」を予言した学者として名を知られた著者だが、もっと冷静な目で見ても個性が強く面白い。人類学者だからなのか、フランス人だからなのか、独自の視点で世界を眺めている。インタビューを担当した記者はあとがきで「優れた知識人が歴史的な事件を考察し新しい考えを生み出しつある」「自分が疑ってもいなかった価値観が根底から覆される経験もしばしば」と評している。”

8) 原 田 信 広 (生化学)

前半7コマ

「爆発的進化論 - 1%の奇跡がヒトを作った」更科功著 (新潮新書)

“今回、読書ゼミナールで読む本として選んだ「爆発的進化論」は決して専門的な系統進化論の本ではなく、初心者にも興味を引き理解してもらえるように平易な言葉で想像逞しく語っている。地球誕生後、40億年の歴史の中で先カンブリア爆発期は、生物を構成する器官に大幅な変革を促し、生命の大進化が起こったと考えられる。進化論は確固たる証拠に乏しいので基本的には生物の持つ痕跡器官・情報や化石などを基に合理的推察を交えて記載される。本書は全部で10章から成っており、「膜」「口」「骨」「眼」「肺」「脚」「羽」「脳」「性」「命」の身体各パーツについて、著者のユニークで興味深い洞察に基づいた推論を楽しんで頂けるとと思います。最近の進化論において重要視される分子遺伝学的解析に依らず、形態・生理・行動などに基づいた進化的推論に「目から鱗」と妙に納得されられることも多いと思います。”

角 川 裕 造 (生物学)

後半7コマ

「音に色が見える世界「共感覚」とは何か」 岩崎純一著 (PHP電子文庫)

“「音に色が見える」って、そんなバカな。この本のタイトルを見て多くの皆さんがそう感じたと思います。でも「黄色い声を出して応援する」なんて表現をよく使いませか? 「1万ヘルツの応援合戦」と聞くより、「黄色い声」の方がよっぽどイメージが沸いてきませんか? この例えがわれわれの心にしっくりくるのは、子どもの頃に聞いていた音には色がついていたせいかもしれません。大人になってもその感覚を失わずに保っている人達があります。これを「共感覚」といいます。音に色が見えるだけでなく、文字にも色が見えたり、名前に味を感じたり、さまざまな感覚が混じり合うことがあります。電話帳に記された電話番号を一冊まるごと覚えることができたりする能力の持ち主には共感覚者が多いようです。著者の岩崎さんは自身がさまざまな共感覚の持ち主で、自分自身の経験をもとにさまざまな共感覚の特性を分析して見せます。彼の分析はそこにとどまらず、いにしえの日本人が共感覚をどのようにとらえ表現してきたか、万葉集などを中心にその歴史をたどることによって、色の見え方は分化や言葉にも深く根ざしているものだということを明らかにしていきます。この本は紙媒体のものはすでに絶版になっており電子書籍のみの利用となります。そのことを承知した上で選択していただけると幸いです。”

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	4	17	月	1/2	前野芳正 ほか	○医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ○テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ○討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	1301- 1308 ほか
2	4	24	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
3	5	1	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
4	5	8	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
5	5	15	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
6	5	22	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
7	5	29	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
8	6	5	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
9	6	12	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
10	6	19	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
11	6	26	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
12	7	3	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
13	7	10	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか
14	7	24	月	1/2	前野芳正 ほか	〃	1301- 1308 ほか

## プロフェッショナリズムⅠ

### 〈A-1, 3〉

#### 〔教育目標〕

医師のプロフェッショナルとして必要な医療コミュニケーションには、医師－患者・家族間、医師－医師間やチーム医療としての多職種間のコミュニケーションがあります。そのような多様なコミュニケーションを良好に築くためには、まず社会の中で生きる人としての自己を確立する必要があります。そして、患者・家族、同僚、他職種とのコミュニケーションを確立する必要があります。この授業では様々なテーマの「体験学習」、「実習」や「講義」を通して医療コミュニケーションの基礎を習得します。

#### 〔学習目標〕

- (1)協調性、社会性を有して行動できる。
- (2)お互いの立場を尊重して、相手から信頼される関係を築ける。
- (3)同僚と適切なコミュニケーションを実践できる。
- (4)異なる年齢層・職種の人とのコミュニケーションスキルを実践できる。

#### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

#### 〔授業の種類〕

講義、参加型の体験学習、グループ討論と発表、実習

#### 〔準備学習（予習・復習等）〕

準備学習の内容 学習テーマについて各自充分学習すること。（70分程度）

#### 〔 評 価 〕

- (1)記述試験（卒業コンピテンシー III-2,3）パフォーマンスレベルD
- (2)「振り返りシート」（卒業コンピテンシー I-1,4,5,6 II-1）、パフォーマンスレベルC  
授業や実習を振り返り感じたこと気づいたことを記載する「振り返りシート」の提出状況を評価する。
- (3)学修態度；（卒業コンピテンシー I-1,4,6 II-1）、パフォーマンスレベルC  
医学生として常識ある受講態度であったか、実習や体験学習に積極的に参加したかを評価する。

#### 〔フィードバック〕

レポートはコメントを記載しフィードバックする。内容が基準に満たない物は再提出とする。成績は記述試験、提出物、授業態度を総合して判定し掲示物にてフィードバックする。

【コーディネーター】 石原 慎 教授（地域医療学）

【担当教員・オフィスアワー】

担当者名	曜 日	時 間	場 所
石原 慎 教授 （地域医療学）	月・水・金・土	12：00～13：00	生涯教育研修センター 1号館 7階706
佐藤 芳 教授 （倫理学）	月・火・金	17：00～19：00	生涯教育研修センター 1号館 8階806
飯塚 成志 准教授 （臨床医学総論）	月～木	7：00～8：30	生涯教育研修センター 1号館 9階907
若月 徹 准教授 （健康科学）	随時（メールでの対応可能）		生涯教育研修センター 1号館 8階807

【教科書】 なし

【推薦参考書】 「そばにいる人から喜ばれる喜び」 高塚人志著（今井書店）  
「いのちを慈しむヒューマン・コミュニケーション授業」  
高塚人志著（大修館）  
「自分が好きになっていく」 高塚人志著（アリス館）  
「人間関係トレーニング（第2版）」  
津村俊充、山口真人編（ナカニシヤ出版）

【使用する部屋】 生涯教育研修センター 1号館 6階602講義室、10階1001講義室、  
13階SGL室

【実習場所】 藤田保健衛生大学第一教育病院（1001講義室集合）

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	2	月	1/2	若月 徹 石原 慎	ガイダンス、コミュニケーションとは、体験学習とは (体験学習)一方通行のコミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●コミュニケーションの意義を説明できる。	602
2	10	16	月	1/2	石原 慎	臨床現場を体験する(Aグループ) ●医師の仕事を経験する。 ●医療者としての身だしなみができる。	1001 第一教育病院
3	10	23	月	1/2	石原 慎	臨床現場を体験する(Bグループ) ●医師の仕事を経験する。 ●医療者としての身だしなみができる。	1001 第一教育病院
4	10	30	月	1/2	若月 徹 石原 慎	言葉によるコミュニケーション(体験学習)電話によるコミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●言葉による情報伝達について説明できる	602
5	11	6	月	1/2	若月 徹 石原 慎	自己概念(体験学習)私は誰? ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●自己概念について説明できる	602
6	11	13	月	1/2	若月 徹 石原 慎	傾聴(体験学習)きく力を磨く ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●効果的な傾聴について説明できる	602
7	11	20	月	1/2	若月 徹 石原 慎	フードバック(体験学習)プレゼントシート ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ●フィードバックについて説明できる	602

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
8	11	22	水	2	飯塚成志 佐藤 労 石原 慎	医療コミュニケーションについて考える。①KJ法 ●医療現場でのコミュニケーションについて考 えを述べることができる。	602
9	11	22	水	3	飯塚成志 佐藤 労 石原 慎	医療コミュニケーションについて考える。②KJ法 ●医療現場でのコミュニケーションについて考 えを述べることができる。	
10	11	22	水	4	飯塚成志 佐藤 労 石原 慎	不老会会員の方々との面接実習 ●様々な年齢・職種の人たちと良好なコミュニ ケーションがとれる	601 602 603 1301- 1316
11	11	22	水	5	松井俊和 飯塚成志 佐藤 労 石原 慎	不老会会員の方々との面接実習 ●様々な年齢・職種の人たちと良好なコミュニ ケーションがとれる	
12	11	22	水	6	飯塚成志 佐藤 労 石原 慎	不老会会員の方々との面接実習 ●様々な年齢・職種の人たちと良好なコミュニ ケーションがとれる	
13	12	13	水	2	飯塚成志 佐藤 労 石原 慎	不老会会員の方々との面接のまとめ・全体発表 ●様々な年齢・職種の人たちと良好なコミュニ ケーションがとれる ○適切な自己評価でき、改善のための具体的 方策を立てることができる ○実習の内容を決められた様式にしたがって 文書と口頭で発表できる。	1001

# コンピュータ情報処理学

〈A-2, 4〉 〈B〉 〈F-2, 3〉

## [教育目標]

Evidence Based Medicine (EBM) の考え方に基づいた医療が定着し、より良い診療・研究を行う上で、情報処理能力が必須となっています。今後の医療を担う皆さんには従来の医学・医療の知識に加え、統計学・疫学・EBMに関する理解とコンピュータでの情報収集、情報処理、情報発信能力が求められています。

1 学年のコンピュータ情報処理学では、情報機器の機能と仕組み、ネットワークの基礎知識、情報を扱う上での倫理など情報処理に関する基礎的な能力および論理的な思考力の修得を目指しています。加えて、医療人として必須の医療情報システムの概略について知識と理解を深めていただきます。医療情報の特質を把握し、オーダリングシステム、PACS、電子カルテ、IHE、情報セキュリティなどの医療情報システムについての基礎的な知識を身につけていただきます。

本授業は2 学年における医学統計学、疫学、および3 学年での予防医学、公衆衛生学等と関連を持たせた系統的授業のひとつであり、皆さんにはこの全体的構成を念頭に置いて受講していただきたいと思います。

## [学習目標]

- (1)医学・医療におけるコンピュータ利用の意義を説明できる。
- (2)コンピュータの基本構成とインターネットの基本的事項を理解し、情報機器を活用した情報の収集、整理、活用、伝達に習熟する。
- (3)プログラミングを通じ、論理的な思考ができる。
- (4)思考を整理・図案化し、情報発信ができる。
- (5)コンピュータやインターネットに関わる法律・犯罪・マナー等について理解し、法律やマナーに従った利用ができる。
- (6)マルウェア感染、情報漏洩対策など、インシデント事例を知り、情報セキュリティの重用性を理解し、実践できる。
- (7)医療情報の電子化について、システムの概略を理解した上で、医療機関、患者双方における長短所を説明できる。

## [身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

## [授業の種類]

講義と演習

### [準備学習（予習・復習等）]

授業は、TBL（Team Based Learning :チーム基盤型学修）形式で行います。TBLでは、能動的な学修が必要で、予習は必須となります。予習と復習を支援するために、全ての詳細な授業計画、学修資料はeラーニング上で閲覧できるようにしています。また、毎回の授業の最後には次回の授業の要約を解説しますのでeラーニング上の資料を活用し予習して下さい。最長30分程を目安としています。

### [ 評 価 ]

評価点を定めるに当たり、定期試験（または再試験）の成績、ポートフォリオの内容、予習確認テスト（iRAT,tRAT）、および応用課題、学生間相互評価（ピア評価）、受講態度等を総合的に判断して最終評価点を決定します。

(1)知識；(卒業コンピテンシー IV-6)、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；(卒業コンピテンシー V-1, 2, 3)、パフォーマンス・レベルD/E

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポート、リフレクション・シートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；(卒業コンピテンシー I-1, 6)、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

### [フィードバック]

毎回の授業ではTBLに則り、予習確認試験を実施しますが、その解説も授業後にeラーニング上で閲覧できるようにしています。復習に活用してください。また、授業の終了時には、授業を振り返り、身につけたスキルを自己確認する「リフレクション・シート」を提出していただきます。リフレクション・シートにより修得度合を測り、コメントを添えて返却します。併せてeポートフォリオも返却しますので、他の資料と共に自身の学修成果物として役立ててください。

[コーディネーター] 鈴木 茂孝 教授（コンピュータ情報処理学）

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
鈴木 茂孝 教授	月～金	12：00～18：00	生涯教育研修センター1号館12階1203
堀場 文彰 兼任講師		講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館12階IT学習室

**[教科書]**

ハンドアウトをiPadの資料配信システム上に配布します。

eラーニング、eポートフォリオシステムを活用します。全授業の詳細な授業予定、資料、演習データの配布、予習復習ミニテスト（iRAT,tRAT）、応用課題、ディスカッションなどの学習活動に活用します。

**[推薦参考書]**

「よくわかる実習『情報』」小泉力一、定平誠（技術評論社）

**[使用教室等]**

IT学習室（生涯教育研修センター1号館12階）を利用して講義、共通演習を実施します。  
施設利用の重複のある際には生涯教育研修センター1号館10階1001講義室にて実施します。

**[機器等について]**

演習および授業内容を保存するためにUSBメモリーを用意してください。

iPadも活用します。持参してください。

注：IT実習室と情報検索室のコンピュータは、セキュリティ確保のために、利用（起動）の度に初期化される仕組みになっています。そのため、個人が作成したデータや環境設定をコンピュータ内に残しておくことはできません。

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	4	12	水	5	鈴木・堀場	情報処理学ガイダンス ○ハードウェアの構成を説明できる。 ○ソフトウェアの役割について説明し、操作できる。 ●eラーニングシステムの利用ができる。	IT学習室
2	4	12	水	6	鈴木・堀場	●eポートフォリオシステムの利用ができる。 ●VPN接続ができる。 ●TBL方式の学修方法を説明できる。	IT学習室
3	4	19	水	5	鈴木・堀場	情報の特性 ○データファイルの作成、複写、移動ができる。 ○キーボードとマウスの基本操作ができる。情報の本質、量、単位について説明できる。 ●情報の種類と特性について説明できる。 ●情報量の単位を理解し、計算ができる。	IT学習室
4	4	19	水	6	鈴木・堀場	●2進数を理解し、進数変換ができる。 ●A/D変換について説明できる。 ●アナログとデジタルの特性を説明できる。 ●デジタル化に際しての標本化頻度、量子化、誤差、標本化の定理について説明できる。	IT学習室
5	4	26	水	5	鈴木・堀場	文書作成の基礎 ○ワープロソフトを使い、文書ファイルの作成や保存ができる。 ●ページ書式の設定ができる。	IT学習室
6	4	26	水	6	鈴木・堀場	●文字修飾ができる。 ●表、図が挿入でき、編集ができる。 ●Cloudサービスが利用できる。。	IT学習室
7	5	10	水	5	鈴木・堀場	プレゼンテーション技能 ●データを加工して、必要な情報を抽出できる。	IT学習室
8	5	10	水	6	鈴木・堀場	●得られた結果を利用して効果的なプレゼンテーションができる。	IT学習室

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
9	5	17	水	5	鈴木・堀場	○インターネットシステムの概要、問題点、危険性、使用上のマナーを知り、実践できる。 ○アカウントとパスワードの重要性を説明できる。	IT学習室
10	5	17	水	6	鈴木・堀場	○パスワードの管理ができる。 ○電子メールを送受信し、添付ファイルを扱うことができる。	IT学習室
11	5	24	水	5	鈴木・堀場	データ活用の基礎(1) ○表計算ソフトを使い、作表、計算式の埋め込みとグラフ化ができる。	IT学習室
12	5	24	水	6	鈴木・堀場	●基本的関数を使った処理を実行できる。 ●基本的グラフ・複合グラフを作成できる。	IT学習室
13	5	31	水	5	鈴木・堀場	データ活用(2) ○表計算ソフトを使い、作表、計算式の埋め込みとグラフ化ができる。	IT学習室
14	5	31	水	6	鈴木・堀場	●多様なグラフ・複合グラフを作成できる。 ●ピボットテーブルを利用して、データの2次活用ができる。	IT学習室
15	6	7	水	5	鈴木・堀場	データ活用(3) ○表計算ソフトを使い、作表、計算式の埋め込みとグラフ化ができる。	IT学習室
16	6	7	水	6	鈴木・堀場	●目的を持ってデータ収集が行え、結果をグラフ、図案化し、考案できる。	IT学習室
17	6	14	水	5	鈴木・堀場	論理的な思考 ●リサーチマインドに必要な論理的思考ができる。	IT学習室
18	6	14	水	6	鈴木・堀場	●コンピュータ言語(Scratch)を用いて論理的な思考を組み立てることができる。	IT学習室

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
19	6	21	水	5	鈴木・堀場	医療情報の特質とシステム ○情報管理の原則(情報開示、プライバシー保護、取り扱い倫理、セキュリティー)を説明できる。 ○医療で扱う診療諸記録の種類を説明できる。	IT学習室
20	6	21	水	6	鈴木・堀場	○診療記録の特徴と要件を列挙できる。 ●医療情報システムの歴史について概説できる。 ●医療情報の部門システムについて説明できる。 ●医療情報のコード化、規格について説明できる。	IT学習室
21	6	28	水	5	鈴木・堀場	医療情報の特質とシステム ○電子化された診療情報の作成と管理を概説できる。 ○日本における社会保障制度を説明できる。 ○国民医療費の収支と将来予測を概説できる。	IT学習室
22	6	28	水	6	鈴木・堀場	●電子カルテの基本を理解し長短所を説明できる。 ●医療情報の種類と特性について説明できる。 ●セキュリティー管理について説明できる。 ●医療制度の概略について説明できる。 ●診療情報の電子化と管理について説明できる。	IT学習室

## 生命倫理学

### 〈A-1, 3, 4〉

#### 〔教育目標〕

倫理学とは「人倫の理法」の省略形であり、人倫とは「人のみち」の意味である。ギリシャ語ではエトス（慣習）の学であり、生活の規則を対象とする学問である。そして生命倫理学は、人間の生命に関する慣習を扱う。ただし、現在ではこの生命に関する価値観は、医療の高度化にともない再考を迫られている。それゆえ現在の倫理観だけでなく、将来の倫理観を考察するのも、生命倫理学の目的でもある。

授業では、生命に関する倫理観を、さまざまな角度から考察する。そして、医療に携わる人間が持つべき基本的な思考方法を身につけてもらう。そのために、この授業では、たんに講義を聴くだけでなく、自ら考える姿勢を育てるために、グループワークを取り入れている。

授業は、大きく3つのテーマに分けられる。生殖補助医療の倫理学、人工妊娠中絶の倫理学、移植医療の倫理学である。各テーマは、講義・視覚教材・討論発表を基本ユニットとする。討論発表では、コアケースを用意するので、それをもとにグループでケースを想像し発展させ、発表してもらう。コアケースを発展させるために、調べて、理由づけを深めてもらう。

また、移植医療のテーマを看護専門学校の学生との合同授業とする予定である。その機会に、異なった視点からの意見に耳を傾ける傾聴的態度を養うこと、また、将来、同僚となる看護師とのチーム医療の原型を体験することを目的としている。また、臨床で働くコメディカル（看護師、移植コーディネーター、臨床研究センター）から話を聞く場も設けているので、より専門的な話題を聴くことが出来る。2学年から動物実験を行うことが少なくないので動物実験にともなう動物の倫理学と、医学研究の倫理学も講義する。

#### 〔学習目標〕

倫理の基本は、「相手の立場に立つこと」である。医療者は、医療者として患者に接するだけではなく、患者の立場に立って、患者と医療者との関係を「想像して」することが重要である。さらに、患者の家族の立場に身をおいて、家族から患者と医療者との関係を想像してみよう。そのように医療者以外の立場から医療者を照射することによって、医療者にとって必要な倫理観が見えてくる。

医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。患者の基本的権利を熟知し、これらに関する現状の問題点を学ぶ。患者のために全力を尽くす医師に求められる医師の義務と裁量権に関する基本的態度、習慣、考え方と知識を身につけてもらう。将来、患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意をうるために、対話能力と必要な態度、考え方を身につける、などが更なる目標である。

#### 〔身につける能力〕

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

**[授業の種類]**

講義と演習

**[準備学習（予習・復習等）]**

予習は、各テーマについて十分に事前学習をしておくこと。復習は、配布資料を熟読すること。それぞれ30分程度を目安とする。

**[ 評 価 ]**

（卒業コンピテンス I-1～7、Ⅲ-1～3、V-1）、パフォーマンス・レベルD

提出物とレポート、定期試験、授業態度などで総合的に評価する。

**[フィードバック]**

提出物とレポートについては、ファイルにまとめる。評価後に返却する。定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

**[担当教員・オフィスアワー]**

担当者名	曜 日	時 間	場 所
佐藤 芳 教授	月・火・金	17:00～19:00	生涯教育研修センター1号館10階1001講義室
渡邊 美佳 兼任講師		講義終了時に対応	生涯教育研修センター1号館10階1001講義室
林 未佳子 兼任講師		講義終了時に対応	生涯教育研修センター1号館10階1001講義室
脇之園真理 兼任助手		講義終了時に対応	生涯教育研修センター1号館10階1001講義室

**[ 教 科 書 ]**      使用しない

**[使用する教室]**      生涯教育研修センター1号館10階1001講義室、9階909・910講義室、  
8階809・810講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	10	4	水	3	佐藤 労	生命倫理学とは何か ○医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ○生と死に関わる倫理的問題を列挙できる。 ○健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ○患者の基本的権利の内容を説明できる。 ○患者の自己決定権の意義を説明できる。	1001
2	10	11	水	3	佐藤 労	倫理的価値の序列(演習)	1001
3	10	18	水	2	佐藤 労	生殖医療の倫理学(講義) ○患者やその家族と信頼関係を気づくことができる。 ○患者の個人的、社会的背景などが異なってもわけへだてなく対応できる。	1001
4	10	25	水	2	佐藤 労	生殖医療の倫理学(ビデオ・討論) ○患者やその家族の持つ価値観が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。	1001
5	11	1	水	2	佐藤 労	生殖補助医療の倫理ケース作成	1001
6	11	8	水	2	佐藤 労	生殖補助医療の倫理ケース発表	1001
7	11	29	水	4	佐藤 労	移植医療の倫理学(講義) ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 ○患者が自己決定できない場合の対処法を説明できる。	603
8	11	29	水	5	佐藤 労 渡邊美佳 林 未佳子	移植医療の倫理学(ビデオ・討論) ○医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 ○医師の法的義務を列挙し、例示できる。	603
9	12	6	水	4	佐藤 労	移植医療の倫理ケース作成	809,810 909,910
10	12	6	水	5	佐藤 労	移植医療の倫理ケース発表	809,810 909,910

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
11	12	20	水	2	佐藤 労	人工妊娠中絶の倫理学(講義) ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で対応できる。 ○患者の心理的および社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	1001
12	1	10	水	2	佐藤 労	人工妊娠中絶の倫理学(ビデオ・討論) ○医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係にもとづいていることを説明できる。 ○患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。 ○カウンセリングの重要性を概説できる。	1001
13	1	17	水	2	佐藤 労	人工妊娠中絶の倫理ケース作成	1001
14	1	24	水	2	佐藤 労	人工妊娠中絶の倫理ケース発表	1001
15	1	31	水	2	佐藤 労 脇之蘭真理	動物実験の生命倫理、研究倫理、まとめ ○医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等を概説できる。 ●動物実験にともなう倫理について説明できる。 ●医学研究の倫理について説明できる。	1001

## 総合講座（病と死の人間学）

〈A-1, 2, 4〉

### 〔教育目標〕

現代日本における、さまざまな医学・医療のあり方について考える。とくに「生」「老」「病」「死」の問題を把握し、それらの視点から人間の生命のあり方を学び、より充実した生とは何かを考える。

### 〔学習目標（到達目標）〕

1. 現代の「生」「老」「病」「死」の本質について考えることができる。
2. 不可避の「死」を自覚し、「生」を充実させること、そして他者の生命の尊さに気付き、死の危機にある人や、悲嘆のプロセスにある人を援助する力を身につけることができる。

### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

### 〔授業の種類〕

講義と演習

### 〔作業形態〕

「講義」を中心として各分野で著名な特別講師をお願いしてある。視聴覚教材の活用も必要に応じて行う。講義内容についての「討論・発表会」を2回設定している。小グループに分けて討論し・発表するので、そのつもりで毎回の講義を聴き、自分の意見を作っておくこと。異なった他人の意見に耳を傾け、より深い理解と意見の形成を目指す。

「レポート」はMSWordにより毎回作成し、Moodleにファイルを提出する方法とする。発信元のメールアドレスは、大学ドメインの学生各自のアドレス<学籍番号@fujita-hu.ac.jp>を用いること。送り先のMoodleは、初回時に教える。

医療科学部臨床検査学科2年生との合同授業である。藤田学園のアセンブリ教育、チーム医療の育成を目的としている。合同の講義の場所は、医学部1号館フジタホール500であり、討論の場所は生涯教育研修センター1号館の8、9階（中教室）等である。

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

シラバスを見てテーマについて予習する。討論会に備えて復習する。それぞれ約30分を目安とする。

### 〔評価〕

レポート（MSWordによる）と、授業への出席状況・態度などを総合的に評価して評価し、成績に応じて再試験を行う。（卒業コンピテンシー I-1～7、II-1～3、III-1～3、V-1、VII-2）、パフォーマンスレベル D

[フィードバック]

提出物とレポートについては、ファイルにまとめる。評価後に返却する。  
定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

[コーディネーター] 佐藤 芳 教授（倫理学）

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
佐藤 芳 教授	月・火・金	17:00～19:00	生涯教育研修センター1号館8階806
東口 高志 教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
剣持 敬 教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
山田 茂樹 教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
若月 徹 准教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
小笠原文雄 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
内海 眞 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
永田 雅子 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
三浦 久幸 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
大谷 貴子 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
森元美代治 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
大谷 貴子 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
稲葉 一人 客員教授		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
萬屋 育子 客員講師		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500
小管もと子 客員講師		講義終了時に対応	医学部1号館 フジタホール500

[教科書] 随時資料配付

[推薦参考書] 随時指示する

[使用する教室] フジタホール500、生涯教育研修センター8階、9階、12階中教室

## 〔授業日程〕

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	11	火	5	佐藤 労	倫理学教授 「病と死の人間学」ガイダンス ○死の概念と定義や生物的な個体の死を説明できる。	フジタホール 500
2	4	18	火	5	東口高志	外科・緩和医療学教授 「末期癌患者さんの日々から学ぶこと」 ○緩和医療を概説できる。 ○自分の能力の限界を認識し、他の医療従事者に必要に応じて援助を求めることが出来る。	フジタホール 500
3	4	25	火	5	小笠原文雄	日本在宅ホスピス協会会長／小笠原内科院長 「在宅での看取り」 ○高齢者の心理・精神の変化を理解し、対応できる。 ○死に伴う家族のケアを説明できる。	フジタホール 500
4	5	2	火	5	内海 眞	愛知県地域医療支援センター長 「世界と日本のエイズ事情」 ○ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症の感染経路、自然経過、症候、診断、治療と感染対策を説明できる。	フジタホール 500
5	5	9	火	5	萬屋育子	子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）代表 「子どもを虐待から守る」 ●	フジタホール 500
6	5	16	火	5	永田雅子	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科教授 「周産期のこころのケア」 ●新生児集中治療室でのハイリスク児とその家族への心理支援を理解できる。	フジタホール 500
7	5	23	火	5	小菅もと子	傾聴ボランティア「とよあけ」代表 「認知症（老年・若年）と付き合う方法」	フジタホール 500

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
8	5	30	火	5	佐藤 芳ほか	<p>討論・発表会</p> <p>○自分に必要な課題を、重要性・必要性に応じて順位づけできる。</p> <p>○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>○課題の解決にあたって、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。</p>	809, 810, 909, 910, 1205
9	6	6	火	5	三浦久幸	<p>国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長 「地域連携とアドバンス・ケア・プランニング」</p> <p>●リビングウィル、事前指示書が説明できる。</p> <p>●地域連携とアドバンス・ケア・プランニングが説明できる。</p>	フジタホール 500
10	6	13	火	5	森元美代治	<p>国立療養所多摩全生園入所者自治会前会長 「ハンセン病を生きて」</p> <p>○患者の基本的権利の内容を説明できる。</p> <p>●ハンセン病の歴史を整理できる。</p>	フジタホール 500
11	6	20	火	5	山田茂樹	<p>薬剤部部長、臨床薬剤科教授 「薬害と治験」</p> <p>●新薬開発の必要性を理解できる。</p> <p>●人間に対する薬の実験的投与の条件を整理できる。</p>	フジタホール 500
12	6	27	火	5	大谷貴子	<p>全国骨髓バンク推進連絡協議会会長 「元白血病患者から見た医療者への期待」</p> <p>○患者による医療の評価の重要性を説明できる。</p>	フジタホール 500
13	7	4	火	5	剣持 敬	<p>臓器移植科教授 「移植医療の現状と課題」</p> <p>●移植医療の必要性と課題を説明できる。</p>	フジタホール 500
14	7	11	火	5	稲葉一人	<p>中京大学法科大学院教授 「医療訴訟と裁判外紛争解決」</p> <p>●医療訴訟の手続き、鑑定、判決、和解が理解できる。</p> <p>●訴訟外の紛争解決方法を整理できる。</p>	フジタホール 500

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
15	7	18	火	5	佐藤 労ほか	<p>討論・発表会</p> <p>○自分に必要な課題を、重要性・必要性に応じて順位づけできる。</p> <p>○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>○課題の解決にあたって、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。</p>	809, 810, 909, 910, 1205

## 英 語 〈A-3, 4〉

### 〔教育目標〕

今日、英語は、医学をはじめとするほとんどすべての学問領域において、公用語としての地位を確立するに至っています。このような現状のなかでは、英語で書かれた文献を読んでそこから求める情報を得ることは、学問や研究に携わる者にとって不可欠な能力です。そこでこの講義では、このように欠くことのできない英語文献読解の能力を養うことを目標とします。

(久米祐介)

この講義では言語、文化、芸術、などを題材にした人文科学系の英文を通して総合的な英語力を高めることを目的とします。語彙の補強や文法事項の確認を行い、英文の内容を深く理解する力、英語で表現する力を洗練することに主眼を置きます。これらの活動を通して、将来に必要な英語力の基礎を固めていきます。

(中川 聡)

The aims of this course are for students to improve their communicative ability with English, to increase their awareness of health and medical issues and to foster a lasting interest in medical English. Students will learn about health-related topics such as cancer, smoking, alcohol, stress and obesity and follow listening and speaking activities based on the content. Students will speak as much English as possible through pair and group-work activities, and by discussing the issues with their classmates and the teacher. There will also be two special video classes related to health issues talked about in the book. Testing will be done twice, a mid-term test (35%) and a final test (35%). Other grades will be determined using participation (10%) and reports (20%). (Attendance and Lateness will be considered when assessing students' grades.)

(Steeve Plante)

### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

### 〔授業の種類〕

講義と演習

[ 評 価 ]

(1)知識；(卒業コンピテンシー IV-9, V-1, 2, 3, 4)、パフォーマンス・レベル D

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)講義及び演習態度；(卒業コンピテンシー I-1)、パフォーマンス・レベル D

医学生として常識ある受講態度であったか、積極的に講義・演習に参加できたか、与えられた課題を期限内に行えたかなどを評価する。

月曜日の授業（久米、中川担当）と火曜日の授業（プラント他担当）の各々の授業で合格の評価を得ることが、本科目合格の必要十分条件です。

[準備学習（予習・復習等）]

各担当教員の指示に従うこと。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
久米 祐介 講師	月 試験前	12:30～13:20 16:10～18:00	生涯教育研修センター1号館10階1008

[学習目標（到達目標）]

医学・医療を含む様々な科学の分野の英語文献の読解ができる。

[準備学習（予習・復習等）]

予習：各講義で扱うテキストの範囲の語彙を調べ、予め読んでおく。（1時間程度）

復習：講義で読んだ箇所を再読し、自分の解釈と異なる部分などを復習する。（30分程度）

また、各Unit終了時にオンライン教材の課題を与える。（10分程度）

[ 評 価 ]

小テストないし試験の成績を基本とするが、必要に応じて授業態度・課題提出なども一部加味する。

[フィードバック]

希望者に小テストの累計点数を知らせる。希望者には試験の答案を開示し、必要に応じて解説を行う。

[教科書] 「Reading Explorer Second Edition, Level 5 (Student Book with Online Workbook Access Code, ISBN: 978-1-305-25451-0)  
(Cengage Learning)

\*必ずアクセスコード付きのテキストを購入してください。

[使用する教室] 生涯教育研修センター1号館9階910講義室

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
中川 聡 講師	火・金	12:30～13:20	生涯教育研修センター1号館7階708

## [学 習 目 標]

- (1) 英文の内容を正確に読解できる。
- (2) 科学的な文献で用いられる自然な英語で自分の考えを表現できる。

## [準備学習（予習・復習等）]

- (1) 事前に指定した範囲の英文を1時間を目安にして和訳し、それに付随するテキストの問題を30分を目安にして解いておくこと。
- (2) 事前に指定した範囲の和文を30分を目安にして英訳しておくこと。
- (3) 各章ごとに内容理解を確認する小テストを実施するので30分を目安にして定期的に復習すること。

## [ 評 価 ]

最終評価は小テスト、定期試験の成績に加えて、授業への参加、課題の提出状況などを総合的に判断して決定する。

## [フィードバック]

- 小テストの結果は授業内で伝え、必要に応じて解説を行う。
- 定期試験の結果は希望者に個別に伝え、必要に応じて解説を行う。

## [ 教 科 書 ] 「Essential Reading 4」

Amanda French著（Macmillan Language House）

## [使用する教室] 生涯教育研修センター1号館9階909講義室

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
Steeve Plante 准教授	Wed./Th.	1pm to 5pm 10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館 7 階707、 13階SGL室
Mark Bodell 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室
John Ahern 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室
Dean Fransen 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室
Laurence Hislop 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室
Robert Fontaine 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室
Simon Pearson 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室
Colin Thomson 客員講師	Tuesdays	10 minutes after classes end	生涯教育研修センター 1 号館13階SGL室

## [学習目標（到達目標）]

To develop students' communicative competence, with a focus on speaking and listening skills, to develop their understanding of a range of medical and health-related issues, and to foster their interest in medical English. Students should be able to express their opinions on these topics in fluent English by the end of the course.

## [準備学習（予習・復習等）]

Students should read the book and do homework before coming to class, making sure that any unknown vocabulary words have been identified. Reviewing the previous week's information and reviewing again after class will help students successfully complete the course.

## [ 評 価 ]

Students' grades will be decided by a mid-term (35%) and a final examination (35%). Participation will be worth (10%) and homework and reports will be worth (20%) Attendance and lateness will also be considered when assessing students' grades.

## [フィードバック]

Feedback for reports and homework will be done by individual teachers in class. Participation feedback can be checked anytime during class time by individual teachers. Feedback for both the Midterm test and the Final Test will be given by the coordinator during office hours after marking has concluded.

## [ 教 科 書 ]

「Healthtalk Third Edition Health Awareness and English Conversation」

Bert McBean著（Macmillan Language House, 2014）

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	10	月	1/2		TOEFL ITP e-learning ガイダンス	1001
1	4	17	月	1/2	久米祐介	イントロダクション・グループディスカッション	910
2	4	24	月	1/2	久米祐介	Unit 5A: Carbon Footprint	910
3	5	1	月	1/2	久米祐介	Unit 5A: Carbon Footprint	910
4	5	8	月	1/2	久米祐介	Unit 5A: Carbon Footprint	910
5	5	15	月	1/2	久米祐介	Unit 5A: Carbon Footprint	910
6	5	22	月	1/2	久米祐介	Unit 6A: Quicksilver	910
7	5	29	月	1/2	久米祐介	Unit 6A: Quicksilver	910
8	6	5	月	1/2	久米祐介	Unit 6A: Quicksilver	910
9	6	12	月	1/2	久米祐介	Unit 6A: Quicksilver	910
10	6	19	月	1/2	久米祐介	Unit 10A: Hidden Hazards	910
11	6	26	月	1/2	久米祐介	Unit 10A: Hidden Hazards	910
12	7	3	月	1/2	久米祐介	Unit 10A: Hidden Hazards	910
13	7	10	月	1/2	久米祐介	Unit 10A: Hidden Hazards	910
14	7	24	月	1/2	久米祐介	総合復習	910
15	10	2	月	1/2	久米祐介	イントロダクション・グループディスカッション	910
16	10	16	月	1/2	久米祐介	Unit 11A: The world of Süleyman the Magnificent	910
17	10	23	月	1/2	久米祐介	Unit 11A: The world of Süleyman the Magnificent	910
18	10	30	月	1/2	久米祐介	Unit 11A: The world of Süleyman the Magnificent	910
19	11	6	月	1/2	久米祐介	Unit 11A: The world of Süleyman the Magnificent	910
20	11	13	月	1/2	久米祐介	Unit 11A: The world of Süleyman the Magnificent	910
21	11	20	月	1/2	久米祐介	Unit 11A: The world of Süleyman the Magnificent	910
22	11	27	月	1/2	久米祐介	Unit 12A: From Clams to Credit Cards	910
23	12	4	月	1/2	久米祐介	Unit 12A: From Clams to Credit Cards	910
24	12	11	月	1/2	久米祐介	Unit 12A: From Clams to Credit Cards	910
25	12	18	月	1/2	久米祐介	Unit 12A: From Clams to Credit Cards	910
26	1	15	月	1/2	久米祐介	Unit 12A: From Clams to Credit Cards	910
27	1	22	月	1/2	久米祐介	Unit 12A: From Clams to Credit Cards	910
28	1	29	月	1/2	久米祐介	総合復習	910

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	10	月	1/2		TOEFL ITP e-learning ガイダンス	1001
1	4	17	月	1/2	中川 聡	イントロダクション	909
2	4	24	月	1/2	中川 聡	Chapter 1 Language (1)	909
3	5	1	月	1/2	中川 聡	Chapter 1 Language (2)	909
4	5	8	月	1/2	中川 聡	Chapter 1 Language (3)	909
5	5	15	月	1/2	中川 聡	Chapter 5 Fashion (1)	909
6	5	22	月	1/2	中川 聡	Chapter 5 Fashion (2)	909
7	5	29	月	1/2	中川 聡	Chapter 5 Fashion (3)	909
8	6	5	月	1/2	中川 聡	Chapter 7 Skills for Success (1)	909
9	6	12	月	1/2	中川 聡	Chapter 7 Skills for Success (2)	909
10	6	19	月	1/2	中川 聡	Chapter 7 Skills for Success (3)	909
11	6	26	月	1/2	中川 聡	Chapter 9 Body and Spirit (1)	909
12	7	3	月	1/2	中川 聡	Chapter 9 Body and Spirit (2)	909
13	7	10	月	1/2	中川 聡	Chapter 9 Body and Spirit (3)	909
14	7	24	月	1/2	中川 聡	総まとめ	909
15	10	2	月	1/2	中川 聡	イントロダクション	909
16	10	16	月	1/2	中川 聡	Chapter 2 Local Culture (1)	909
17	10	23	月	1/2	中川 聡	Chapter 2 Local Culture (1)	909
18	10	30	月	1/2	中川 聡	Chapter 2 Local Culture (1)	909
19	11	6	月	1/2	中川 聡	Chapter 4 Film (1)	909
20	11	13	月	1/2	中川 聡	Chapter 4 Film (2)	909
21	11	20	月	1/2	中川 聡	Chapter 4 Film (3)	909
22	11	27	月	1/2	中川 聡	Chapter 6 Controversy (1)	909
23	12	4	月	1/2	中川 聡	Chapter 6 Controversy (2)	909
24	12	11	月	1/2	中川 聡	Chapter 6 Controversy (3)	909
25	12	18	月	1/2	中川 聡	Chapter 8 The Paranormal (1)	909
26	1	15	月	1/2	中川 聡	Chapter 8 The Paranormal (2)	909
27	1	22	月	1/2	中川 聡	Chapter 8 The Paranormal (3)	909
28	1	29	月	1/2	中川 聡	総まとめ	909

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	4	11	火	1/2	全員	Introductions and Orientation	1309-1316
2	4	18	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 1 Part 1	1309-1316
3	4	25	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 1 Part 2	1309-1316
4	5	2	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 2 Part 1	1309-1316
5	5	9	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 2 Part 2	1309-1316
6	5	16	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 3 Part 1	1309-1316
7	5	23	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 3 Part 2	1309-1316
8	5	30	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 4 Part 1	1309-1316
9	6	6	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 4 Part 2	1309-1316
10	6	13	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 5 Part 1	1309-1316
11	6	20	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 5 Part 2	1309-1316
12	6	27	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 6 Part 1	1309-1316
13	7	4	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 6 Part 2	1309-1316
14	7	11	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 7 Part 1	1309-1316
15	7	18	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 7 Part 2	1309-1316
16	7	25	火	1/2	全員	Introductions and Orientation - New Groups	1309-1316
17	10	3	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 8 Part 1	1309-1316
18	10	17	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 8 Part 2	1309-1316
19	10	24	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 9	1309-1316
20	10	31	火	1/2	全員	Video Lesson 1	1309-1316
21	11	7	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 10 Part 1	1309-1316
22	11	14	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 10 Part 2	1309-1316
23	11	21	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 11 Part 1	1309-1316
24	11	28	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 11 Part 1	1309-1316
25	12	5	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 12 Part 1	1309-1316
26	12	12	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 12 Part 1	1309-1316
27	12	19	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 13 Part 1	1309-1316
28	1	9	火	1/2	全員	Health Talk Lesson 13 Part 2	1309-1316
29	1	16	火	1/2	全員	Video Lesson 2	1309-1316
30	1	23	火	1/2	全員	Extra Lesson 1 - The body	1309-1316
31	1	30	火	1/2	全員	Extra Lesson 2 - Medical Emergencies/First Aid	1309-1316

## Medical English I

〈A-3(1), A-4(2), A-4(4)〉

### 〔教育目標〕

医学では膨大な数の専門用語が使用されており、医師国家試験レベルでも数万語、さらにそれぞれの専門分野ではその数倍の専門用語があると推定されます。その用語の多くは英語がそのまま、あるいは英語の略語のみが使用されています。国際的に医学分野では今や英語が「標準語」となっていて、日本語での訳語が存在しない用語も増えています。

当然医学部専門科目の講義でも、そうした専門用語が言葉として語られ、記載されます。言葉に慣れ、自由に使いこなすことができなければ、講義についていくことすらできません。しかし多くの学生が専門用語、特に英単語や略語でつまずき、講義の理解に支障をきたしています。

こうした現状を踏まえ、本科目では医学部で専門講義を受けるためのごく基本的と考えられる用語を、講義に先立ち日本語と英語の両方で理解することを目標とします。提示する用語については正確かつスピーディーに想起し、記載することを求めます。

皆さんのなかには、英語を学ぶ上で多くの苦勞をされた方も多いと思いますが、それは英語という言葉がもつ複雑な「被植民地化」の歴史がもたらした、印欧語族の中でも特異な性質によります。その性質は、単語の語尾変化が極端に少なくなったために複雑に定義された語順のルール（つまり「文法」）、類似した意味をもちながら微妙にニュアンスの異なる複数の語彙（stop, cease, quit, discontinueなど）、などで、そういう性質を持つことになった背景を、英語の歴史を紐解きながら概説するとともに、医学、生物学用語に多用されるラテン語由来の語彙の「パーツ」の意味を考えていきます。

一方、この科目のもう一つの目的は自学自習の習慣をつけることであり、提示する用語についてはその内容を自ら調べることを想定しています。自学自習こそが医師になるものとしてふさわしい学習法であり、医師の常識です。用語の持つ概念の理解・習得についても、大学生・医学部生としてふさわしい勉強法を自ら確立してください。

### 〔学習目標（到達目標）〕

- ・ 基本的な医学専門用語の説明から、用語を日本語、英語の両方ですみやかに想起し、記載できる。
- ・ 医学・生物学用語をパーツに分解し、語彙の語源を考えることができる。
- ・ 自学自習の習慣を身につける。
- ・ 医療通訳の模擬実習により、多言語・多文化の患者とのコミュニケーションに必要なことを考える。

### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

### 〔授業の種類〕

- ・ 講義と随時試験

### [準備学習（予習・復習等）]

用語集は初回の講義で提示します。講義は最小限の方向付けのみで、原則として自ら修得することを求めます。プレテストの合格には15～20時間程度の学習が必要と考えています。勉強法を確立し、自ら学習計画を立ててください。

### [ 評 価 ]

- ・知識：用語の理解をペーパーテストで判定します。（卒業コンピテンシー IV-9）パフォーマンス・レベルD

ただし知識：医学・生物学用語をパーツに分解し、語源を考える部分については講義のみとし、試験・評価は行いません。（卒業コンピテンシー IV-9）パフォーマンス・レベルE

- ・態度：用語理解のプレテストを随時試験として行い、自学自習の習慣が身についているかどうかを判定します。（卒業コンピテンシー I-1,5）パフォーマンス・レベルC

このプレテストで指定日までに90%以上正解した場合、60点満点の本試験得点に40点を加算します。再試験も同様です。夏季休業中を含め、週に1回、合格するまで受験することが可能です。どのように取り組んだかも評価の対象です。試験形式等の詳細については初回のオリエンテーション講義で説明します。

- ・独創的探究心の基礎となる学習ですが、説明、体験にとどめ、評価は行いません。（卒業コンピテンシー V-1～4）パフォーマンス・レベルE

### [フィードバック]

プレテストについては実施後すぐにその場で採点し、不正解箇所をフィードバックするとともに学習方法、実習態度などに問題点があれば指摘を行います。本試験（再試験）結果については開示を希望する場合、オフィスアワーに申し出てください。

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
飯塚 成志 准教授	月～木	7：00～8：30	生涯教育研修センター 1号館 9階907
吉田 友昭 教授		講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室
竹迫 和美 兼任教授		講義終了後に対応	生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

※原則として事前に0562-93-2586に電話の上、予約してください。

### [ 教 科 書 ]

用語集をデジタルデータで配布します。さまざまなデジタル問題集も準備します。

**【推薦参考書】** 語源については下記の書籍を参考図書として挙げておきます。  
「英語の歴史」 寺澤 盾 著 中公新書  
「ラテン語の歴史」 小林 標 著 中公新書

**【使用する教室】** 生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室

**【その他】**

プレテストについては生涯教育研修センター 1 号館 9 階907にて実施します。

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	4	11	火	4	飯塚成志	オリエンテーション ●基礎科学の基本用語を簡潔に説明できる。	1001
2	4	18	火	4	飯塚成志	●基礎医学分野の基本用語を簡潔に説明できる。	1001
3	4	25	火	4	竹迫和美	●医療通訳の職務内容を理解し、通訳を介した他言語者とのコミュニケーションに必要な能力を説明できる。	1001
4	5	2	火	4	飯塚成志	●臨床医学分野に関する基本用語を簡潔に説明できる。	1001
5	5	9	火	4	飯塚成志	●医学全般に関する基本用語を簡潔に説明できる。	1001
6	5	16	火	4	吉田友昭	英語の歴史 ●ゲルマン語族であることを説明できる。 ●フランス系のプランタジネット朝の時代に一旦衰微したことを説明できる。 ●ローマ支配の時代にはラテン語から直接、フランス系の王朝の時代にはフランス語(ロマンス語)経由でラテン語語彙が数多く流入し、経由によって語義が異なることも多いことを説明できる。 ●ラテン語由来の言葉がかしこまった表現であることを説明できる。	1001
7	5	23	火	4	吉田友昭	接頭辞と接尾辞 ●生物系の専門用語に、ラテン語の接頭辞、接尾辞を駆使して創造されたものが多いことを説明できる。 ●主たる接頭辞の意味を説明できる ●主たる接尾辞の意味を説明できる。	1001

## ド イ ツ 語

### [教育目標]

ドイツ語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族ゲルマン語派の西ゲルマン語群に属している言語です。それゆえ英語の既習者にとっては、たいへん学びやすい言語と言え、新たにドイツ語を学ぶことで、英語への理解がより深められます。

ちなみにドイツ語は、世界のなかでの使用人口は約1億3,000万人、インターネット上では世界第8位、サイト数では世界第2位の言語なのです。またドイツは、EU（ヨーロッパ連合）加盟国の要として、今後将来にわたって世界のなかで大きな役割を演じて行きます。

このドイツ語の授業では、21世紀を生きる私たちが、つねに尊厳をもって守るべき「生命」を、古代から現代に至る時の流れのなかで、人類がどのように受容してきたかを、おもに教科書の「生命」をメインテーマにした読章等のドイツ語文を読解しながら、授業を進めて行きます。

学生諸君がドイツ語を学ぶことで、良き国際的医療人となる一助となることを願っています。

### [学習目標（到達目標）]

- (1) 標準的なドイツ語の発音が習得できる。
- (2) 初級ドイツ語の基礎文法が習得できる。
- (3) 初級ドイツ語文の読解力と表現力（会話力）が習得できる。
- (4) 「独検」（ドイツ語技能検定試験）を受験することができる。

### [授業の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

声を出して繰り返し発音練習をし、こまめに独和辞典を引く習慣をつけるようにしてください。

自宅で必ず前回の授業内容の復習（30分～60分程度）・次回の授業内容の予習（30分以上）を行って、授業に臨んでください。学習した内容で不明なところは、そのつど担当教員に質問をするようにしてください。

### [ 評 価 ]

課題・小テスト（40%）、中間試験（20%）、定期試験（40%）に学習態度等を加えて総合的に評価します。

**[フィードバック]**

課題は事前に詳細な説明をして、期日厳守で提出してもらいます。小テストは、独和辞典と自筆ノートの持参を許可して実施します。事前に重要事項についてのまとめをしてから、中間試験と定期試験に臨んでももらいます。

**[担当教員・オフィスアワー]**

担当者名	曜 日	時 間	場 所
榊原 正義 兼任教授	火～金	17：00 ～	情報教室センター棟 4 階403

※事前に電話（0562-93-9446）にて確認の上来室すること。

**[教科書]** 『新訂版・ドイツ語で学ぶ生命の探究〔新訂第3版〕』

榊原 正義・重岡 宣明著（同学社）

**[独和辞典]** 『アポロン独和辞典〔第3版〕』 根本 道也他編著（同学社）

※教科書と独和辞典は、必ず購入するようにしてください。

**[使用する教室]** 生涯教育研修センター 1 号館 9 階910講義室

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	11	火	1/2	榊原正義	ガイダンス	1001
1	4	18	火	1/2	榊原正義	オリエンテーション〔ドイツ語の系統、ドイツの概観等〕	910
2	4	25	火	1/2	榊原正義	○アルファベットの発音(練習)、文法:人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)等(練習)	910
3	5	2	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の現在人称変化(2)等(練習)、会話(練習)	910
4	5	9	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の現在人称変化(3)、命令法等(練習)、会話(練習)	910
5	5	16	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:冠詞・名詞の数と格変化(1)等(練習)、会話(練習)	910
6	5	23	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:冠詞・名詞の数と格変化(2)等(練習)、会話(練習)	910
7	5	30	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:冠詞類・名詞の数と格変化(3)等(練習)、会話(練習)	910
8	6	6	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:人称代名詞の用法等(練習)、会話(練習)	910
9	6	13	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:前置詞の格支配と用法(1)等(練習)、会話(練習)	910
10	6	20	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:前置詞の格支配と用法(2)等(練習)、形容詞の用法等(練習)、会話(練習)	910
11	6	27	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:形容詞の格変化・形容詞の名詞化等(練習)、会話(練習)	910
12	7	4	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:話法の助動詞の用法等(1)(練習)、会話(練習)	910
13	7	11	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:話法の助動詞の用法等(2)、未来時称の用法等(練習)、会話(練習)	910
14	7	18	火	1/2	榊原正義	上記内容のまとめ	910
	7	25	火	3	榊原正義	中間試験	603
15	10	3	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:話法の助動詞・使役動詞・知覚動詞の用法等(練習)、会話(練習)	910
16	10	17	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:複合動詞・非人称動詞・再帰動詞の用法等(練習)、会話(練習)	910

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
17	10	24	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の3基本形、動詞の過去人称変化等(練習)、会話(練習)	910
18	10	31	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の3基本形、完了時称の用法(1)等(練習)、会話(練習)	910
19	11	7	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の3基本形、完了時称の用法(2)等(練習)、会話(練習)	910
20	11	14	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の3基本形、能動態と受動態の用法(1)(練習)、会話(練習)	910
21	11	21	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:動詞の3基本形、能動態と受動態の用法(2)等(練習)、会話(練習)	910
22	11	28	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:接続詞の用法・主文と副文(1)等(練習)、会話(練習)	910
23	12	5	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:接続詞の用法・主文と副文(2)等(練習)、会話(練習)	910
24	12	12	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:形容詞・副詞の比較級、最上級の用法等(練習)、会話(練習)	910
25	12	19	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:定関係代名詞・不定関係代名詞の用法等(練習)、会話(練習)	910
26	1	9	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:zu不定詞、分詞の用法等(練習)、会話(練習)	910
27	1	16	火	1/2	榊原正義	○発音(練習)、文法:接続法I・II式等(練習)、会話(練習)	910
28	1	23	火	1/2	榊原正義	上記内容の総まとめ	910
	1	30	火	3	榊原正義	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、中間・定期試験はコマ数にカウントしない。

## フランス語

### [教育目標]

フランス語はこれまでの英語学習と違い、発音が比較的簡単に思える反面、文法的にはかなり難しく感じられるかもしれない。しかし週に一度ではあるが、基本的な文法を一通り理解して、繰り返し発音練習をすることで、将来、医療の現場でフランス人とのコミュニケーションを取らざるを得ないときに役に立つこともあると思う。異国で医者にかかった際に、母国語を理解してくれる医者に出会えることの心強さを相手に与えるためにも、英語以外のヨーロッパの外国語を学ぶことで、視野を広げ、さまざまな分野に生かせるような文化的多様性を育んでもらえればと思う。

### [学習目標（到達目標）]

初級文法をマスターし、仏和辞典を引きこなし、平易なフランス語を話し、理解できることを目標とする。

### [授業の種類]

講義のみ

### [準備学習（予習・復習等）]

予習としては、聞き流す程度でも良いので、付属のCDやWebでの電子版などを使い、フランス語に耳を慣らして欲しい。授業後も時間の許す限り、授業でやったところを繰り返し発音すること。1日10分程度。

### [ 評 価 ]

中間試験、定期試験の成績のほか、授業への取り組み姿勢、出席状況などを総合的に評価する。

### [フィードバック]

試験終了後に配布する解答によってフィードバックとする。

### [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
佐々木 稔 客員講師	毎週火曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館9階909講義室

### [教科書] 『エリック－エリックと京の物語：会話編』

セシル・モレル著（朝日出版社）

**[推薦参考書]** 『クラウン仏和辞典』（三省堂）  
『デイコ仏和辞典』（白水社）  
『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

**[使用する教室]** 生涯教育研修センター 1 号館 9 階909講義室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	11	火	1/2	佐々木 稔	ガイダンス	1001
1	4	18	火	1/2	佐々木 稔	発音と綴り字	909
2	4	25	火	1/2	佐々木 稔	自己紹介(1)	909
3	5	2	火	1/2	佐々木 稔	自己紹介(2)	909
4	5	9	火	1/2	佐々木 稔	挨拶(1)	909
5	5	16	火	1/2	佐々木 稔	挨拶(2)	909
6	5	23	火	1/2	佐々木 稔	動詞etreの活用	909
7	5	30	火	1/2	佐々木 稔	人称代名詞	909
8	6	6	火	1/2	佐々木 稔	動詞avoirの活用	909
9	6	13	火	1/2	佐々木 稔	第一群規則動詞の活用	909
10	6	20	火	1/2	佐々木 稔	定冠詞	909
11	6	27	火	1/2	佐々木 稔	不定冠詞	909
12	7	4	火	1/2	佐々木 稔	動詞allerの活用	909
13	7	11	火	1/2	佐々木 稔	時間に関する表現	909
14	7	18	火	1/2	佐々木 稔	まとめ(1)	909
	7	25	火	3	佐々木 稔	中間試験	603
15	10	3	火	1/2	佐々木 稔	復習	909
16	10	17	火	1/2	佐々木 稔	所有形容詞	909
17	10	24	火	1/2	佐々木 稔	動詞faireの活用	909
18	10	31	火	1/2	佐々木 稔	指示形容詞	909
19	11	7	火	1/2	佐々木 稔	近接未来	909
20	11	14	火	1/2	佐々木 稔	形容詞(1)	909
21	11	21	火	1/2	佐々木 稔	比較級と最上級	909
22	11	28	火	1/2	佐々木 稔	形容詞(2)	909
23	12	5	火	1/2	佐々木 稔	直接目的語	909
24	12	12	火	1/2	佐々木 稔	曜日・月・季節	909
25	12	19	火	1/2	佐々木 稔	代名動詞	909
26	1	9	火	1/2	佐々木 稔	間接目的語	909
27	1	16	火	1/2	佐々木 稔	複合過去	909
28	1	23	火	1/2	佐々木 稔	まとめ(2)	909
	1	30	火	3	佐々木 稔	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、中間・定期試験はコマ数にカウントしない。

# 中国語

## 〔教育目標〕

中国語の初級段階を総合的に学習し、音声・文法・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的知識の習得及び運用能力の養成を目標とする。「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく身につけ、中国語に親しむことを目指す。また、視聴覚メディア等を通じて文化・習俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を涵養する一歩とする。

## 〔学習目標〕

声調言語である中国語の学習において音声習得は最重要ポイントである。授業では十分な時間をかけて反復練習を行い、正確で美しい発音の習得を目指す。また、日本語や英語との比較を通じて中国語の語順・基本文型等をマスターし、平易な文章を読解する力、辞書を活用してやや難度の高い文章を自力で読解する力を養う。

- (1)ピンインの綴りを習得し、正確に発音できる。
- (2)中国語の基礎文法を習得し、初級レベルの表現を産出できる。
- (3)医療現場で用いられる基礎的な語彙、表現例を使ってコミュニケーションできる。

## 〔講義の種類〕

講義のみ

## 〔準備学習（予習・復習等）〕

指示に従い事前課題及び復習課題に取り組むこと。課題には单元ごとに設けられている練習問題や课文の朗読、暗誦等が含まれる。それぞれ約30分程度を目安とする。

## 〔評価〕

中間試験、定期試験の成績のほか、授業への貢献度、課題提出、出席状況などを総合的に評価する。

## 〔フィードバック〕

課題レポート等の成果物については評価後返却し、不足の多い場合は再提出を求めることがある。各種試験については評価後フィードバックを行い、疑義のある場合は対応する。

## 〔担当教員・オフィスアワー〕

担当者名	曜日	時間	場所
勝川 裕子 客員准教授	毎週火曜	講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階810講義室

## 〔教科書〕 『医療系学生のための初級中国語』 山田真一 著（白帝社）

**[推薦参考書]** 推薦参考書・辞書については別途授業で紹介する。

**[使用する教室]** 生涯教育研修センター 1 号館 8 階810講義室

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	11	火	1/2	勝川裕子	選択科目ガイダンス	1001
1	4	18	火	1/2	勝川裕子	発音とピンイン① 声調、単母音	810
2	4	25	火	1/2	勝川裕子	発音とピンイン② 複母音、子音	810
3	5	2	火	1/2	勝川裕子	発音とピンイン③ 鼻母音、声調変化	810
4	5	9	火	1/2	勝川裕子	【こんにちは】動詞述語文、形容詞述語文	810
5	5	16	火	1/2	勝川裕子	疑問を表す文末助詞“吗”、日常のあいさつ表現	810
6	5	23	火	1/2	勝川裕子	【国籍・所属について】基本語順SVO、人称代名詞	810
7	5	30	火	1/2	勝川裕子	疑問詞疑問文(1)、推量を表す文末助詞“吧”	810
8	6	6	火	1/2	勝川裕子	【所有】指示代名詞(1)、連体修飾表現	810
9	6	13	火	1/2	勝川裕子	疑問詞疑問文(2)、反復疑問文	810
10	6	20	火	1/2	勝川裕子	【家族について】ものの数え方(数詞、量詞)	810
11	6	27	火	1/2	勝川裕子	方位名詞、存在を表す表現“有”	810
12	7	4	火	1/2	勝川裕子	【場所を説明する】指示代名詞(2)、介詞表現	810
13	7	11	火	1/2	勝川裕子	所在を表す表現“在”、動作量、動作の回数	810
14	7	18	火	1/2	勝川裕子	【できる・できない】可能を表す助動詞(1)“能”“会”	810
	7	25	火	3	勝川裕子	中間試験	603
15	10	3	火	1/2	勝川裕子	中間試験のフィードバック	810
16	10	17	火	1/2	勝川裕子	必然・当然を表す助動詞“要”“应该”	810
17	10	24	火	1/2	勝川裕子	【命令・依頼をする】願望を表す助動詞“想”	810
18	10	31	火	1/2	勝川裕子	選択疑問文、連動文	810
19	11	7	火	1/2	勝川裕子	【様子を描写する】状態補語	810
20	11	14	火	1/2	勝川裕子	方向補語(単純/複合)、使役表現	810
21	11	21	火	1/2	勝川裕子	【動作の進行】結果補語	810
22	11	28	火	1/2	勝川裕子	可能補語、進行表現“在V(呢)”	810
23	12	5	火	1/2	勝川裕子	【過去の経験を述べる】二重目的語構文SVOO	810
24	12	12	火	1/2	勝川裕子	経験態“V过”、完了態“V了”	810
25	12	19	火	1/2	勝川裕子	【出現・消失を述べる】存現文	810
26	1	9	火	1/2	勝川裕子	“把”構文、持続態“V着”	810
27	1	16	火	1/2	勝川裕子	【病状について述べる】比較の表現	810
28	1	23	火	1/2	勝川裕子	可能を表す助動詞(2)“可以”、“要～了”	810
	1	30	火	3	勝川裕子	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、中間・定期試験はコマ数にカウントしない。

## ポルトガル語

### 〔教育目標〕

医療の現場において、ポルトガル語圏の外国人に対応できるような言語習得の関心が、高まっている。そのためこの授業では、ポルトガル語の基礎知識と運用能力を養成する。あわせてポルトガル語圏外国人に対する理解を深めるために、同言語圏の社会、歴史、習慣など背景知識についても学び、異文化受容の態度を育む。

授業ではペアまたはグループによる対話の実践練習を積極的に行う。すぐにでも実践の場で生かせるような会話能力を身に付けるためであり、またあらゆるタイプの受講生との共同作業を通して、人間的交流を円滑に行える力、自己理解力、他者理解力を涵養してほしいと考えるからである。

ポルトガル語学習を通して、国際的視野を広げ、異文化を背景とする人々と適切な意思疎通が行えるよう中身のあるコミュニケーション能力を身につけるのが目標である。

### 〔学習目標〕

- 1) ポルトガル語の基礎知識を習得し、参考書等を用いれば平易なポルトガル語を自力で読解できる力、ポルトガル語文を作文できる力を身につけること。
- 2) ポルトガル語の発音を習得し、すぐにでも実践の場で生かせるような平易な会話能力を身につけ、ポルトガル語話者とコミュニケーションが出来ること。
- 3) ポルトガル語話者への理解を深めるために、同言語圏の社会、歴史、習慣など背景知識について学び、異文化受容の態度を育むこと。

### 〔授業の種類〕

講義のみ

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

- 1) 関連資料（プリント）を多く配布するので、ファイルを用意して保管すること。
- 2) 指示された課題は必ず自力でやってくること。

事前課題及び復習課題あわせて、1日約10分×6日＝週1時間程度を目安とする。

### 〔評価〕

実践力をどこまで身に付けたかを判定する中間試験、定期試験の成績のほか、授業への取り組み姿勢（会話練習の態度や宿題）、課題の提出状況、出席状況などを総合的に評価する。

### 〔フィードバック〕

課題はその場でコメントをしたり、添削後に返却するが、不足の多い場合は再提出を求める。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
渡辺 有美 客員講師	毎週火曜	①講義開始前 ②1・2限間の休み ③講義終了後	生涯教育研修センター1号館8階809講義室

[教科書] 「Boa sorte! -Português para conversação  
 - ボア・ソルチ！会話で学ぶブラジル・ポルトガル語」  
 市之瀬敦、ギボ・ルシーラ、鳥越慎太郎（朝日出版社）

[推薦参考書] 「プログレッシブポルトガル語辞典」市之瀬敦他（小学館）  
 「デイリー日葡英・葡日英辞典」武田千香（三省堂編集所）

[使用する教室] 生涯教育研修センター1号館8階809講義室

## 〔授業日程〕

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
	4	11	火	1/2	渡辺有美	ガイダンス	1001
1	4	18	火	1/2	渡辺有美	オリエンテーション、アルファベットと発音	809
2	4	25	火	1/2	渡辺有美	自己紹介ができる	809
3	5	2	火	1/2	渡辺有美	動詞serと疑問文を理解する	809
4	5	9	火	1/2	渡辺有美	好きなものを伝えることができる	809
5	5	16	火	1/2	渡辺有美	動詞gostarを理解する	809
6	5	23	火	1/2	渡辺有美	家族を紹介できる	809
7	5	30	火	1/2	渡辺有美	動詞の現在形を理解する	809
8	6	6	火	1/2	渡辺有美	週末の予定を言ったり約束をすることができる	809
9	6	13	火	1/2	渡辺有美	動詞irと未来表現を理解する	809
10	6	20	火	1/2	渡辺有美	今の出来事を表現できる/天候を表現できる	809
11	6	27	火	1/2	渡辺有美	動詞estarと現在進行形を理解する	809
12	7	4	火	1/2	渡辺有美	過去の出来事や行動を伝えることができる	809
13	7	11	火	1/2	渡辺有美	完了過去を理解する	809
14	7	18	火	1/2	渡辺有美	前期の総復習	809
	7	25	火	3	渡辺有美	中間試験	603
15	10	3	火	1/2	渡辺有美	過去の習慣の表現ができる	809
16	10	17	火	1/2	渡辺有美	未完了過去を理解する	809
17	10	24	火	1/2	渡辺有美	「もし～だったら」の条件や婉曲表現ができる	809
18	10	31	火	1/2	渡辺有美	接続法未来を理解する	809
19	11	7	火	1/2	渡辺有美	命令や指示の表現ができる	809
20	11	14	火	1/2	渡辺有美	命令法を理解する	809
21	11	21	火	1/2	渡辺有美	「～が欲しい」と願望や要求を伝えることができる	809
22	11	28	火	1/2	渡辺有美	動詞quererと目的語代名詞を理解する	809
23	12	5	火	1/2	渡辺有美	「～できますか」の表現ができる/時刻の表現	809
24	12	12	火	1/2	渡辺有美	動詞poderと時刻の表現を理解する	809
25	12	19	火	1/2	渡辺有美	「～していただけますか」と言える	809
26	1	9	火	1/2	渡辺有美	過去未来を理解する	809
27	1	16	火	1/2	渡辺有美	別れの挨拶や感謝の表現ができる	809
28	1	23	火	1/2	渡辺有美	後期の総復習	809
	1	30	火	3	渡辺有美	定期試験	603

※選択科目ガイダンス、中間・定期試験はコマ数にカウントしない。

# 健康科学

〈A-3, 4〉

## 〔教育目標〕

健康科学では積極的な健康づくりの基礎となる理論や方法、運動と脳やこころの健康を学ぶことを目標とする。また、健康科学の授業を通して身体運動と健康の重要性を学生に十分に理解し実践することは、大学生活を健康で有意義に過ごすための一助となるだけでなく、卒業後の医師としての人生を豊かにし、健康で活力ある家庭や社会を築く上でも欠かすことのできない重要事項であると考え。また、身体トレーニング原理や原則を理解し、正しいトレーニング方法を学ぶ機会になるだろう。

一方、超高齢者社会を迎え、地域の高齢者が安心して生活を送るためには、どのような健康問題があり、どのような対策が必要かを考え実践していく必要があるだろう。

この授業ではチーム基盤型学習（TBL）形式での授業を導入するため、予習による十分な準備とグループ学習への積極的参加が求められる。

## 〔学習目標（到達目標）〕

- (1) トレーニングの原則を説明できる。
- (2) 必要な課題を自ら発見できる。
- (3) 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
- (4) 課題の解決に当たって、他の学習者や教員と協力してよりよい解決法を見出すことができる。
- (5) 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
- (6) 積極的な健康づくりに生かせる生活習慣と至適運動強度を知ることができる。
- (7) チーム構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。
- (8) 自分の能力の限界を認識し、他のメンバーに必要に応じて援助を求めることができる。
- (9) チームで協力して課題を探究・解決することができる。
- (10) ライフスタイルを獲得することができる。

## 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

## 〔授業の種類〕

講義

## 〔準備学習（予習・復習等）〕

指示に従い事前学習および復習課題を学習すること。それぞれ約15分程度を目安とする。

## [ 評 価 ]

- (1)知識；(卒業コンピテンシーⅣ-1, 2、Ⅴ-1, 2, 3、Ⅶ-1, 3) パフォーマンスレベルD  
準備確認テスト（個人・グループ）、応用課題、ピアアセスメントにより総合的に評価する。
- (2)学習態度；(卒業コンピテンシーⅠ-1, 4, 5, 6、Ⅱ-1, 2) パフォーマンスレベルC  
医学生として常識ある受講態度であったか、授業に積極的に参加したか、課題の提出状況で評価する。

## [フィードバック]

小テストおよび課題はMoodleに提出する。提出課題は評価後、返却されるが不足の多い場合は再提出を求めることがある。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
若月 徹 准教授	随時（メールでの対応可能）		生涯教育研修センター 1 号館 8 階807
飯田 忠行 客員准教授	授業時間後 1 時間		生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室

## [ 教 科 書 ] 必要に応じて資料を用意する

## [推薦参考書]

健康づくり・介護予防のための体力測定評価法 [第2版]、木塚朝博著、金芳堂（丸善eBook Libraryにて閲覧可能  
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000015027>）  
 スポーツトレーニングの基礎理論、横浜市スポーツ医科学センター編、西東社  
 防災ハンドブック、藤田保健衛生大学医学部・医療科学部  
 その他、運動生理学、スポーツ医科学、健康科学、スポーツ心理学、  
 スポーツ栄養学に関する図書全般  
 健康・体力づくり事業財団ホームページ  
<http://www.health-net.or.jp/>  
 厚生労働省：e-ヘルスネットホームページ  
<http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/index.html>

## [使用する教室]

生涯教育研修センター 1 号館 6 階602講義室、10階1001講義室、  
12階IT学習室

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	4	10	月	4	若月 徹	ガイダンス、Moodleの使用方法、調査	1001
2	4	17	月	4	若月 徹	健康とは ●健康の定義について説明できる	602
3	4	24	月	4	若月 徹	平均寿命と健康寿命 ●国民の寿命について説明できる	602
4	5	1	月	4	若月 徹	運動と健康(メタボリック・ロコモティブシンドローム) ●運動による疾病の予防について説明できる	602
5	5	8	月	4	若月 徹	体力 ●体力の要素について説明できる。	602
6	5	11	木	6	飯田忠行	骨と運動 ●運動と健康について説明できる。	1001
7	5	22	月	4	若月 徹	歩行 ●歩行の運動特性について説明できる。	602
8	5	29	月	4	若月 徹	筋力トレーニングの仕組みと設定方法 ●積極的な健康づくりに生かせる至適運動強度を説明できる	602
9	6	5	月	4	若月 徹	スポーツとトレーニング ●積極的な健康づくりに生かせる至適運動強度を知ることができる。	602
10	6	12	月	4	若月 徹	スポーツ障害と予防 ●スポーツ障害の種類と予防、応急処置について理解できる	602
11	6	19	月	4	若月 徹	一次救命 ●一次救命処置の一連の流れを実施できる	602
12	6	26	月	4	若月 徹	PBL:地域の健康問題 ●地域の健康問題について説明できる	602
13	7	3	月	4	若月 徹	PBL:発表会 ●課題を整理して発表することができる	602
14	7	10	月	4	若月 徹	ピアアセスメント、ライフスキル ●自己および他者を客観的に評価できる	602・ IT学習室

※内容が変更になることがあります。ご了承ください。

## 体育実技 〈A-3, 4〉

### 〔教育目標〕

大学体育系学術団体からの提言2010によれば、大学生の体力は依然として低く、生活習慣は中高生と比べると望ましくない状態にある。昨今の調査によると大学生の朝食欠食率は高く、脂質摂取が過剰で、睡眠不足状態である。また、半数以上がストレスを強く感じており、うつも増加している。一方、身体運動はうつの予防や治療、記憶力など「脳」や「こころ」の機能に深く影響していることが明らかになってきた。

体育実技の授業を通して身体運動と健康の重要性を学生に十分に理解し実践することは、大学生活を健康で有意義に過ごすための一助となるだけでなく、卒業後の医師としての人生を豊かにし、健康で活力ある家庭や社会を築く上でも欠かすことができない。また、運動処方や健康増進に必要な基礎的知識をウォーキング実習などから体験的に学習する。

運動やスポーツを通して医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、リーダーシップやチームワークおよび信頼関係の確立に役立つ能力を身につけることができるだろう。これらの意味から、医学部における体育実技の役割は極めて重要となる。

### 運動・スポーツ種目

車椅子バスケットボール、アルティメット、卓球、バドミントン、バレーボール、ポールウォーキング

### 〔学習目標（到達目標）〕

- (1)コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
- (2)課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
- (3)チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。
- (4)運動方法や運動強度を知ることができる。
- (5)準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。

### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

### 〔授業の種類〕

実習

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

スポーツ種目の運動特性およびルール、運動や身体活動における身体の生理学、生化学、スポーツではバイオメカニクス、およびスポーツ心理学に関する簡単な事前学習（約15分程度）。事前学習については適宜指示します。授業後にmoodleにより振り返りを行います（約15分程度）。

## [ 評 価 ]

(1)レポート；(卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2)、パフォーマンスレベルC

(2)受講態度；(卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2)、パフォーマンスレベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、授業に積極的に参加したか、提出課題から判定する。

## [フィードバック]

課題は評価後、返却されるが不足の多い場合は再提出を求めることがある。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
若月 徹 准教授	随時（メールにて要確認）		生涯教育センター 1 号館 8 階807号室
宮澤 麻希 客員助教	授業終了後に対応		
飯田 忠行 客員准教授 (ウォーキング実習)	授業終了後に対応		

## [ 教 科 書 ]

参考書として

「スポーツトレーニングの基礎理論」横浜市スポーツ医科学センター編（西東社）

## [実施場所]

ガイダンスは生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室

実技はアセンブリホール、総合フジタグラウンド、多目的グラウンド

### ※注意

- ・各自、スポーツウェア、体育館専用シューズ、および屋外運動場専用シューズを必ず用意してください。
- ・各自飲み物等を準備し、体調不良の際には必ず教員に申し出てください。
- ・アセンブリホール・多目的グラウンド等の運動施設にはゴミ箱が設置されていないため、各自が持ち込んだゴミは必ず持ち帰ってください。

[ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
1	4	13	木	3	若月 徹 宮澤麻希	ガイダンス、アンケート	1001
2	4	20	木	2	若月 徹 宮澤麻希	プレ体力テスト① ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
3	4	20	木	3	若月 徹 宮澤麻希	プレ体力テスト② ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
4	4	27	木	2	若月 徹 宮澤麻希	プレ体力テスト③ ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
5	4	27	木	3	若月 徹 宮澤麻希	プレ体力テスト④ ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
6	5	11	木	2	若月 徹 宮澤麻希 飯田忠行	ウォーキング実習 ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
7	5	11	木	3	若月 徹 宮澤麻希 飯田忠行	ウォーキング実習 ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
8	5	18	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	ポールウォーキング	アセンブリホール
9	5	25	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	バスケットボール	アセンブリホール
10	6	1	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	車いす操作の練習	アセンブリホール
11	6	8	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	車いすバスケットボール①	アセンブリホール
12	6	15	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	車いすバスケットボール②	アセンブリホール
13	6	22	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	車いすバスケットボール③	アセンブリホール

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	授 業 内 容	使用教室
14	6	29	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	卓球／バドミントン	アセンブリホール
15	7	6	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	バドミントン／卓球	アセンブリホール
16	10	5	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	後期ガイダンス アルティメット	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
17	10	12	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	アルティメット①	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
18	10	19	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	アルティメット②	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
19	10	26	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	アルティメット③	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
20	11	2	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	アルティメット④	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
21	11	9	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	アルティメット⑤	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
22	11	16	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	バレーボール①	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
23	11	30	木	2/3	若月 徹 宮澤麻希	バレーボール②	アセンブリホール/ 総合フジタグラウンド
24	12	7	木	2	若月 徹 宮澤麻希	ポスト体力テスト① ●運動技能、方法や運動強度を知ることができる。	アセンブリホール
25	12	7	木	3	若月 徹 宮澤麻希	ポスト体力テスト②	アセンブリホール
26	12	14	木	2	若月 徹 宮澤麻希	ポスト体力テスト③	アセンブリホール
27	12	14	木	3	若月 徹 宮澤麻希	ポスト体力テスト④	アセンブリホール
28	12	21	木	3	若月 徹 宮澤麻希	まとめ、レポート	1001

## 生 物 学

### 〈A-4〉 〈C-1, 2〉

#### 〔教育目標〕

生命現象全般を取り扱う「生物学」は、ヒトを対象とする「医学」の基本となる学問である。生物学の講義では、生命現象を支える生体高分子の基礎とその代謝、生命体の基盤をなす細胞の構造と機能、そして細胞の有機的な集団である個体について、生命現象全体に対する階層的な理解を深める。そして生命現象がすべて、DNAに書かれた遺伝情報の発現という共通システムによって支配されていることを学ぶ。さらに、地球上の生物がこの共通システムを用いながら、どのようにして今日のような多様性を生み出してきたのか、生物の「しなやかさ」と「したたかさ」について理解する。また、2学期には「生物学実習」を実施し、問題の設定とその探究方法を学ぶことで、医療現場で必要とされる問題解決能力を身につける。

#### 〔学習目標〕

高校で生物学を履修してこなかった学生を対象に「入門コース」、履修してきた学生を対象に「標準コース」を設け、それぞれ異なった講義を行う。「入門コース」は「標準コース」より多くの講義時間数を充てることで、講義終了時には「標準コース」の学生と遜色のない学力が身についていることを目指す。「生物学」を暗記物と捉えることなく、学んだことを有機的に関連づけ、生物学の全体像を把握することによって、今後学んでいく「基礎医学」や「臨床医学」の礎を固めることを目標とする。具体的には、以下に掲げる項目を中心に学習を進める。

- ・ 生体構成成分の構造と働きを理解する。
- ・ 細胞の構造と働きを理解する。
- ・ エネルギー獲得の反応を例にして生体で起こる代謝を理解する。
- ・ 遺伝子からタンパク質への情報の流れに基づいて生命現象を理解する。

#### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

#### 〔授業の種類〕

講義と実習

#### 〔準備学習（予習・復習等）〕

生物学履修に必要な専門用語を学内のネットワーク（Moodle）にアップロードしておくので、意味、概念を自習して講義に臨むこと。なお、この用語集は入門コースの定期試験の出題範囲でもある。

生物学標準コースでは各講義プリント末尾の課題を宿題として提出する。次回の講義までに30分程度の時間をかけて、課題を検討すること。

## [ 評 価 ]

(1)知識；(卒業コンピテンシー IV-1, 2、V-1)、パフォーマンス・レベルD

中間試験の成績を主な評価の方法とし、講義・実習にわたる統合試験を定期試験として課し、生物学の総合評価を行う。

(2)実習；(卒業コンピテンシー IV-1、V-1, 3)、パフォーマンス・レベルC

生物学実習では、毎回の小テストとレポートおよび実習終了後の小試験により評価する。

(3)実習態度；(卒業コンピテンシー I-1)、パフォーマンス・レベルC

講義および実習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

## [フィードバック]

入門コースの毎回の講義内で実施する小課題は、大まかなチェックをして返却するので、次のコマでのレビューを参考に修正してファイルし、ポートフォリオとすること。

入門コースの小テスト、標準コースの中間試験の解答用紙は返却しないので、必ず内容の確認に来ること。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
吉田 友昭 教授	火～金	9：00～18：00	生涯教育研修センター1号館7階
角川 裕造 准教授	月～金	17：00～19：00	生涯教育研修センター1号館7階
小川 久光 客員教授 (実習)	実習実施日のみ対応		
八代 耕治 准教授 (実習)	講義は化学を担当されるので該当なし		

## [ 教 科 書 ] 「生物学実験」全員に無償配布

入門コースは「医療・看護系のための生物学」田村隆明（裳華房）

「基礎からしっかり学ぶ生化学」成田央、山口雄輝

（羊土社）

標準コースは「Essential細胞生物学 原書第4版」中村桂子 他 監訳

（南江堂）

を教科書とする

## [使用する教室] 生涯教育研修センター1号館10階1001講義室、9階909講義室

## [実習場所] 医学部1号館 地下1階実習室

[ 授 業 日 程 ]

< A. 標準コース >

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	4	12	水	3	角川裕造	序論 ヒトのことを良く知るために ●認識について認識できる。	909
2	4	19	水	3	角川裕造	科学の方法 博物学から生命科学へ ○科学的思考法について概説できる。 ○科学の方法論について説明できる。	909
3	4	21	金	4	角川裕造	生物学の基本的枠組み ○生物学の基本的枠組みについて説明できる。 ○ダーウィンの進化論を説明できる。	909
4	4	26	水	3	角川裕造	生体の構成成分(1) 水 ○生体や細胞を構成している元素、分子を概説できる。 ○水の性質、水溶液、水素結合が説明できる。	909
5	4	28	金	4	角川裕造	生体の構成成分(2) 炭素化合物 ○脂質の構造と機能を説明できる。 ○糖質の構造と機能を説明できる。	909
6	5	10	水	3	角川裕造	生体の構成成分(3) タンパク質 ○生体高分子について、単量体と重合体を説明できる。 ○アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ○ペプチド結合、タンパク質の階層構造を説明できる。	909
7	5	12	金	4	角川裕造	生体の構成成分(4) 核酸 ○核酸の構成成分を説明できる。 ○DNAとRNAの違いを説明できる。	909
8	5	17	水	3	角川裕造	生物の構成単位 細胞 ○細胞小器官の構造と機能を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 ●オートファジーについて説明できる。	909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
9	5	19	金	4	角川裕造	生体膜の構造と機能 ○細胞膜の選択的透過性を説明できる。 ○浸透圧について説明できる。 ○受容体や膜を介した物質の出入りを説明できる。	909
10	5	24	水	3	角川裕造	生命活動の源 代謝(1) エネルギー生産 ○酵素の機能と調節について説明できる。 ○解糖系と発酵によるATPの産生機構を説明できる。	909
11	5	26	金	4	角川裕造	生命活動の源 代謝(2) エネルギー生産と分解 ○クエン酸回路と電子伝達系によるATP産生機構を説明できる。 ○脂質、糖質、タンパク質、核酸の代謝を概説できる。	909
12	5	31	水	3	角川裕造	多細胞生物への道(1) 細胞は動く ○細胞接着や細胞骨格を説明できる。 ○筋肉が収縮するしくみを説明できる。 ○細胞内の輸送タンパク質の働きを説明できる。	909
13	6	2	金	4	角川裕造	多細胞生物への道(2) 細胞は増える ○細胞の分裂過程を説明できる。 ○細胞周期とチェックポイントを説明できる。 ○体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できる。	909
14	6	7	水	3	角川裕造	多細胞生物への道(3) 細胞は伝える ○細胞間の情報伝達、受容体の働きを説明できる。 ○細胞内の情報伝達機構を説明できる。 ○細胞間相互作用を概説できる。	909
15	6	9	金	4	角川裕造	神経伝達のメカニズム ○活動電位の発生機構を説明できる。 ○興奮の伝導メカニズムを説明できる。 ○興奮の伝達メカニズムを説明できる。	909
	6	9	金	5	角川裕造	中間試験1	603

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
16	6	13	火	4	角川裕造	遺伝(1) 遺伝子の正体 ○遺伝子の正体がDNAであることを証明した実験を概説できる。 ○遺伝子、タンパク質、形質の関係を説明できる。 ○DNAの二重らせん構造を説明できる。	909
17	6	14	水	3	角川裕造	遺伝(2) 遺伝子の複製 ○DNAの構造から生物の特性を説明できる。 ○DNAの複製過程を説明できる。	909
18	6	16	金	4	角川裕造	遺伝(3) 減数分裂 ○減数分裂を説明できる。 ○メンデルの法則を染色体の分配として説明できる。	909
19	6	21	水	3	角川裕造	遺伝(4) メンデル遺伝 ○メンデルの法則を説明できる。 ○家系図から遺伝様式を推定できる。	909
20	6	23	金	4	角川裕造	遺伝子の発現(1) 転写 ○DNAとRNAの違いを説明できる。 ○転写の過程を説明できる。 ○原核生物と真核生物の転写過程の違いを説明できる。	909
21	6	28	水	3	角川裕造	遺伝子の発現(2) 翻訳 ○タンパク質への翻訳過程を説明できる。 ○セントラルドグマを説明できる。 ○タンパク質の翻訳後修飾、品質管理を説明できる。	909
22	6	30	金	4	角川裕造	遺伝子の発現(3) 遺伝子工学(1) ○制限酵素、遺伝子組換えが説明できる。 ○プラスミドベクターや形質転換が説明できる。 ○クローニングについて説明できる。	909
23	7	5	水	3	角川裕造	遺伝子の発現(4) 遺伝子工学(2) ○PCR法が説明でき、その応用について概説できる。 ○ヒトゲノム解読とその問題点について概説できる。	909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
24	7	7	金	4	角川裕造	遺伝子の発現(5) 原核生物遺伝子の発現調節 ○プロモーター、転写因子などによる遺伝子の発現調節のしくみを説明できる。 ○オペロン説について説明できる。	909
25	7	12	水	3	角川裕造	遺伝子の発現(6) 真核生物遺伝子の発現調節 ○真核生物での遺伝子の発現調節の機構を概説できる。	909
26	7	14	金	4	角川裕造	発生のしくみ(1) 形態形成 ○発生過程を遺伝子の発現変化として捉えることができる。 ●クローン生物を説明できる。 ●細胞分化のマスター遺伝子を説明できる。	909
27	7	19	水	3	角川裕造	発生のしくみ(2) 決定と分化 ○決定と分化の違いについて説明できる。 ○誘導について説明できる。 ○上皮細胞の細胞接着装置について説明できる。	909
28	7	21	金	4	角川裕造	発生のしくみ(3) 再生医療 ○組織幹細胞、ES細胞を説明できる。 ●クローン胚、iPS細胞が説明できる。 ●ゲノム編集について説明できる。	909
29	7	24	月	3	角川裕造	がん ○がんの発生過程を説明できる。 ○がん遺伝子、がん抑制遺伝子を説明できる。	909
30	7	26	水	3	角川裕造	生体防御 ○自然免疫と獲得免疫について説明できる。 ○リンパ球の働きについて説明できる。 ○遺伝子再編成について説明できる。	909
	7	28	金	4	角川裕造	中間試験2	603

※中間試験はコマ数にカウントしない。

<B. 入門コース>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	11	火	3	吉田友昭	<p>生命の成り立ち～分子的背景～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水の性質, 水溶液, 水素結合を説明できる</li> <li>●疎水性相互作用を説明できる</li> <li>○細胞膜の構造と機能を説明できる</li> <li>○細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる</li> </ul>	1001
2	4	12	水	2	吉田友昭	<p>生命の基本単位-細胞-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○細胞の全体像を図示できる</li> <li>○核とリボソームの構造と機能を説明できる</li> <li>○小胞体、ゴルジ体、リソソームの機能を説明できる</li> <li>○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる</li> </ul>	1001
3	4	13	木	4	吉田友昭	<p>遺伝情報からできる物質はタンパク質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遺伝子型と表現型の関係を説明できる</li> <li>○タンパク質への翻訳過程を説明できる</li> <li>○アミノ酸の種類と性質を説明できる</li> <li>○ペプチド結合, タンパク質の階層構造を説明できる</li> </ul>	1001
4	4	18	火	3	吉田友昭	<p>遺伝子の正体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遺伝子と染色体の構造を説明できる</li> <li>○ゲノムと遺伝子の関係が説明できる</li> <li>○核酸の構成成分を説明できる</li> <li>●核酸が正確にペアを作る背景を説明できる</li> <li>○セントラルドグマを説明できる</li> <li>○DNAからRNAを経て蛋白質合成に至る遺伝情報の変換過程を説明できる</li> </ul>	1001
5	4	19	水	2	吉田友昭	<p>遺伝子の発現と調節(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●DNAとRNAの化学的違いを説明できる</li> <li>●遺伝暗号が3文字からなることを説明できる</li> <li>●mRNAの構造と機能を説明できる</li> <li>○プロモーター、転写因子等による遺伝子発現の調節を説明できる</li> </ul>	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
6	4	20	木	4	吉田友昭	遺伝子の発現と調節(2) ●ヘテロクロマチンとユークロマチンを説明できる ○転写因子等による遺伝子発現の調節を説明できる ●エンハンサーを説明できる ●miRNAを説明できる	1001
7	4	25	火	3	吉田友昭	生命現象を担うかなめはタンパク質のなかでも酵素 ○酵素の機能と調節について説明できる ○生体の恒常性維持と適応を説明できる ○ネガティブフィードバック調節を説明できる ○アロステリック調節について説明できる	1001
8	4	26	水	2	吉田友昭	栄養素と代謝(1) ○ATPがエネルギー担体であることを説明できる ○解糖の経路と調節機構を説明できる	1001
9	4	27	木	4	吉田友昭	栄養素と代謝(2) ○クエン酸回路を説明できる ○電子伝達系と酸化リン酸化を説明できる	1001
10	5	2	火	3	吉田友昭	栄養素と代謝(3) ○五炭糖リン酸回路の意義を説明できる ○脂質の合成と分解を説明できる ○蛋白質の分解を説明できる ○アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる	1001
11	5	9	火	3	吉田友昭	栄養素と代謝(4) ○ビタミンの種類と機能を説明できる ○脂質の吸収を説明できる ○栄養素、エネルギーと化学物質の循環を説明できる	1001
12	5	10	水	2	吉田友昭	これまでのまとめとグループ討論	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
13	5	11	木	4	吉田友昭	少し詳細に、細胞、生命とは ●三ドメイン説を説明できる ●二名法を説明できる ○原核細胞と真核細胞の特徴と進化機構を説明できる ○ウイルスの増殖機構を説明できる ○細胞膜の構造と機能を説明できる ○細胞同士の接着と結合様式を説明できる	1001
14	5	16	火	3	吉田友昭	少し詳細にタンパク合成の機構 ○リボソームの機能 ○コドンとアンチコドン	1001
15	5	17	水	2	吉田友昭	細胞を構成する物質 ○細胞膜が脂質二重層であることを説明できる ●コレステロールの重要性を説明できる ○細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる ●細胞膜タンパクのトポロジーが説明できる ○細胞間器質と細胞接着を説明できる	1001
16	5	18	木	4	吉田友昭	細胞内外のイオン濃度と神経伝導 ○Na-K ATPaseなど膜のポンプの機能を説明できる ○膜のイオンチャネルと静止電位を説明できる ○Naチャネルによる脱分極を説明できる	1001
17	5	23	火	3	吉田友昭	神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮(1) ○軸索輸送を説明できる ○モータータンパクを説明できる ○シナプス伝達物質と活動電位を説明できる ○筋収縮の機構を説明できる	1001
18	5	24	水	2	吉田友昭	神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮(2) ●シナプス伝達物質の代謝を説明できる ●筋細胞膜での刺激伝達を説明できる	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
19	5	25	木	4	吉田友昭	ヒトの神経組織の構造と神経伝達の調節機構 ○中枢神経系の構造を概説できる ●EPSP、IPSPを説明できる ●脳内の神経伝達物質を概説できる	1001
20	5	30	火	3	吉田友昭	これまでのまとめとグループ討論	1001
21	5	31	水	2	吉田友昭	DNAの複製機構と細胞の増殖(1) ○DNAの複製過程と修復機構を説明できる ●テロメアを説明できる ●DNAポリメラーゼとRNAポリメラーゼを説明できる ○PCRの原理とその方法を説明できる	1001
22	6	1	木	4	吉田友昭	DNAの複製機構と細胞の増殖(2) ●DNA複製時のプライマーの必要性を説明できる ●岡崎フラグメントを説明できる ●DNAに求められる正確さを説明できる	1001
23	6	6	火	3	吉田友昭	細胞の増殖と細胞周期 ○細胞分裂の過程を図示し、説明できる ○細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる ○微小管の役割や機能を説明できる	1001
24	6	7	水	2	吉田友昭	細胞周期の調節と細胞骨格 ●プロテアソームによるタンパク質分解が説明できる ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる ○アクチンフィラメントによる細胞運動を説明できる ○細胞内輸送システムを説明できる	1001
25	6	8	木	4	吉田友昭	配偶子-子孫にどう遺伝情報を残すか- ○減数分裂の過程とその意義を説明できる ○遺伝的多様性を減数分裂の過程から説明できる ○Mendel(メンデル)の法則を説明できる ○減数分裂における染色体の挙動を説明できる	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
26	6	13	火	3	吉田友昭	血液型と遺伝性疾患 ●ABO血液型の遺伝を説明できる ○精子形成、卵形成の過程を概説できる ○性染色体による性の決定と伴性遺伝を説明できる ○進化の基本的な考え方を説明できる	1001
27	6	14	水	2	吉田友昭	これまでのまとめとグループ討論	1001
28	6	15	木	4	吉田友昭	細胞どうしのお話合いー情報伝達ー恒常性のために ○情報伝達の種類と機能を説明できる ○受容体による情報伝達の機序を説明できる ○細胞内シグナル伝達過程を概説できる ○生体内におけるCaイオンの多様な役割を説明できる	1001
29	6	20	火	3	吉田友昭	少し詳細に、アミノ酸とタンパク質ー側鎖の化学的性状ー ○セリンなどの水酸基のリン酸化の意義を説明できる ●リシンのアミノ基の化学修飾の意義を説明できる ○修飾アミノ酸の生理活性を概説できる ●セリンプロテアーゼ群の生理活性を概説できる ○タンパク質の高次構造を支えることを概説できる	1001
30	6	21	水	2	吉田友昭	脂質や糖由来の生理活性物質 ●コレステロールの使い回しを概説できる ●イノシトール3リン酸とCaイオンを概説できる	1001
31	6	22	木	4	吉田友昭	血糖の調節ー効率のよいエネルギー原配布とリサイクルー ○インスリンによる血糖降下機構を概説できる ●コリ回路を説明できる ○グリケーションを説明できる ○糖化ヘモグロビンの診断的意義を概説できる	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
32	6	27	火	3	吉田友昭	振り返り、エネルギー産生系－解糖系とクエン酸回路－ ●解糖系の化学的基盤を概説できる ●両者とも酸素による酸化反応がないことを説明できる ○電子伝達系の意義を説明できる	1001
33	6	28	水	2	吉田友昭	ビタミンと補酵素 ○様々な補酵素の代謝系での機能を説明できる	1001
34	6	29	木	4	吉田友昭	ホルモン ○下垂体ホルモンなどの機能を概説できる ○ネガティブフィードバック機構を説明できる	1001
35	7	4	火	3	吉田友昭	肺での呼吸機能とヘモグロビン、ミオグロビン ●胎児と成人の酸素乖離曲線の違いを説明できる ●ミオグロビンの酸素乖離曲線を説明できる	1001
36	7	5	水	2	吉田友昭	ヒトの組織 ○上皮組織を概説できる ○結合組織を概説できる ○血液の構成細胞、成分を概説できる ○血液凝固を概説できる	1001
37	7	6	木	4	吉田友昭	ヒトの器官 ○デンプンの消化吸收過程を説明できる ○血管系を概説できる ○リンパ管系を概説できる	1001
38	7	11	火	3	吉田友昭	生態と行動 ○生物圏の生物要因と被生物要因を概説し、主な生物群系を例示できる ○生態系における個体群の関係と、栄養素、エネルギーと化学物質の循環を説明できる ○ヒト個体群の成長の特殊性、生態系、多様性に対する危険性について概説できる	1001
39	7	12	水	2	吉田友昭	振り返り、細胞分裂と染色体の挙動	1001
40	7	13	木	4	吉田友昭	振り返り、神経伝達について	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
41	7	18	火	3	吉田友昭	振り返り、糖代謝、脂質代謝とATP産生	1001
42	7	19	水	2	吉田友昭	これまでのまとめとグループ討論	1001
43	7	20	木	4	吉田友昭	小テスト	1001
44	7	26	水	2	吉田友昭	生物の多様性 ○消化吸収系の系統発生を概説できる ○ガス交換と循環系の系統発生を概説できる ○神経系の系統発生を概説できる ○内分泌系の系統発生、各器官と分泌されるホルモンを概説できる ○アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる	1001
45	7	27	木	4	吉田友昭	総括と実習関連事項 ●遺伝子組み換えを説明できる ●プラスミドを説明できる	1001

## [実習]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	6	金	4	角川裕造 吉田友昭 小川久光 八代耕児	生物学実習(1) 顕微鏡操作法 ○顕微鏡を操作できる。 ○細胞を観察できる。 ○細胞のサイズを実測できる。 ○細胞の全体像を図示できる。	B1実習室
2	10	6	金	5			
3	10	6	金	6			
4	10	13	金	4	角川裕造 吉田友昭 小川久光 八代耕児	生物学実習(2) 顕微鏡操作法 ○顕微鏡を操作できる。 ○細胞を観察できる。 ○細胞のサイズを実測できる。 ○細胞の全体像を図示できる。	B1実習室
5	10	13	金	5			
6	10	13	金	6			
7	10	27	金	4	角川裕造 吉田友昭 小川久光 八代耕児	生物学実習(3) 細胞のダイナミズム(染色体・細胞分裂・筋収縮の観察) ○細胞周期を説明できる。 ○細胞分裂過程を説明できる。 ○体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できる。 ○筋収縮の機構を説明できる。	B1実習室
8	10	27	金	5			
9	10	27	金	6			
10	11	10	金	4	角川裕造 吉田友昭 小川久光 八代耕児	生物学実習(4) 生命活動とエネルギー代謝(アルコール発酵の測定) ○解糖系・発酵によるATPの産生過程を説明できる。 ○NAD <sup>+</sup> の再生法による代謝の違いを説明できる。 ○酵素の機能と代謝調節を説明できる。 ○酸素呼吸の過程を説明できる。	B1実習室
11	11	10	金	5			
12	11	10	金	6			
13	11	17	金	4	角川裕造 吉田友昭 小川久光 八代耕児	生物学実習(5) 遺伝子は形質を支配する(DNAの抽出と形質転換) ○生体構成成分を概説できる。 ○プラスミドDNA単離の原理を説明できる。 ○遺伝子操作技術の原理を説明できる。 ○形質転換の意義を説明できる。	B1実習室
14	11	17	金	5			
15	11	17	金	6			

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
16	11	24	金	4	角川裕造 吉田友昭 小川久光 八代耕児	生物学実習(6) 遺伝子を切って見る(制限酵素によるDNAの切断と電気泳動) ○DNAの構造を説明できる。 ○DNAの性質を説明できる。 ○複製, 転写, 翻訳過程を概説できる。 ○遺伝子操作に関連した酵素を説明できる。 ○電気泳動の原理を説明できる。	B1実習室
17	11	24	金	5			
18	11	24	金	6			
	12	2	土	2		実習試験	603

※実習試験はコマ数にカウントしない。

## 化 学

### 〈A-4〉, 〈C-1, 2〉, 〈P-1〉

#### [教育目標]

化学は物質の構造、性質および反応性を知るための学問である。生体を構成する成分は20余種の元素からなっており、主な元素は炭素、水素、酸素、窒素、硫黄、リンなどである。生体は約60%が水分、約4%が無機質、そして残りが有機化合物、すなわちアミノ酸、タンパク質、糖質、脂質、核酸などからなっている。また、生体中の無機質や有機化合物は水の存在下で種々の生理的機能を発揮している。したがって、生体中の無機質や有機化合物の化学的な性質・反応性に関する知識をもつことは、生体の生理的機能を解明する学問である生化学や生理学、薬物の作用を解明する学問である薬理学、生体を取り巻いている環境と生体との関わりを解明する学問である公衆衛生学、病態を解明する学問である病理学、病態を生体内化学物質の検査値で推察する臨床検査学などを理解する上で必要である。

以上のような観点から、講義では生命と化学の接点、原子の構造と性質、化学結合、溶液の化学、酸・塩基と酸化・還元、反応速度と自由エネルギー、有機化合物の構造と種類、有機化学反応、生体構成物質の化学、活性酵素と生体内で生じるガス分子の化学について学ぶ。

また、化学実習では分子模型や生体成分を使った実験を行って、生体成分の構造、性質および反応性を理解する。

#### [学習目標]

- ・原子の構造と性質を説明できる。
- ・化学結合を説明できる。
- ・水と溶液の性質を説明できる。
- ・反応速度論を説明できる。
- ・有機化合物の命名法を説明できる。
- ・基本的な有機化合物の構造と化学的性質を説明できる。
- ・基本的な有機化学反応を説明できる。
- ・主な生体構成成分の構造と化学的性質を説明できる。
- ・主な生体構成成分の生体内での化学反応を説明できる。
- ・主な生体構成成分の構造と化学的性質から、生体の機能・働きを説明できる。
- ・生体内における活性酸素の生成系・消去系と、それらの生体に対する作用を説明できる。
- ・生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

#### [身につける能力]

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

[授業の種類]

講義と実習

[準備学習（予習・復習等）]

講義前に、あらかじめ教科書の該当部分を一読しておくこと。講義で理解できなかった部分については、教科書や資料を丹念に読み、また質問するなどして解決し、理解できないままに放置しないこと。実習では、事前に実習書をよく読み、当日の実験内容をよく把握しておくこと。それぞれ約30分程度を目安とする。

[ 評 価 ]

試験：(卒業コンピテンシー IV-1、V-1、パフォーマンス・レベルD)

- ・講義内容に基づく中間試験（筆記）[6月と前期試験期間、2回]
- ・実習小テスト（多肢選択）[各実習で実施]
- ・実習内容と実習に関連した講義内容に基づく定期試験（筆記）[後期試験期間]

実習：(卒業コンピテンシー V-3、パフォーマンス・レベルC)

- ・実習内容と実習に関連した講義内容に基づく口頭発表[実習最終回]

によって総合的に行う。ただし、定期試験が不合格である場合は、総合評価は不合格となる。

[フィードバック]

中間試験と定期試験は、希望者には採点結果を解説する。実習小テストは、次回の実習時に正答を発表して解説する。実習終了時に提出する報告書は、確認後返却する。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
八代 耕児 准教授	月～金	16：00～18：00	生涯教育研修センター1号館8階803
太田 好次 客員教授		講義終了後に対応	生涯教育研修センター1号館8階803
吉田 友昭 教授(実習)		実習時のみ	医学部1号館地下1階実習室
角川 裕造 准教授(実習)		実習時のみ	医学部1号館地下1階実習室

[教科書] 「メディカル化学－医歯薬系のための基礎化学」

齋藤勝裕、太田好次、山倉文幸、八代耕児、馬場 猛 著（裳華房）

「イラストレイテッドハーパー・生化学 原書30版」

清水孝雄 監訳（丸善）（生化学でも使用）

「医学部化学実験」（無償配布）

- [推薦参考書]** 「生命の化学ーバイオサイエンスの基礎づくり」  
 安藤祥司、熊本栄一、兒玉浩明、高崎洋三 著（化学同人）  
 「バイオサイエンス化学ー生命から学ぶ化学の基礎」  
 新井孝夫、立屋敷哲、大森大二郎、丹羽治樹 著（東京化学同人）  
 「絶対わかる化学の基礎知識」齋藤勝裕 著（講談社）  
 「絶対わかる化学結合」齋藤勝裕 著（講談社）  
 「絶対わかる無機化学」齋藤勝裕 著（講談社）  
 「絶対わかる有機化学」齋藤勝裕 著（講談社）
- [使用する教室]** 生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室、 9 階909講義室
- [実習場所]** 医学部 1 号館 地下 1 階実習室

[ 授 業 日 程 ]

<講義>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	4	12	水	4	八代耕児 太田好次	生命と化学の接点 ●生命の基本単位である細胞のしくみと生体分子の関連性を説明できる。	1001
2	4	19	水	4	八代耕児 太田好次	原子の構造と性質 ○原子核の構造を概説できる。 ○原子量の定義を説明できる。 ○分子と分子量を説明できる。 ○モルとアボガドロ定数の定義とその意義を説明できる。 ○電子の軌道を説明できる。 ○電子のスピンとパウリの排他律を説明できる。 ●フントの規則を説明できる。 ○放射性同位元素を説明できる。 ○電子の配置から周期律を説明できる。 ○周期表にしたがって、原子の大きさ、電気陰性度、イオン化エネルギーを説明できる。 ●電子親和力を説明できる。	1001 909
3	4	21	金	5	八代耕児 太田好次	化学結合と混成軌道① ○イオン結合、共有結合を説明できる。 ●金属結合を説明できる。	1001 909
4	4	26	水	4	八代耕児 太田好次	化学結合と混成軌道② ○イオン結合、共有結合を説明できる。 ○炭素原子を例にとり、混成軌道を説明できる。 ○単結合、二重結合と三重結合を説明できる。	1001 909
5	4	28	金	5	八代耕児 太田好次	結合のイオン性と分子間力 ○水素結合、ファンデルワールス相互作用等の弱い結合を説明できる。 ○電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。	1001 909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
6	5	10	水	4	八代耕児 太田好次	配位結合と有機金属化合物 ●配位結合を説明できる。 ●生体における錯体を説明できる。	1001 909
7	5	12	金	5	八代耕児 太田好次	溶液の化学 ●生体内における水の必要性を説明できる。 ●水の異常な性質を説明できる。 ●電解質の生体内分布と生体内での働きを説明できる。 ●コロイド溶液の性質を説明できる。 ●パーセント濃度とモル濃度を説明できる。 ●当量と当量濃度を説明できる。 ●浸透圧濃度と容量オスモル濃度を説明できる。	1001 909
8	5	17	水	4	八代耕児 太田好次	酸・塩基と酸化・還元① ○電離平衡、緩衝作用と溶解度積を説明できる。 ○生体における溶液中の電離平衡を概説できる。 ●Henderson-Hasselbalch (ヘンダーソン・ハッセルバルヒ) の式を説明できる。	1001 909
9	5	19	金	5	八代耕児 太田好次	酸・塩基と酸化・還元② ●酸化と還元を説明できる。 ●イオン化と酸化還元の関係性を説明できる。	1001 909
10	5	24	水	4	八代耕児 太田好次	反応速度と自由エネルギー① ○一次反応、二次反応等の反応速度や速度式を説明できる。	1001 909
11	5	26	金	5	八代耕児 太田好次	反応速度と自由エネルギー② ●酵素反応の特徴を説明できる。 ○Michaelis-Menten (ミカエリス・メンテン) の式が説明できる。 ●Lineweaver-Burk (ラインウィーバー・バーク) プロットを説明できる。	1001 909

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
12	5	31	水	4	八代耕児 太田好次	有機化合物の構造と種類① ○有機化合物の命名法を説明できる。 ●炭化水素を分類し、その化学的性質を説明できる。 ○単結合、二重結合と三重結合を説明できる。	1001 909
13	6	2	金	5	八代耕児 太田好次	有機化合物の構造と種類② ○環状構造とその性質を説明できる。 ●有機化合物の芳香族性(ヒュッケル則)を説明できる。	1001 909
14	6	7	水	4	八代耕児 太田好次	有機化合物の構造と種類③ ○有機化合物の命名法を説明できる。 ○主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ●主なアルコール、フェノールおよびエーテルをIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ●主なアルコール、フェノールおよびエーテルを列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	1001 909
15	6	14	水	4	八代耕児 太田好次	有機化合物の構造と種類④ ○有機化合物の命名法を説明できる。 ○主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ●主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ●主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	1001 909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
16	6	16	金	5	八代耕児 太田好次	有機化合物の構造と種類⑤ ○有機化合物の命名法を説明できる。 ○主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ●主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ●主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	1001 909
17	6	21	水	4	八代耕児 太田好次	有機化合物の異性体① ○光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ●Fischer(フィッシャー)投影式を説明できる。 ●RS絶対配置を説明できる。	1001 909
	6	23	金	5	八代耕児 太田好次	中間試験I	603
18	6	28	水	4	八代耕児 太田好次	有機化合物の異性体② ●立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。 ●Newman(ニューマン)投影式を説明できる。	1001 909
19	6	30	金	5	八代耕児 太田好次	有機化学反応① ○電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ○置換反応、脱離反応と付加反応を説明できる。	1001 909
20	7	5	水	4	八代耕児 太田好次	有機化学反応② ○置換反応、脱離反応と付加反応を説明できる。 ●転位反応を説明できる。 ●酸化還元反応を説明できる。 ●生体でみられる有機化学反応を分類できる。	1001 909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
21	7	5	水	5	八代耕児 太田好次	<b>脂質①</b> ○単糖類、二糖類、グリセロールと脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ●脂質の種類と性質を説明できる。 ●脂肪酸を慣用名と種々の表記法で命名できる。 ●必須脂肪酸を説明できる。 ●脂質の過酸化反応を説明できる。	1001 909
22	7	7	金	5	八代耕児 太田好次	<b>脂質②</b> ○脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ○高分子の立体構造を説明できる。	1001 909
23	7	12	水	4	八代耕児 太田好次	<b>脂質③</b> ○脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ○環状構造とその性質を説明できる。 ○高分子の立体構造を説明できる。 ●生体膜中の脂質の役割を説明できる。 <b>糖質①</b> ○単糖類、二糖類、グリセロールと脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ○環状構造とその性質を説明できる。 ●Haworth(ハース)投影式を説明できる。	1001 909
24	7	12	水	5	八代耕児 太田好次	<b>糖質②</b> ○単糖類、二糖類、グリセロールと脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ○炭水化物の基本的な構造と機能を説明できる。 ○高分子の立体構造を説明できる。	1001 909
25	7	14	金	5	八代耕児 太田好次	<b>糖質③</b> ○炭水化物の基本的な構造と機能を説明できる。 ○高分子の立体構造を説明できる。 ●糖とタンパク質との非酵素的反応を説明できる。	1001 909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
26	7	19	水	4	八代耕児 太田好次	<p>アミノ酸と蛋白質①</p> <p>○アミノ酸の種類と性質を説明できる。</p> <p>●アミノ酸の両性電解質と等電点を説明できる。</p> <p>●必須アミノ酸を列挙できる。</p>	1001 909
27	7	19	水	5	八代耕児 太田好次	<p>アミノ酸と蛋白質②</p> <p>○蛋白質の基本的な構造と機能を説明できる。</p> <p>○高分子の立体構造を説明できる。</p> <p>●蛋白質の変性を説明できる。</p>	1001 909
28	7	21	金	5	八代耕児 太田好次	<p>核酸①</p> <p>○塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。</p> <p>●ヌクレオチド構造を有する生理活性物質を列挙し、それらの働きを説明できる。</p>	1001 909
29	7	26	水	4	八代耕児 太田好次	<p>核酸②</p> <p>○核酸の構造と機能を説明できる。</p> <p>○高分子の立体構造を説明できる。</p>	1001 909
30	7	28	金	5	八代耕児 太田好次	<p>活性酸素の化学</p> <p>●活性酸素を列挙し、その化学構造と性質を説明できる。</p> <p>●生体内における活性酸素の生成系と作用を概説できる。</p> <p>○フリーラジカルの発生と作用を説明できる。</p> <p>●脂質の過酸化反応を説明できる。</p> <p>●生体内における活性酸素とフリーラジカルの消去系を概説できる。</p> <p>生体内で生じるガス分子の化学</p> <p>●一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の化学構造と性質を説明できる。</p> <p>●生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と作用を概説できる。</p>	1001 909

※中間試験はコマ数にカウントしない。

<実習>

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	12	1	金	4	八代耕児 太田好次 吉田友昭 角川裕造	化学実習1 糖の化学的性質に関する実験 ○単糖類、二糖類、グリセロールと脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ●糖の特異的反応を説明できる。 ○高分子の立体構造を説明できる。 ○炭水化物の基本的な構造と機能を説明できる。	BI実習室
2	12	1	金	5			
3	12	1	金	6			
4	12	8	金	4	八代耕児 太田好次 吉田友昭 角川裕造	化学実習2 アミノ酸と蛋白質の化学的性質に関する実験 ○アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ●アミノ酸の薄層クロマトグラフィーの原理について説明できる。 ●蛋白質の特異的反応を説明できる。 ○高分子の立体構造を説明できる。 ○蛋白質の基本的な構造と機能を説明できる。 ○水素結合、ファンデルワールス相互作用などの弱い結合を説明できる。	BI実習室
5	12	8	金	5			
6	12	8	金	6			
7	12	15	金	4	八代耕児 太田好次 吉田友昭 角川裕造	化学実習3 核酸の化学的性質に関する実験 ○塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ●核酸の構成成分の化学的性質を説明できる。 ●塩基の分光学的性質を説明できる。 ○核酸の機能と構造を説明できる。	BI実習室
8	12	15	金	5			
9	12	15	金	6			

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
10	12	22	金	4	八代耕児 太田好次 吉田友昭 角川裕造	化学実習4 酵素反応に関する実験 ●酵素反応の特徴を説明できる。 ○Michaelis-Menten(ミカエリス・メンテン)の式が説明できる。 ○電離平衡、緩衝作用と溶解度積を説明できる。	BI実習室
11	12	22	金	5			
12	12	22	金	6			
13	1	5	金	4	八代耕児 太田好次 吉田友昭 角川裕造	化学実習5 分子模型を用いての有機化合物の立体構造に関する実験 ○イオン結合、共有結合を説明できる。 ●有機化合物の立体構造を説明できる。 ○光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ●RS絶対配置を説明できる。 ○環状構造とその性質を説明できる。 ●立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。	BI実習室
14	1	5	金	5			
15	1	5	金	6			
16	1	12	金	4	八代耕児 太田好次	化学実習6 まとめ ○実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。	1001
17	1	12	金	5			
18	1	12	金	6			

## 物 理 学 〈A-4〉 〈P-1〉

### 〔教育目標〕

物理学は全ての自然科学を学ぶ基礎となるものであり、教科内容は多岐にわたる。本講義では教科内容をいくつかの部分にわけ、それぞれに教育目標を設定する。前期には物理学の基礎として力学、電気、波、流体、原子核や放射線について学び、後期には表面張力と熱力学を中心に、基礎医学に関連の深い現象を学ぶ。

### 〔クラス編成〕

前期は「標準コース」と「入門コース」の2クラスに分かれ、それぞれ異なった授業が実施される。標準コースでは大学受験の際に物理を選択したことを前提として、入門コースでは選択していないことを前提として、授業が行なわれる。入門コースの学生も、1学期終了時には標準コースの学生と同程度の数理的処理能力や物理的な考え方を身につけていることが要求される。そのため入門コースではより多くの時間が割り当てられ、より多くの課題が課せられ、細かい指導がなされる。入門コースの方が簡単で楽であるということではないし、試験に通やすいということでもない。

後期においても2クラスに分けて講義を行うが、標準・入門の区別なく共通した内容の講義を実施する。

### 〔身につける能力〕

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

### 〔授業の種類〕

講義、演習

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

講義形式の授業が中心になるので、各自、授業中に取り上げた新しい内容について復習することが求められる。以前の単元が次の単元の内容に関係することもあるので、こまめに復習すること（30分程度）。また、必要に応じて入学以前に学習した内容について振り返った上で授業に出席することが望ましい。

次の単元に進む際に、教科書の該当部分を通読し予習すること（30分程度）。ただし、この予習の段階においては、理解できない部分があっても、その部分で留まらずに一通り読み通せばよい。この予習において、当該部分の内容の概略を把握することを予習の第一目的とする。そして、分からない事項や疑問点があればそれを教科書や自分のノートなどにメモしておいた上で講義を受講すること。さらに、講義を受けた後、予習段階で自分が持った疑問が解決したかどうか、疑問が解決したのならどのように解決したのか、自分が何を知らなかった為に疑問に思っていたのか等を復習し考えることを推奨する。予習・復習ともに30分程度の所要時間を目安とする。

- [ 評 価 ] 卒業コンピテンシー IV-1, 6 (パフォーマンス・レベルD)  
 卒業コンピテンシー V-1, 4 (パフォーマンス・レベルD)  
 中間試験、定期試験、レポート、受講態度などを総合的に評価する。

[フィードバック]

提出されたレポート・中間試験・期末試験の結果等に関して、各自の答案に対する採点評価に関するコメントや問題に取り上げたテーマ内容についての解説などを希望する学生に対しては、オフィスアワー等の時間に個別に対応する。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
鴨下 淳一 准教授	火・水・金	12:30～13:20、 17:00～18:30、 または講義終了後	生涯教育研修センター 1 号館 9 階903
古澤 彰浩 准教授	火・水・木・金	12:30～13:20、 17:00～18:30、 または講義終了後	生涯教育研修センター 1 号館 9 階903

- [ 教 科 書 ] 標準コース向けの教科書  
 「医歯系の物理学」 赤野松太郎・鮎川武二・藤城敏幸・村田浩著  
 (東京教学社)
- 入門コース向けの教科書  
 「物理学基礎 (第4版)」 原康夫 (学術図書出版社)  
 「医歯系の物理学」 赤野松太郎・鮎川武二・藤城敏幸・村田浩著  
 (東京教学社)
- その他、必要に応じ講義時に印刷物を配布する。

- [ 参 考 図 書 ] 「医歯薬系の物理学」 林 一 編 (丸善)  
 「ライフサイエンス物理学」 ケイン, スターンハイム著  
 石井千穎監訳 (広川書店)
- 「物理学」 小出昭一郎著 (裳華房) : 標準的な大学教養課程の教科書  
 「シッパマン自然科学入門 - 新物理学」 勝守寛監訳 (学術図書)  
 : 数式を余り使わない分かりやすい説明  
 高校の教科書・参考書も参考になることがあるが、流体力学などは載っていない。  
 後期は、特に指定しないが、生理学・生化学に関する標準的な教科書・参考書を参考にすることができる。

- [使用する教室] 生涯教育研修センター 1 号館10階1001講義室、9 階909講義室

[ 前 期 ]

< A. 標準コース >

このコースでは、既に自然現象の数理的扱いにある程度習熟していることを前提に、物理学の見方を深め、物理的な分析力を高めることを目指す。その為に、基礎的な法則と実際に起こる自然現象との関わりを総合的に考えつつ、応用数学的な手法を身につけることを一般的課題とする。

各分野での目標は以下の通りである。

1. 力 学

[教育目標]

自然現象を数理的に理解する能力を高めるために、その基礎となる分析手法に習熟する。

[学習目標（到達目標）]

- (1)運動方程式を使って、運動を分析することができる。
- (2)エネルギー、運動量保存の法則を用いて自然現象を説明することができる。
- (3)剛体の運動に関する基礎法則を理解する。
- (4)応力とひずみの関係を理解し、弾性変形を分析することができる。
- (5)運動方程式から振動の様子を説明できる。

2. 波

[教育目標]

音、電磁波（光、電波、X線）を理解するため、波動現象の数量的取り扱いを習得する。

[学習目標（到達目標）]

- (1)波の伝わる様子を数式で表し、関連する諸物理量を計算できる。
- (2)干渉や回折など波の諸現象を説明できる。
- (3)波の反射と屈折の法則を理解し、波の進行方向の変化を説明できる。
- (4)波動方程式の形と波の速さについて説明できる。
- (5)音波（超音波）に関する基本的な性質と法則を理解し応用できる。
- (6)音響インピーダンスや超音波の反射率・透過率について説明できる。
- (7)波の吸収や散乱による減衰について理解し、数値的に解析することができる。
- (8)パルスオキシメータの原理に関して赤外光・赤色光の吸収係数との関係から説明できる。
- (9)X線の物質による吸収とX線レントゲンやX線CTの原理との関係について説明できる。

### 3. 流体

#### [教育目標]

静止流体の性質と運動する流体に成り立つ法則を理解する。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1) 静止流体の性質を理解し、諸現象を説明することができる。
- (2) 流体の圧力や流速に関する基礎的な法則を学び、応用することができる。
- (3) 管の中を流れる流体について、粘性抵抗、圧力と流量の関係を説明できる。
- (4) ハーゲンポアズイユの法則について説明できる。

### 4. 電磁気

#### [教育目標]

自然現象を支配する電磁気の法則を正確に理解し使えるようにする。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1) 電子や陽子をもつ電気量の意味を理解し、自然界の構成物について説明できる。
- (2) 電位の概念を正確に理解し使うことができる。
- (3) コンデンサーを含む電気回路に流れる電流を計算できる。
- (4) 電磁誘導に関する現象を説明できる。

### 5. 原子・原子核・放射線

#### [教育目標]

原子核の構造や放射線の種類、医療への応用を理解し説明できるようにする。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1) 原子核の構成要素の陽子や中性子について説明できる。
- (2) 原子核の崩壊過程、放射線の種類について説明できる。
- (3) PETやSPECTの原理について説明できる。

[ 前 期 ]

< B. 入門コース >

このクラスでは、自然現象の数理的扱いに慣れることが第一の目標となる。以下のプロセスにより、物理学的な物の見方を身に付け、物理的な分析力を獲得することを目指す。

- ・微分、積分などの基礎的な応用数学の手法、その背後にある基本的な考え方を理解する
- ・映像などを使って広く自然現象に接し、それらの背後に物理法則があることを実感する
- ・法則を数理的に理解し、現象を論理的に説明する能力を磨く
- ・演習問題を解き、知識を実際の問題に適用する力を付ける

1. 力 学

[教育目標]

自然現象の数理的処理の基礎となる数学的手法を学ぶとともに、論理的、数理的自然観を体得する。

[学習目標（到達目標）]

- (1)運動の様子を、速度の変化、加速度の変化として把握し、数式で表せる。
- (2)加速度と力の関係を説明できる。
- (3)一定の割合で変化する量に対する微分方程式が作れ、変化の様子を説明できる。
- (4)振動を数式で表すことができ、運動方程式から振動の様子を説明できる。
- (5)エネルギー、運動量の保存を使って衝突の前後での運動の変化を説明できる。
- (6)ポテンシャルエネルギーを説明できる。
- (7)回転運動を説明できる。

2. 流体の運動

[教育目標]

流体の運動を学び、生体内の物質輸送（血液循環、呼吸）を理解する。

[学習目標（到達目標）]

- (1)重力による静水圧の差を説明できる。
- (2)流れの断面積の変化による流速の変化を説明できる。
- (3)流速の変化による圧力の変化を説明できる。
- (4)管の中を流れる流体について、粘性抵抗、圧力と流量の関係を説明できる。

### 3. 波

#### [教育目標]

音、電磁波（光、電波、X線）などの波動現象の数量的取り扱いを習得する。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1)波動現象の記述：波の伝わる様子を数式で表し、波の速度、波長、振動数の間の関係を説明できる。
- (2)波の回折と屈折：波の進行方向がどのように変化するかを説明できる。
- (3)光 学 機 器：レンズや曲面鏡の口径や対象物との距離、光の波長と分解能との関係を説明できる。
- (4)境界面での反射：開放端と固定端とでの反射の様子を説明できる。
- (5)定常波と共鳴：波の速度、振動体の大きさから共鳴振動数を説明できる。

### 4. 電 気

#### [教育目標]

自然現象を支配する電気力を理解する。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1)静電気力を説明できる。
- (2)電位の概念を理解し使うことができる。
- (3)電気回路に流れる電流を説明できる。
- (4)電磁誘導を説明できる。

### 5. 原子・原子核・放射線

#### [教育目標]

原子核の構造や放射線の種類、医療への応用を理解し説明できるようにする。

#### [学習目標（到達目標）]

- (1)原子核の構成要素の陽子や中性子について説明できる。
- (2)原子核の崩壊過程、放射線の種類について説明できる。

[ 後 期 ]

1. 統計基礎

[教育目標]

統計量の意味と基本的な考え方などを学ぶ。

[学習目標]

- (1)期待値、分散、標準偏差を説明できる。
- (2)確率密度関数、特に正規分布（ガウス分布）、について説明できる。
- (3)期待値、分散、標準偏差を計算できる。

2. 膜の張力

[教育目標]

血液循環や呼吸を理解するため、膜に閉じ込められた流体の物理を学ぶ。

[学習目標]

- (1)表面張力を説明できる。
- (2)膜の張力とエネルギーとの関係を説明できる。
- (3)膜の張力と内圧との関係、ラプラスの法則、を説明できる。
- (4)肺コンプライアンスを説明できる。
- (5)血管や肺胞などの力学現象を説明できる。

3. 熱力学

[教育目標]

分子の熱運動を学び、生体内のイオンや分子の移動、それに関連した生理現象を理解する。

[学習目標（到達目標）]

- (1)気体の状態方程式を使うことができる。
- (2)熱機関の働きを説明できる。
- (3)溶液中の濃度差による拡散を説明できる。
- (4)自由エネルギーの概念を説明できる。
- (5)半透膜の両側での溶質の濃度差による浸透圧を説明できる。

## [授業日程]

## &lt; A. 標準コース &gt;

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	12	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	1. 物理学の構成 ●物理学がどのような科学か説明できる。 2. 単位・次元・次元解析 ○SI基本単位の定義とその意義を説明できる。 ○基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。 ●次元解析の方法を説明できる。	1001
2	4	19	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	3. 運動の記述 ●運動の記述に必要な物理量の定義を理解し、それらの間の関係を説明できる。	1001
3	4	21	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	4. 運動の法則 ○力(ベクトル量)の合成と分解ができる。 ○慣性の法則を理解し、その法則が成り立つ現象を例示できる。 ○力と加速度の間に比例関係があることを説明できる。 ○物体の運動を運動方程式で記述することができる。 ○作用・反作用の法則を説明できる。	1001
4	4	26	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	5. さまざまな運動 ●抵抗力のある場合の落下運動を説明できる。 ●微分方程式の意味を考察できる。 ●微分方程式の解を求めることができる。	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
5	4	28	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	6. 仕事とエネルギー ○仕事の定義を説明できる。 ○保存力について説明できる。 ○運動エネルギーと位置エネルギーについて、 力学的エネルギーと保存法則と関連づけて 説明できる。 ●運動量の変化と力積の関係を説明できる。	1001
6	5	10	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	7. 二体問題と剛体 ○質点系と剛体の運動方程式を導くことができ る。 ○弾性衝突と非弾性衝突の違いを説明でき る。 ○運動量保存則を説明できる。	1001
7	5	12	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	8. 回転運動 ○力のモーメントを説明し、計算できる。 ○質点と剛体の角運動量を説明できる。 ○中心力と角運動量保存則の関係を説明でき る。	1001
8	5	17	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	●慣性モーメントを説明できる。 ●剛体の回転エネルギーを説明できる。 ●剛体の運動方程式を立てることができる。	1001
9	5	19	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	9. 弾性変形と弾性率 ○応力とひずみの関係をフックの法則を使って 説明できる。 ○ヤング率とポアソン比を説明できる。 ●ずれ弾性率、体積弾性率を説明できる。	1001
10	5	24	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	10. 静止流体と圧力 ●圧力の単位の換算ができる。 ●静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。	1001
11	5	26	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	11. ベルヌーイの定理 ●連続の式を説明できる。 ●ベルヌーイの定理を説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
12	5	31	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	12. 粘性流体 ○圧力、流量、流速と粘性抵抗を説明できる。 ●ハーゲン-ポアズイユの法則を説明できる。 ●レイノルズ数について説明できる。 ●流体による抗力を説明できる。	1001
13	6	2	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	13. 振動 ○バネや単振り子の運動を説明できる。 ●振動をグラフや数式で表すことができる。 ●角振動数や波数、周期などの量を説明できる。	1001
14	6	7	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	14. 波動の基本的性質 ●波動を数式で表し、その基本的な量について説明できる。 ○波動の回折、干渉と屈折を説明できる。 ○進行波と定在波の違いを説明できる。 ●波の減衰について考察できる。	1001
15	6	9	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	15. 音 ○音の性質、音の合成によるうなりを説明できる。 ○超音波の性質を説明できる。 ○ドップラー効果を説明できる。	1001
16	6	14	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	16. 光 ○電磁波を定義し、実例を列举できる。 ○光の反射と散乱を説明できる。 ○光の屈折とその性質を説明できる。 ●光の全反射とその応用例を説明できる。	1001
17	6	16	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	17. 光の回折と干渉 ●薄膜や2重スリットによる回折と干渉を説明できる。 ●丸穴による回折と干渉について説明できる。 ●視力について説明できる。 ●分解能を説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
18	6	21	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	18. 電荷と物質構造 ●電気素量について説明できる。 ○電荷保存則を説明できる。 ○クーロンの法則を説明できる。	1001
19	6	23	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	19. 電場と電位 ○近接作用と、電場の概念を説明できる。 ○電場のする仕事と電位の関係を説明できる。 ○電場に関するガウスの法則を説明できる。	1001
20	6	28	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	20. 導体と誘電体 ●導体の性質を説明できる。 ○コンデンサーを概説できる。	1001
21	6	30	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	21. 定常電流 ○オームの法則を説明できる。 ○ジュールの法則を説明できる。 ○起電力を説明できる。	1001
22	7	5	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	○キルヒホッフの法則を用いて回路を流れる電流を計算できる。 ○直流と交流の違いを説明できる。	1001
23	7	7	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	22. 磁場 ●磁気の基本的性質について説明できる。 ○磁場のガウスの法則とアンペールの法則を説明できる。 ●電流がつくる磁場について説明できる。	1001
24	7	12	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	23. 電流と磁場 ○ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。	1001
25	7	14	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	24. 電磁誘導 ●コイルを含む回路について計算できる。 ●インダクタンスについて説明できる。	1001
26	7	19	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	25. 原子核、放射線 ○原子量の定義を説明できる。 ○原子核の構造を説明できる。 ○放射性同位元素を説明できる。 ●原子核崩壊と放射線の種類について説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
27	7	21	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●質量とエネルギーの関係を説明できる。</li> <li>●原子核崩壊における保存法則について説明できる。</li> </ul>	1001
28	7	26	水	3	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●放射性同位元素の医療への応用例を説明できる。</li> <li>●PETやSPECTの基本原理を説明できる。</li> </ul>	1001
29	7	28	金	4	鴨下淳一 古澤彰浩	まとめ・演習	1001

## &lt; B. 入門コース &gt;

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	4	11	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩	1. 物理量の記述 ○SI基本単位系の定義と意義が説明できる。 ○基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。	909
2	4	12	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
3	4	13	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
4	4	18	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩	2. 運動の記述 ●質点の運動を式やグラフで表すことができる。 ●変化率・累積量を計算できる(微分積分)。	909
5	4	19	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
6	4	20	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
7	4	25	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩	3. 運動の法則 ○力(ベクトル量)の合成と分解ができる。 ○慣性の法則を説明できる。 ○力と加速度とが比例することを説明できる。 ○作用反作用の法則を説明できる。	909
8	4	26	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
9	4	27	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
10	5	2	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩	4. 力と運動の記述 ○質点の運動を運動方程式で記述できる。 ●簡単な微分方程式を解くことができる。	909
11	5	9	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
12	5	10	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
13	5	11	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	5. 振動現象 ●振動を式やグラフで表すことができる。 ●復元力が働くときの運動を運動方程式で記述できる。 ●振動の周期や振幅が説明できる。	909
14	5	16	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
15	5	17	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
16	5	18	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	6. 仕事とエネルギー ○仕事の定義を説明できる。 ○運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギー保存則と関連づけて説明できる。	909
17	5	23	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
18	5	24	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
19	5	25	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	7. 回転運動の記述 ○力のモーメントを説明し、計算できる。 ○質点と剛体の角運動量を説明できる。 ●トルクが作用するときの剛体の運動を説明できる。	909
20	5	30	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
21	5	31	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
22	6	1	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	8. 弾性体 ○応力とひずみの関係をフックの法則で説明できる。 ●ヤング率、体積弾性率を説明できる。	909
23	6	6	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
24	6	7	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
25	6	8	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	9. 静止流体 ●流体とは何か、説明できる。 ●静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。 ●浮力を説明できる。	909
26	6	13	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
27	6	14	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
28	6	15	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	10. ベルヌーイの定理 ●連続の式、ベルヌーイの定理を説明できる。 ○圧力、流量、流速と粘性抵抗を説明できる。	909
29	6	20	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
30	6	21	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
31	6	22	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	11. 波動の記述 ○ばねや単振り子の運動を説明できる。 ●波を式やグラフで表すことができる。 ○波の回折・干渉・屈折を説明できる。 ●光の性質、音の性質を説明できる。 ○超音波の性質を説明できる。	909
32	6	27	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
33	6	28	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
34	6	29	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	12. 静電気の記述 ○電荷保存則を説明できる。 ○クーロンの法則を説明できる。 ○電場とは何か、説明できる。	909
35	7	4	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
36	7	5	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
37	7	6	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	13. 電流 ○コンデンサを概説できる。 ○オームの法則、ジュールの法則を説明できる。 ○キルヒホッフの法則を使った回路計算ができる。	909
38	7	11	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
39	7	12	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
40	7	13	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	14. 電場と磁場 ●磁場とは何か、説明できる。 ○ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。 ●電磁波とは何か、説明できる。	909
41	7	18	火	3	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
42	7	19	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
43	7	20	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩	15. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線 ○原子核の医療への応用について説明できる。	909
44	7	26	水	2	鴨下淳一 /古澤彰浩		909
45	7	27	木	4	鴨下淳一 /古澤彰浩		909

## [ 後 期 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	6	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	○与えられた間隔・比率データから度数分布表とヒストグラムを作り、データの平均と分散、標準偏差を計算できる。 ○確率変数の期待値と分散・標準偏差の定義と性質を説明できる。	1001・909
2	10	13	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	○離散型確率変数と連続型確率変数を定義し、それらの分布を説明できる。 ○2項分布と正規分布を説明できる。	1001・909
3	10	20	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	●膜の張力の定義を述べることができる。 ●張力とエネルギーとの関係を説明できる。 ●表面張力を分子間力から説明できる。	1001・909
4	10	27	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	●膜に囲まれた流体の内圧を計算できる。 ●表面張力による現象(毛細管現象など)を説明できる。 ●血液循環における血管の弾性の役割を説明できる。	1001・909
5	11	10	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	●肺コンプライアンスについて説明できる。 ●肺胞に関する物理を概観できる。 ●肺胞の界面活性物質の役割を説明できる。 ●気道抵抗について説明できる。	1001・909
6	11	17	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	●熱とは何か説明できる。 ○ボイルの法則、シャルルの法則とアボガドロの法則を説明できる。 ○気体の熱運動を説明できる。 ●理想気体の状態方程式を説明できる。	1001・909
7	11	24	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	○内部エネルギーを説明できる。 ●熱力学第一法則を応用できる。 ●熱の出入りと仕事を計算できる。	1001・909
8	12	1	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	○生命現象におけるエネルギー変化に対しても熱力学法則が適用できることを概説できる。	1001・909

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
9	12	8	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拡散を熱運動から説明できる。</li> <li>●統計力学のエントロピーを説明できる。</li> <li>●熱力学の第2法則を説明できる。</li> </ul>	1001・909
10	12	15	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●可逆過程と不可逆過程について説明できる。</li> <li>●熱力学のエントロピーを説明できる。</li> </ul>	1001・909
11	12	22	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内部エネルギー、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーを説明できる。</li> <li>●反応が進む条件を説明できる。</li> </ul>	1001・909
12	1	5	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ギブスの自由エネルギーを説明できる。</li> <li>●反応が進む条件を自由エネルギーの観点から説明できる。</li> </ul>	1001・909
13	1	12	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	○標準ギブスエネルギー変化と平衡定数の関係を説明できる。	1001・909
14	1	19	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学平衡を自由エネルギーから説明できる。</li> <li>●反応が自発的に進む条件を検討できる。</li> </ul>	1001・909
15	1	26	金	2	鴨下淳一 古澤彰浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浸透圧を自由エネルギーから説明できる。</li> <li>●膜電位を自由エネルギーから説明できる。</li> </ul>	1001・909

## 生 理 化 学

〈C-1, 2〉 〈D-8〉

### 〔教育目標〕

多細胞生物では体細胞は動物の皮膚に包まれた体内の海というべき細胞外液に浸かっている。一方、体細胞内にも大量の液体、すなわち細胞内液が存在しているが、細胞膜によって隔離されているために細胞外液と細胞内液の組成は大きく異なっている。生理学では内部環境を維持するための個々器官の複雑な相互作用を理解しなければならない。すなわち、内部環境を維持するためには、生体外の“不秩序”な環境から生体内の内部環境を“隔離”する必要があるが、一方、内部環境を維持するためには“開放系”として、酸素・栄養素・排泄物・熱の交換や情報の交換を行う必要がある。

生理化学では生命を維持する媒体として細胞外液や細胞内液の重要性を理解した上で、生理学の基本となる物質の移動や物質の膜透過を物理化学的に理解することを目標とする。この理解には細胞外液や細胞内液に存在する水、イオン、高分子やタンパク質だけでなく膜タンパク質を物理化学的な視点から理解することが必要であり、これも重要な目標とする。

### 〔学習目標（到達目標）〕

- 1) 生理現象における体液の重要性を説明できる。
- 2) 物質の膜透過により生じる生理現象を論理的に説明できる。

### 〔身につける能力〕

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

### 〔授業の種類〕

講義と実習

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

講義の前に参考資料を提示するので目を通してから講義に臨むこと。また、復習をしておくこと。目安としてそれぞれ30分程度の時間を要する。

### 〔 評 価 〕

- (1)知識（卒業コンピテンシー IV-1, 2, 4）、パフォーマンスレベルD

知識量と理解度を定期試験で評価する。実習レポート、実習中の態度などから総合的に評価する。

実習レポートを評価する；（卒業コンピテンシー IV-1, 2, 3）、パフォーマンスレベルC

生理化学実習ではどのレベルまで自ら問題点を発掘して、それに答えるべく努力をしたかをレポートから判定して、実習評価の主なポイントとする。

- (2)講義と実習の態度（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンスレベルC

医学生としての講義における受講態度、実習に積極的に参加したかの受講態度を評価する。

[フィードバック]

定期試験が不合格となった場合は指導を含めた対応を行う。実習レポートについては返却をする。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
中島 昭 教授	月～金	12:30～13:20 16:00～18:00	生涯教育研修センター 1号館 8階803号室
長崎 弘 教授	月・水・金	12:30～13:20 16:00～18:00	医学部 1号館 4階410号室
金子 葉子 准教授	月～金	12:30～13:20 16:00～17:30	医学部 1号館 4階410号室
小谷 侑 助教	月～金	17:00～19:00	医学部 1号館 4階410号室

[教科書] なし

[推薦参考書] 「オックスフォード・生理学 4版」 Pocock・Richards著  
岡野・植村・鯉淵 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）  
「ギャノン生理学 原書24版」 Barrett・Barman・Boitano・Brooks著  
岡田泰伸 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）  
「カラー版 ボロン ブールペープ 生理学」 Boron・Boulpaep著  
泉井亮 総監訳（西村書店）

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室、12階IT学習室

[実習場所] 医学部 1号館 地下 1階実習室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	10	6	金	1	中島 昭	細胞膜の役割 ●細胞膜の重要性を説明できる	1001
2	10	13	金	1	中島 昭	細胞膜の役割 ●細胞膜の重要性を説明できる ●細胞膜を介しての物質の拡散・浸透・透過を説明できる ○細胞膜を介する吸収の過程を説明できる	1001
3	10	20	金	1	中島 昭	細胞膜の役割 ●細胞膜の重要性を説明できる ●細胞膜を介しての物質の拡散・浸透・透過を説明できる ○毛細血管における物質・水分交換を説明できる ○血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる	1001
4	10	27	金	1	中島 昭	水の性質 ●水の重要性を説明できる ●水の構造・性質・運動を説明できる ○水素結合、ファンデルワールス相互作用などの弱い結合を説明できる	1001
5	11	10	金	1	中島 昭	水和 ●イオンの水和を説明できる ●タンパク質の水和を説明できる ○水素結合、ファンデルワールス相互作用などの弱い結合を説明できる	1001
6	11	17	金	1	中島 昭	生体高分子 ○タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる ○アミノ酸の種類と性質を説明できる ○高分子の立体構造を説明できる	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
7	11	24	金	1	中島 昭	<p>生体高分子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる</li> <li>○アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる</li> <li>●タンパク質の二次構造を説明できる</li> </ul>	IT学習室
8	12	1	金	1	中島 昭	<p>生体高分子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる</li> <li>●膜タンパク質の高次構造を理解できる</li> </ul>	IT学習室
9	12	8	金	1	中島 昭	<p>膜透過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●拡散と混合を説明できる</li> <li>●細胞膜の構造とその形成機序を説明できる</li> <li>○細胞膜の構造と機能を説明できる</li> <li>○膜のイオンチャネル、ポンプの機能を概説できる</li> </ul>	1001
10	12	15	金	1	中島 昭	<p>膜透過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●単純拡散と促進拡散を説明できる</li> <li>●拡散の法則を説明できる</li> <li>●能動輸送と二次的能動輸送を説明できる</li> <li>○細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる</li> </ul>	1001
11	12	22	金	1	中島 昭	<p>膜電位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる</li> <li>●ネルンストの式と平衡電位を説明できる</li> <li>●膜電位を計算できる</li> </ul>	1001
12	1	5	金	1	中島 昭	<p>膜電位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる</li> <li>●ネルンストの式と平衡電位を説明できる</li> <li>●膜電位を計算できる</li> <li>○膜のイオンチャネル、ポンプ等の膜タンパク質の機能を概説できる</li> </ul>	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
13	1	12	金	1	中島 昭	浸透圧と有効浸透圧 ○細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる ●浸透圧と有効浸透圧の違いを説明できる ●溶液の濃度を計算できる	1001
14	1	16	火	4	中島・長崎・金子・小谷	実習1 溶液作製に関する実験 ○体液pHの重要性和緩衝系を説明できる ●生理的代用液を作製できる ●浸透圧を説明できる	B1実習室
15	1	16	火	5	中島・長崎・金子・小谷	実習2 物質の拡散に関する実験 ●ストークス・アインシュタインの式を説明できる	B1実習室
16	1	16	火	6	中島・長崎・金子・小谷	実習3 物質の膜透過に関する実験 ●透過率と吸光度の関係を説明できる ●Lambert-Beerの法則、モル吸光係数を説明できる ●溶血現象を応用した物質の膜透過現象を説明できる ○細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止膜電位を説明できる	B1実習室
17	1	19	金	4	中島・長崎・金子・小谷	実習1 溶液作製に関する実験 ○体液pHの重要性和緩衝系を説明できる ●生理的代用液を作製できる ●浸透圧を説明できる	B1実習室
18	1	19	金	5	中島・長崎・金子・小谷	実習2 物質の拡散に関する実験 ●ストークス・アインシュタインの式を説明できる	B1実習室
19	1	19	金	6	中島・長崎・金子・小谷	実習3 物質の膜透過に関する実験 ●透過率と吸光度の関係を説明できる ●Lambert-Beerの法則、モル吸光係数を説明できる ●溶血現象を応用した物質の膜透過現象を説明できる ○細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止膜電位を説明できる	B1実習室

## アセンブリ I

### 〈A-3〉

#### [進級及び卒業要件]

アセンブリは、建学の理念に基づき実施される特別教育活動で、単位数には含めないが卒業に必要な教科とする。従って、アセンブリ I を修了しないと進級できない。

#### [教育目標]

アセンブリ教育は、学部及び学校間の壁を乗り越え、学生と教員が共通の目的に向かって一緒に活動することを通して、責任感と奉仕の精神にあふれた医療人としての人間形成を目指す。これにより医療の専門職として社会に貢献するのに必要な専門職連携の基盤づくりを行う。

#### [学習目標]

1. 多様な人とともに、目標に向け、積極的にコミュニケーションがとれる。
2. 主体的に考え、目標に向かって一歩踏み出すことができる。
3. 目標の達成に向け、問題点を発見し、問題解決を行うなど考え抜く力を発揮できる。
4. 医療に於ける専門職を意識し、チームの一員として協働できる。

#### [到達目標]

- ・将来いろいろな医療職に就く学生と多様な経験を有する教員と一緒に活動できる。
- ・チームでの活動に主体的に参加できる。

#### [身につける能力]

別紙（別表1）参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを示した表）

#### [授業の種類]

演習（実技）

#### [授業形態]

活動は、全学活動と班活動からなる。実施時間、実施活動班種目、活動方法などはアセンブリ活動便覧参照のこと。

アセンブリ活動便覧は「藤田保健衛生大学 アセンブリ・ポータルサイト <http://assembly.fujita-hu.ac.jp/>」にて閲覧およびダウンロードすることができる。

#### [準備学習（予習・復習等）]

アセンブリ精神を理解し、班主任の指示に従うこと。

## [ 評 価 ]

演習レポート；(卒業コンピテンシー I -4,5)、パフォーマンス・レベル C

班活動の評価は参加状況を総合的に評価する。オリエンテーションならびにアセンブリ講演会や活動発表会の評価は、出席状況やレポートなどを総合的に評価する。

演習態度；(卒業コンピテンシー I -1,4,5)、パフォーマンス・レベル C

医学生として常識ある態度で活動に積極的に参加していたかで評価する。

評価は班活動70%、全学活動30%とし、出席状況などを含め総合的に評価する。

## [ 注 意 事 項 ]

- ・ 4 回行われる全学活動講習会には、全て出席すること。欠席した場合は補講を行わなくてはならない。

## [ フィードバック ]

問題がある時は対応する。対応は班主任および全学活動担当教員が行うが、それができない場合はアセンブリ教育センターで対処する。

## [ 活 動 場 所 ]

アセンブリ活動便覧参照（アセンブリポータルサイトに記載）

<http://assembly.fujita-hu.ac.jp/index.html>

## [ 担当教員・オフィスアワー ]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
大槻 眞嗣 教授 (アセンブリ教育センター センター長)	水・木・金	9:00～17:00 事前にアポイント を取ることに する	
前野 芳正 准教授 (アセンブリ教育センター 副センター長)	月～金	17:00～19:00	医学部1号館6階

所属班主任および全学活動担当教員はアセンブリポータルサイトに記載。

班主任および担当教員との連絡は、より良い方法を設定すること。

## [授業日程]

No.	月	日	曜日	時 限	授 業 内 容
1	4	17	月	5	アセンブリオリエンテーション
2	4	24	月	5	アセンブリ講演会1
3	5	1	月	5	アセンブリ講演会2
4	5	8	月	5	班活動
5	5	15	月	5	班活動
6	5	22	月	5	班活動／全学活動
7	5	29	月	5	班活動／全学活動
8	6	5	月	5	班活動／全学活動
9	6	12	月	5	班活動／全学活動
10	6	19	月	5	班活動／全学活動
11	6	26	月	5	班活動／全学活動
12	7	3	月	5	班活動／全学活動
13	7	10	月	5	アセンブリ特別講演
14	10	2	月	5	班活動／全学活動
15	10	16	月	5	班活動／全学活動
16	10	23	月	5	班活動／全学活動
17	10	30	月	5	班活動／全学活動
18	11	6	月	5	班活動／全学活動
19	11	13	月	5	班活動
20	11	20	月	5	アセンブリⅡ活動報告会
21	11	27	月	5	班活動
22	12	4	月	5	班活動
23	12	11	月	5	アセンブリⅡ活動報告会
24	12	18	月	5	アセンブリⅡ活動報告会

## 解剖学 A

### 〈C-1, 2〉〈D〉

#### [教育目標]

解剖学Aでは、人体の肉眼的構造の概略を理解し、今後の医学の学習および卒業後の医療の現場で必要となる人体構造に関する知識を習得することを目標とする。

人体は①骨格系、②筋系、③消化器系、④呼吸器系、⑤泌尿器系、⑥生殖器系、⑦内分泌系、⑧心血管系、⑨リンパ免疫系、⑩感覚器系、⑪神経系、⑫外皮系の12系統から構成されている。解剖学Aの授業は講義（1学年後期）と骨学実習（1学年後期）を行う。

#### [学習目標]

- (01) 人体構造の階層性（細胞、組織、臓器、系統、個体）を説明できる。
- (02) 全身の主な骨、関節、筋の名称、構造上の特徴、作用を説明できる。
- (03) 消化器を構成する諸臓器の構造、相互位置関係、機能を系統的に説明できる。
- (04) 気道と肺の構造を、呼吸機能と対応させて説明できる。
- (05) 腎臓と尿路を構成する諸臓器の構造と位置関係を、尿の生成・排出と関連づけて説明できる。
- (06) 男性生殖器、女性生殖器の構造を生殖機能と関連づけて説明できる。
- (07) 主な内分泌腺の名称、存在部位、構造上の特徴、分泌されるホルモンを説明できる。
- (08) 全身の動脈系、静脈系、リンパ系の走行と分布領域の概略を説明できる。
- (09) 皮膚を含めて、全感覚器の構造上の特徴を、受容する感覚情報に関連づけて説明できる。
- (10) 脳・脊髄の構造と機能、主な脳神経と脊髄神経の種類、走行、作用を体系的に説明できる。

#### [身につける能力]

卒業コンピテンス・コンピテンシー（別表1）参照

#### [授業の種類]

講義と実習

#### [準備学習（予習・復習等）]

事前に配信したプリントの重要項目やミニマム演習問題を用いて予習・復習をすること。それぞれ約30分程度を目安とする。

#### [ 評 価 ]

解剖学Aの科目評価は、以下の(1)～(3)を総合的に判断して1年後期学期末に行う。

(1)知識：（卒業コンピテンシー IV-1）、パフォーマンス・レベルD

知識量及び理解度の両面をペーパーテストで判定する。

ペーパーテストは2回行う（試験ごとに、合格・不合格の判定は行わない。）

①1回目（中間試験）

範囲：解剖学序論と運動器系（骨学・関節学・筋学）

時期：1 学年12月に実施予定（中間試験の追試験及び再試験は行わない）

②2回目（定期試験）

範囲：運動器系（骨学・関節学・筋学）以外の全範囲

時期：1 学年後期終了後の試験期間に実施予定

(2)実習レポート：(卒業コンピテンシー V-1,3)、パフォーマンス・レベルC

実習では、講義で学んだ知識を実際に確かめることに主眼が置かれる。単に知識の確認ではなく、教科書と実際の違いを確認し、教科書を書き換えるつもりで実習に望むことが期待される。実習レポートも単に教科書を写したのではなく、実際に自分で観察したものを正確に記載し、もし教科書と異なっていれば、その原因・意義に関しても考察できているかを評価する。

(3)講義および実習態度：(卒業コンピテンシー I-1)、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかという点を評価する。

[フィードバック]

学習時にまとめたレポートを実習終了時に評価する。不足が多い場合には再度レポートのまとめを求めることがある。定期試験結果について疑義がある場合には対応する。

[担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
秦 龍二 教授 (hata@fujita-hu.ac.jp)	0562-93-2444（全教官）又は各教官のe-mail addressに連絡し、質問したい教官とアポイントをとること。		医学部1号館8階815号室
野村 隆士 講師 (rnomura@fujita-hu.ac.jp)	0562-93-2444（全教官）又は各教官のe-mail addressに連絡し、質問したい教官とアポイントをとること。		医学部1号館8階815号室
八幡 直樹 助教 (n-yahata@fujita-hu.ac.jp)	0562-93-2444（全教官）又は各教官のe-mail addressに連絡し、質問したい教官とアポイントをとること。		医学部1号館8階815号室
尾身 実 助教 (momi@fujita-hu.ac.jp)	0562-93-2444（全教官）又は各教官のe-mail addressに連絡し、質問したい教官とアポイントをとること。		医学部1号館8階815号室

[教科書] 「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論、運動器系 第3版」  
坂井建雄、松村 譲児監訳（医学書院）  
「プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第2版」  
坂井 建雄、大谷 修 監訳（医学書院）  
「プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版」  
坂井 建雄、河田 光博監訳（医学書院）

[参考書] 「カラー図解 人体の正常構造と機能 [全10巻縮刷版] 第2版」  
坂井建雄、河原克雅 編著（日本医事新報社）  
「イラスト解剖学 第8版」松村 譲児著（中外医学社）  
「骨学実習の手びき」寺田春水、藤田恒夫著（南山堂）  
「グレイ解剖学 原著第2版」  
Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）  
「グレイ解剖学アトラス 原著第2版」  
Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）  
「人体解剖学 改訂第42版」藤田恒太郎 著（南江堂）  
「カラー人体解剖学」F.H.マティーニ 他著、井上貴央監訳（西村書店）  
「ネッター解剖学アトラス 原著第6版」Frank H Netter 他著（南江堂）

[使用する教室] 生涯教育研修センター 1号館10階1001講義室

[実習場所] 医学部1号館 1階実習室

[次年度予定]

平成30年度 第2学年 前期

授 業 内 容

人体解剖実習

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	4	水	2	秦 龍二	解剖学序論、骨学総論 ●人体構造の階層性(細胞・組織・臓器・系統・ 個体)を説明できる。 ●人体を構成する11の系統を挙げることができる。 ○位置関係を方向用語(上下、前後、内・外側、 浅深、頭・尾側、背・腹側)で説明できる。 ○骨・軟骨・関節・靱帯の構造と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	1001
2	10	4	水	4	秦 龍二	関節学総論 ○骨・軟骨・関節・靱帯の構造と機能を説明できる。	1001
3	10	4	水	5	秦 龍二	骨学・関節学各論①(脊柱) ○椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。	1001
4	10	5	木	4	秦 龍二	骨学・関節学各論②(脊柱) ○椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。	1001
5	10	5	木	5	秦 龍二	骨学・関節学各論③(胸郭) ●胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1001
6	10	6	金	3	尾身 実	骨学・関節学各論④(上肢-1) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1001
7	10	11	水	2	尾身 実	骨学・関節学各論⑤(上肢-2) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1001
8	10	11	水	4	八幡直樹	骨学・関節学各論⑥(下肢-1) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1001
9	10	11	水	5	八幡直樹	骨学・関節学各論⑦(下肢-2) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
10	10	12	木	4	八幡直樹	骨学・関節学各論⑧(骨盤) ○骨盤の構成と性差を説明できる。	1001
11	10	12	木	5	野村隆士	骨学・関節学各論⑨(頭蓋-1) ○頭部・顔面の骨の構成を説明できる。	1001
12	10	13	金	3	野村隆士	骨学・関節学各論⑩(頭蓋-2) ○頭部・顔面の骨の構成を説明できる。	1001
13	10	18	水	3	野村隆士	骨学・関節学各論⑪(頭蓋-3) ○頭部・顔面の骨の構成を説明できる。	1001
14	10	18	水	4	野村隆士	骨学・関節学各論⑫(頭蓋-4) ○頭部・顔面の骨の構成を説明できる。	1001
15	10	18	水	5	野村隆士	筋学総論 ●骨格筋の一般構造を説明できる。 ●骨格筋の収縮機構を説明できる。	1001
16	10	19	木	4	野村隆士	筋学各論①(頭頸部の筋) ●主な表情筋と咀嚼筋の起始、停止、作用、神経支配を説明できる。	1001
17	10	19	木	5	秦 龍二 野村隆士	○骨学・関節学実習-1(脊柱・胸郭) ○椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。 ●胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1F実習室
18	10	19	木	6	八幡直樹 尾身 実	○骨学・関節学実習-1(脊柱・胸郭) ○椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。 ●胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。	1F実習室
19	10	20	金	3	野村隆士	筋学各論②(上肢の筋) ○四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001
20	10	25	水	3	野村隆士	筋学各論③(上肢の筋) ○四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001
21	10	25	水	4	野村隆士	筋学各論④(下肢の筋) ○四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
22	10	25	水	5	野村隆士	筋学各論⑤(下肢の筋) ○四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	1001
23	10	26	木	4	野村隆士	筋学各論⑥(胸腹部の筋) ○姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 ○呼吸と呼吸運動の機序を説明できる。	1001
24	10	26	木	5	秦 龍二 野村隆士	骨学・関節学実習-2(上肢) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1F実習室
25	10	26	木	6	八幡直樹 尾身 実	骨学・関節学実習-2(上肢) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1F実習室
26	10	27	金	3	野村隆士	筋学各論⑦(背部の筋) ○姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。	1001
27	11	1	水	3	野村隆士	筋学各論⑧(骨盤・会陰の筋) ○姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。	1001
28	11	1	水	4	秦 龍二	消化器系① ○各消化器官の位置、形態と血管を図示できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ○口腔・咽頭の構造を図示できる。	1001
29	11	1	水	5	秦 龍二	消化器系② ●咀嚼・嚥下機能と口腔・咽頭の構造との関連を説明できる。 ○食道・胃の基本構造を説明できる。 ○小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
30	11	2	木	4	秦 龍二	消化器系③ ●消化管運動の基本的な機序を説明できる。 ○肝の構造と機能を説明できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○消化器系各器官の形成過程を概説できる。	1001
31	11	2	木	5	秦 龍二 野村隆士 八幡直樹 尾身 実	骨学・関節学実習-3(骨盤・自由下肢) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1F実習室
32	11	2	木	6		骨学・関節学実習-3(骨盤・自由下肢) ○四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。	1F実習室
33	11	8	水	3	秦 龍二	消化器系④ ●消化管運動の基本的な機序を説明できる。 ○肝の構造と機能を説明できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○消化器系各器官の形成過程を概説できる。	1001
34	11	8	水	4	秦 龍二	腹膜・腹膜腔① ○腹膜と臓器の関係を説明できる。 ○消化器系各器官の形成過程を概説できる。 ●腹膜腔の三次元的な広がりを説明できる。	1001
35	11	8	水	5	秦 龍二	腹膜・腹膜腔② ○腹膜と臓器の関係を説明できる。 ○消化器系各器官の形成過程を概説できる。 ●腹膜腔の三次元的な広がりを説明できる。	1001
36	11	9	木	4	秦 龍二	呼吸器系① ○鼻腔・喉頭の構造を図示できる。 ○喉頭の機能と神経支配を説明できる。	1001
37	11	9	木	5	秦 龍二 野村隆士 八幡直樹 尾身 実	骨学・関節学実習-4(頭蓋) ○頭部・顔面の骨の構成を説明できる。	1F実習室
38	11	9	木	6		骨学・関節学実習-4(頭蓋) ○頭部・顔面の骨の構成を説明できる。	1F実習室

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
39	11	10	金	3	秦 龍二	呼吸器系② ○気道の構造、肺葉、肺区域と肺門の構造を説明できる。	1001
40	11	15	水	3	秦 龍二	胸膜・胸腔・縦隔① ○縦隔と胸腔の構造を説明できる。	1001
41	11	15	水	4	野村隆士	心血管系①(血管の一般構造) ○体循環、肺循環と胎児循環を説明できる。 ○毛細血管における物質・水分交換を説明できる。	1001
42	11	15	水	5	野村隆士	心血管系②(心臓) ○心臓の構造と分布する血管・神経を説明できる。	1001
43	11	16	木	4	野村隆士	心血管系③(動脈-1) ○大動脈の枝を図示し、分布域を概説できる。	1001
44	11	16	木	5	野村隆士	心血管系④(動脈-2) ○頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。	1001
45	11	17	金	3	秦 龍二	胸膜・胸腔・縦隔② ○縦隔と胸腔の構造を説明できる。	1001
46	11	24	金	3	野村隆士	心血管系⑤(動脈-3) ○頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。	1001
47	11	29	水	2	野村隆士	心血管系⑥(静脈-1) ○主な静脈を図示し、門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。	1001
48	11	29	水	3	野村隆士	心血管系⑦(静脈-2) ○主な静脈を図示し、門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。	1001
49	11	30	木	4	野村隆士	心血管系⑧(胎児循環) ○胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
50	11	30	木	5	野村隆士	感覚器系①(味覚器・嗅覚器・皮膚・乳腺) ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ○乳房の構造と機能を説明できる。	1001
51	12	1	金	3	尾身 実	リンパ免疫系①(リンパ管・リンパ節・骨髄) ○胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 ○骨髄の構造を説明できる。	1001
	12	6	水	2		中間試験(骨学・筋学)	603
52	12	6	水	3	尾身 実	リンパ免疫系②(リンパ節・骨髄・脾臓・胸腺) ○脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer(パイエル)板の構造と機能を説明できる。	1001
53	12	7	木	4	野村隆士	感覚器系②(味覚器・嗅覚器・皮膚・乳腺) ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ○乳房の構造と機能を説明できる。	1001
54	12	7	木	5	野村隆士	感覚器系③(味覚器・嗅覚器・皮膚・乳腺) ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ○乳房の構造と機能を説明できる。	1001
55	12	8	金	3	野村隆士	感覚器系④(聴覚器-1) ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	1001
56	12	13	水	3	八幡直樹	泌尿器系① ○腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。	1001
57	12	13	水	4	野村隆士	感覚器系⑤(聴覚器-2) ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	1001
58	12	13	水	5	野村隆士	感覚器系⑥(聴覚器-3) ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	1001
59	12	14	木	4	野村隆士	感覚器系⑦(視覚器-1) ○眼球運動のしくみを説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
60	12	14	木	5	野村隆士	感覚器系⑧(視覚器-2) ○眼球運動のしくみを説明できる。	1001
61	12	15	金	3	野村隆士	感覚器系⑨(視覚器-3) ○眼球運動のしくみを説明できる。	1001
62	12	20	水	3	八幡直樹	泌尿器系② ○腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。	1001
63	12	20	水	4	秦 龍二	中枢神経系①(神経系の区分・脳脊髄膜) ○中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。 ○脳膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。	1001
64	12	20	水	5	秦 龍二	中枢神経系②(神経系の発生) ○神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。	1001
65	12	21	木	4	秦 龍二	中枢神経系③(脳の血管・脳室・脳脊髄液) ○脳膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。	1001
66	12	21	木	5	秦 龍二	中枢神経系④(脳幹・小脳) ○脳幹の構造と伝導路を説明できる。 ○脳幹の機能を概説できる。 ○小脳の構造と機能を概説できる。	1001
67	12	22	金	3	八幡直樹	男性生殖器系① ○男性生殖器の形態と機能を説明できる。	1001
68	1	4	木	4	秦 龍二	中枢神経系⑤(大脳皮質・大脳辺縁系) ○大脳の構造を説明できる。 ○大脳皮質の機能局在(運動野・感覚野・言語野・連合野)を説明できる。 ○記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。	1001
69	1	4	木	5	秦 龍二	中枢神経系⑥(大脳髓質・大脳基底核) ○大脳基底核(線条体、淡蒼球、黒質)の線維結合と機能を概説できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
70	1	5	金	3	秦 龍二	<p>中枢神経系⑦(脊髄)</p> <p>○脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。</p> <p>○脳幹の構造と伝導路を説明できる。</p> <p>○随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。</p> <p>○視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。</p>	1001
71	1	10	水	3	八幡直樹	<p>男性生殖器系②</p> <p>○男性生殖器の形態と機能を説明できる。</p>	1001
72	1	10	水	4	秦 龍二	<p>中枢神経系⑧(伝導路)</p> <p>○脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。</p> <p>○脳幹の構造と伝導路を説明できる。</p> <p>○随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。</p> <p>○視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。</p>	1001
73	1	10	水	5	秦 龍二	<p>中枢神経系⑨(脳の血管)</p> <p>○脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。</p>	1001
74	1	11	木	4	秦 龍二	<p>脊髄神経系①</p> <p>○脊髄神経と神経叢(頸腕神経叢、腰仙骨神経叢)の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。</p>	1001
75	1	11	木	5	秦 龍二	<p>脊髄神経系②</p> <p>○脊髄神経と神経叢(頸腕神経叢、腰仙骨神経叢)の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。</p>	1001
76	1	12	金	3	秦 龍二	<p>脊髄神経系③</p> <p>○脊髄神経と神経叢(頸腕神経叢、腰仙骨神経叢)の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。</p>	1001
77	1	17	水	3	八幡直樹	<p>女性生殖器系①</p> <p>○女性生殖器の形態と機能を説明できる。</p>	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
78	1	17	水	4	秦 龍二	脊髄神経系④ ○脊髄神経と神経叢(頸腕神経叢、腰仙骨神経叢)の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。	1001
79	1	17	水	5	秦 龍二	脊髄神経系⑤ ○脊髄神経と神経叢(頸腕神経叢、腰仙骨神経叢)の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。	1001
80	1	18	木	4	野村隆士	脳神経① ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001
81	1	18	木	5	野村隆士	脳神経② ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001
82	1	19	金	3	野村隆士	脳神経③ ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001
83	1	24	水	3	秦 龍二	自律神経系 ○交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 ○視床下部の構造と機能を内分泌および自律機能と関連づけて概説できる。	1001
84	1	24	水	4	野村隆士	脳神経④ ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001
85	1	24	水	5	野村隆士	脳神経⑤ ○脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。	1001
86	1	25	木	3	秦 龍二	内分泌系① ○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
87	1	25	木	4	秦 龍二	内分泌系② ●下垂体の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 ○甲状腺と副甲状腺(上皮小体)から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	1001
88	1	25	木	5	秦 龍二	内分泌系③ ○副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	1001

※中間試験はコマ数にカウントしない。

## 組 織 学

### 〈C-1, 2〉, 〈D〉

#### [教育目標]

6年かけて臨床医学を学ぶために必要な**人体の構造・機能・名称の基礎的知識の習得**を解剖学は目標としています。人体の設計図を頭に入れて医学全体を学ぶ素地をつくって下さい。とくにこの「**組織学**」においては、**顕微鏡**を用いて人体の構造を観察して、細胞の構造と機能の関係を学びます。さらに、人体の構造が胎児の時期にどのような過程を経てできあがり、また先天異常という病態がなぜ起こるかを扱う「**発生学**」も学びます。全体として、病気が構造と機能の異常であるということを学ぶきっかけをつくります。

#### [授業内容]

人体の基本的な構成要素は**細胞**です。細胞が集まって機能を営むようになった構造が**組織**で、**上皮組織・結合組織・筋組織・神経組織の4種類**があります。この4種類の組織が特有の配列をして、独立して機能する**器官**を作ります。人体には12種類の**器官系**があります。器官系とは、例えば消化器系は、食道・胃・腸・肝臓・膵臓などの器官の集まりで、食物の消化吸収というひとつの大きな仕事を営みます。肉眼で人体を観察した場合、ひとつひとつの器官は観察できますが、器官を形作っている細胞や組織を観察するには、**顕微鏡**で拡大して見る必要があります。

第1に、**組織学総論**において人体を構成する基本単位である細胞の構造と、細胞の集団としての4種類の組織について学びます。第2に、細胞の構成成分、幹細胞からの分化、細胞増殖・組織再生など細胞・組織の機能の基礎的原理となる**細胞生物学**の初歩を学びます。第3に、それらの組織からどのように器官が構成されているかを**組織学各論**（器官組織学）において学びます。第4に、**発生学**においては、胎児において器官ができあがる過程と、その先天異常について学びます。

細胞の形態に加えて、その生き様・機能をDNAと蛋白質の視点から把握する事が、再生医学などの先端的な医学の理解に必要な事になっている事に配慮して、組織学から派生した学問である神経生物学・細胞生物学・発生生物学・進化生物学の知見も必要に応じて合わせて学ぶ予定です。さらに、各分野の専門家の協力を得て、**人体構造と病気の関係**についても触れていきます。

#### [身につける能力]

卒業コンピテンス・コンピテンシー参照

#### [授業の種類]

講義と実習

## [授業形態]

授業では講義と実習があります。講義で学ぶ内容についてできるだけその日に実習を行います。画像としての情報を提供し講義時間内で全体像を把握できるように、講義・実習を合わせて一つと考えて授業計画を考えています。

＜講義＞まず講義・実習で学ぶ目標を板書で示します。**器官・組織・細胞の構造と機能の関係**、将来に会う主な疾患を学ぶために画像教材や新聞記事・教科書以外の書籍の資料を用いて、高校までの復習、現代科学の最先端、関連する社会問題を理解します。次に、プリントとスライドを併用して、基本的な顕微解剖学の項目を、機能を中心に学びます。さらに、**解剖学用語**の日本語と英語の綴り、授業内容に密接な内容で**CBT**や**医師国家試験**で必要となる項目を学びます。

＜実習＞まず各器官の**模型と生の動物器官**の観察を行い、次に、**光学顕微鏡**を使用して、講義で学んだヒト各器官の組織標本を観察して基本的な微細構造を理解し、**電子顕微鏡**写真と免疫組織化学等の特殊染色標本を観察して、構造と機能について理解を深めます。顕微鏡は、聴診器とともに医学生・医師が一生身近に置いて使える代表的な診断器具です。顕微鏡に慣れ親しんで下さい。光学顕微鏡標本作製法、電子顕微鏡、生きた細胞での細胞培養法のウェットラボ見学を行います。基本的な標本作製法である血液塗沫標本・H&E染色標本について、時間の許す限り体験する機会を図ります。**発生学実習**では、動物精子、生きた受精卵、妊娠・出産模型、ニワトリ全胚・切片標本を観察して、胎児の発達と成熟過程を理解します。

＜質問＞講義や実習で分からないことは是非その場で教員に聞いて、理解を深めてください。**予習や復習**の時にも疑問が生じるでしょうから、放課後に解剖学Ⅱ教室に訪れて質問してください。教室の場所は、医学部1号館8階806号室です。質問をするための場所を整えてあります。必要に応じて電話をしてから訪れてください。電話は0562-93-2431です。

## [学習の心構え]

組織学において学習する事柄は増すばかりですが、講義・実習時間は限られています。組織学は、「**百聞は一見に如かず**」の言葉のとおりです。目標達成のためには自学によって理解を深める事が必要なので、十分な予習・復習を行い、真摯な気持ちで講義と実習の場に臨んで下さい。

## [学習目標（到達目標）]

組織学と発生学について教科書を指定してあるので、その内容の習得が目安となります。

- 1) 光学顕微鏡と電子顕微鏡の原理と、標本作製方法を説明できる。
- 2) 細胞の構造と機能を説明できる。
- 3) 細胞の生活現象（分泌・吸収・運動）と一生（細胞増殖・細胞死・組織の再生）を説明できる。
- 4) 各細胞と細胞内構造を光学顕微鏡と電子顕微鏡写真において判別できる。
- 5) 4種類の組織の構造と機能を説明できる。
- 6) 4種類の組織を光学顕微鏡を用いて判別できる。
- 7) 各器官の主な細胞について説明できる。
- 8) 各器官を光学顕微鏡を用いて判別できる。
- 9) 各器官の発生過程とその異常を説明できる。
- 10) 再生医療について説明できる。

## [準備学習（予習・復習等）]

予習復習用の全てのデジタルデータを初回講義で配ります。読んでおくべき教科書の章・頁が記入してあるので、参考にして下さい。講義の前には教科書「入門組織学」とデジタルの配布資料を読み（30分程度）、講義後にはノートを整理し配布問題集を解くこと（30分程度）。医師になるためにはそれだけの勉強が最低限必要です。

## [ 評 価 ]

講義・実習期間に、三回の小テスト（総論・各論・発生学）を行います。実習においては、スケッチあるいはレポートを提出します。実習終了後に実習試験を行います。小テスト・スケッチ・レポート・実習試験・定期試験を総合評価します（卒業コンピテンシー I-1パフォーマンス・レベルC、IV-1,2パフォーマンス・レベルD）。

## [フィードバック]

小テスト後に解答を示し解説を行う。実習のスケッチについては採点し講評とともに返却する。定期試験結果について疑義のある場合には対応する。

## [担当教員・オフィスアワー]

担当者名	曜 日	時 間	場 所
臼田 信光 教授	月	16:00～18:00	医学部1号館806
	火	17:00～19:00	医学部1号館B1実習室
深澤 元晶 助教	月	16:00～18:00	医学部1号館806
	火	17:00～19:00	医学部1号館B1実習室
森山 陽介 助教	月	16:00～18:00	医学部1号館806
	火	17:00～19:00	医学部1号館B1実習室
石嶺 久子 助教	月	16:00～18:00	医学部1号館806
	火	17:00～19:00	医学部1号館B1実習室
永津 郁子 客員教授		講義終了後に対応	
小野 謙三 客員教授		講義終了後に対応	
中井さち子 客員教授		講義終了後に対応	
駒瀬 裕子 客員教授		講義終了後に対応	
伊藤 誠 客員教授		講義終了後に対応	
鈴木 康之 客員教授		講義終了後に対応	
下村 敦司 客員教授		講義終了後に対応	
乾 正幸 客員教授		講義終了後に対応	
松澤 綾美 客員講師		講義終了後に対応	
小久保正博 客員助教		講義終了後に対応	

## [教科書]

1. 「ぜんぶわかる人体解剖図」坂井建雄・橋本尚詞（成美堂出版）
2. 「入門組織学」牛木辰雄（南江堂）
3. 「医学要点双書 発生学」藤本十四秋・受島敦美（金芳堂）

## [推薦参考書]

1. 「Wheater's Functional Histology」Young B. (Elsevier)
2. 「Before We Are Born」9版、Moore L. (Saunders)
3. 「Langman's Medical Embryology」12版、Sadler W. (Lippincott)

## [授業時間]

後期 10月2日から1月30日

- ・毎月曜日：3・4コマ目
- ・毎火曜日：3・4・5・6コマ目

[使用する教室] 生涯教育研修センター1号館10階1001講義室

[実習場所] 医学部1号館 地下1階実習室

## [ 授 業 日 程 ]

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
1	10	2	月	3	臼田信光	<総論 解剖学入門> ●顕微解剖学について説明できる。	1001
2	10	2	月	4	臼田信光	<総論 組織学入門> ○細胞の全体像を図示できる。 ○細胞膜の構造と機能を説明できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソームなどの細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞骨格を構成する蛋白質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 ○微小管の役割や機能を説明できる。 ●細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。	1001
3	10	3	火	3	臼田信光	<総論 組織学研究法> ○細胞の観察法を説明できる ●顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。	1001
4	10	3	火	4	臼田信光	<総論 実習入門> ●顕微鏡・標本の正しい取扱い方を図示・説明できる。	1001
5	10	16	月	3	臼田信光	<b>【発生学 発生学入門】</b> ○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ○器官系の個体発生を概説できる。	1001
6	10	16	月	4	臼田信光	<総論(1) 組織学> ●四組織の微細構造と役割を図示・説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
7	10	17	火	3	臼田信光	<総論(2) 細胞> ○細胞分裂の過程を図示し、説明できる。 ○細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる。 ●細胞の機能を図示・説明できる。	1001
8	10	23	月	3	臼田信光 深澤元晶	<総論(3) 上皮組織> ○上皮組織と腺の構造を説明できる。 ○組織の再生の機序を説明できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。	1001
9	10	23	月	4	臼田信光 森山陽介	<総論(4) 支持組織> ○支持組織を構成する細胞と細胞間質を説明できる。 ○骨・軟骨の構造と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	1001
10	10	30	月	3	臼田信光 深澤元晶	<総論(5) 筋組織> ○筋組織について骨格筋、心筋、平滑筋の構造を対比して説明できる。 ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。	1001
11	10	30	月	4	臼田信光	<総論(6) 神経組織> ○神経組織の微細構造を説明できる。	1001
12	10	31	火	3	臼田信光 永津郁子	<各論(1) 中枢神経系> ○中枢神経系と末梢神経系の構造を説明できる。 ○血液脳関門を説明できる。 ●脳機能と構造の関係を図示・説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
13	11	6	月	3	臼田信光 深澤元晶	<p>&lt;各論(2) 脈管系①&gt;</p> <p>○心臓の構造を説明できる。</p> <p>○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。</p> <p>○血管とリンパ管の微細構造を説明できる。</p> <p>●血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる</p>	1001
14	11	6	月	4	臼田信光	<p>【発生学(1) 器官形成の仕組み】</p> <p>○器官系の個体発生を概説できる。</p> <p>○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。</p> <p>○体節の形成と分化を説明できる。</p> <p>○胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。</p> <p>○胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。</p> <p>●妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。</p>	1001
15	11	7	火	3	全員	<p>&lt;各論(3) 脈管系②&gt;</p> <p>○心臓の構造を説明できる。</p> <p>○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。</p> <p>○血管とリンパ管の微細構造を説明できる。</p> <p>●血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる</p>	1001
16	11	7	火	6	全員	小テストと解説(1)	1001
17	11	13	月	3	臼田信光 森山陽介	<p>&lt;各論(4) 血液・造血組織①&gt;</p> <p>○骨髄の構造を説明できる。</p> <p>○白血球の種類と機能を説明できる。</p> <p>○造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。</p>	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
18	11	13	月	4	臼田信光	<b>【発生学(2) 器官形成】</b> ○器官系の個体発生を概説できる。 ○体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○心血管系の形成過程を説明できる。 ○泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○胚内体腔の形成過程を概説できる。 ○鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 ●胎児付属物と双胎について図示・説明できる。	1001
19	11	14	火	3	全員	<b>&lt;各論(5) 血液・造血組織②&gt;</b> ○骨髓の構造を説明できる。 ○白血球の種類と機能を説明できる。 ○造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。	1001
20	11	20	月	3	臼田信光 深澤元晶	<b>&lt;各論(6) リンパ性器官①&gt;</b> ○脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とパイエル板の構造と機能を説明できる。 ○血管とリンパ管の微細構造を説明できる。	1001
21	11	20	月	4	臼田信光	<b>【発生(3) 奇形と有害物質】</b> ○個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。	1001
22	11	21	火	3	全員	<b>&lt;各論(7) リンパ性器官②&gt;</b> ○脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とパイエル板の構造と機能を説明できる。 ○血管とリンパ管の微細構造を説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
23	11	27	月	3	臼田信光 森山陽介	<各論(8) 消化器系①> ○消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。	1001
24	11	27	月	4	臼田信光 小野謙三	<各論(9) 消化器系②> ○消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。	1001
25	11	28	火	3	全員	<各論(10) 消化器系③> ○消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。	1001
26	12	4	月	3	臼田信光 森山陽介	<各論(11) 消化器系④> ○肝の構造と機能を説明できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ●消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	1001
27	12	4	月	4	臼田信光 乾 正幸	<各論(12) 消化器系⑤> ●消化管の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	1001
28	12	5	火	3	全員	<各論(13) 消化器系⑥> ○肝の構造と機能を説明できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ●消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	1001
29	12	5	火	6	全員	小テストと解説(2)	1001
30	12	11	月	3	臼田信光 森山陽介	<各論(14) 呼吸器系①> ○肺胞におけるガス交換を説明できる。 ●肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
31	12	11	月	4	臼田信光 駒瀬裕子	<各論(15) 呼吸器系②> ●肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。	1001
32	12	12	火	3	全員	<各論(16) 呼吸器系③> ○肺胞におけるガス交換を説明できる。 ●肺、気管・気管支、胸膜の微細構造と機能を図示・説明できる。	1001
33	12	18	月	3	臼田信光 深澤元晶	<各論(17) 感覚器①視覚器> ○眼球と付属器の構造と機能を説明できる。	1001
34	12	18	月	4	臼田信光 伊藤 誠	<各論(18) 感覚器②聴覚器> ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	1001
35	12	19	火	3	全員	<各論(19) 感覚器③> ○眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ●視覚器と聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。	1001
36	1	9	火	3	臼田信光 深澤元晶	<各論(20) 泌尿器系①> ○腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。 ●泌尿生殖器系各器官の形成過程を図示・説明できる。	1001
37	1	9	火	4	全員	<各論(21) 泌尿器系②> ○腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。 ●泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
38	1	15	月	3	臼田信光 深澤元晶	<p>&lt;各論(22) 男性生殖器&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。</li> <li>○男性生殖器の発育の過程を説明できる。</li> <li>○男性生殖器の形態と機能を説明できる。</li> <li>○陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。</li> <li>○精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。</li> <li>○減数分裂の過程とその意義を説明できる。</li> </ul>	1001
39	1	15	月	4	臼田信光 森山陽介	<p>&lt;各論(23) 女性生殖器&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。</li> <li>○女性生殖器の発育の過程を説明できる。</li> <li>○性周期の発現と排卵の機序を説明できる。</li> <li>○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。</li> <li>○体節の形成と分化を説明できる。</li> </ul>	1001
40	1	15	月	5	全員	小テストと解説(3)	1001
41	1	16	火	3	臼田信光	<p>【発生学(4) 奇形と器官形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。</li> <li>○器官系の個体発生を概説できる。</li> <li>○染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。</li> <li>○主な先天性疾患を列挙できる。</li> </ul>	1001
42	1	22	月	3	臼田信光 鈴木康之	<p>【発生学(5) 先天代謝異常】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○脂質代謝異常の病態を説明できる。</li> <li>●先天代謝異常について図示・説明できる。</li> </ul>	1001
43	1	22	月	4	臼田信光 下村敦司	<p>【発生学(6) 幹細胞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。</li> <li>●細胞がリプログラミングにより多能性を持つことを図示・説明できる。</li> </ul>	1001

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
44	1	23	火	3	全員	<p>&lt;各論(24) 生殖器&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。</li> <li>○男性生殖器の発育の過程を説明できる。</li> <li>○男性生殖器の形態と機能を説明できる。</li> <li>○陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。</li> <li>○精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。</li> <li>○減数分裂の過程とその意義を説明できる。</li> <li>○性周期の発現と排卵の機序を説明できる。</li> <li>○女性生殖器の発育の過程を説明できる。</li> <li>○性周期の発現と排卵の機序を説明できる。</li> <li>○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。</li> <li>○体節の形成と分化を説明できる。</li> </ul>	1001
45	1	26	金	3	白田信光 森山陽介	<p>&lt;各論(25) 内分泌①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各内分泌器官の構造を図示し、そこから分泌されるホルモンとその作用を列挙できる。</li> </ul>	1001
46	1	26	金	4	全員	<p>&lt;各論(26) 内分泌②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各内分泌器官の構造を図示し、そこから分泌されるホルモンとその作用を列挙できる。</li> </ul>	1001
47	1	29	月	3	白田信光 深澤元晶	<p>&lt;各論(27) 皮膚・乳腺&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○皮膚の組織構造を図示して説明できる。</li> <li>○乳房の構造と機能を説明できる。</li> </ul>	1001
48	1	29	月	4	全員	<p>&lt;各論(28) 皮膚・乳腺&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○皮膚の組織構造を図示して説明できる。</li> <li>○乳房の構造と機能を説明できる。</li> </ul>	1001
49	1	30	火	4	全員	小テストと解説(4)	1001

## &lt;実習&gt;

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
1	10	3	火	5	全員	<実習> 総論(1) 器官と細胞 ○細胞の全体像を図示できる。 ○細胞膜の構造と機能を説明できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソームなどの細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞骨格を構成する蛋白質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 ○微小管の役割や機能を説明できる。 ○細胞の観察法を説明できる。 ●顕微解剖学について説明できる。 ●顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。 ●細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 ●顕微鏡・標本の正しい取扱い方を図示・説明できる。	B1実習室
2				6			
3	10	17	火	4	全員	<実習> 総論(2) 細胞 ○細胞分裂の過程を図示し、説明できる。 ○細胞周期の各過程、周期の調節を概説できる。 ●細胞の機能を図示・説明できる。	B1実習室
4				5			
5				6			

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
6	10	24	火	3	全員	<実習> 総論(3) 上皮組織、支持組織 ○上皮組織と腺の構造を説明できる。 ○組織の再生の機序を説明できる。 ○細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 ○支持組織を構成する細胞と細胞間質を説明できる。 ○骨・軟骨の構造と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	B1実習室
7				4			
8				5			
9				6			
10	10	31	火	4	全員	<実習> 総論(4) 神経組織、筋組織 ○筋組織について骨格筋、心筋、平滑筋の構造を対比して説明できる。 ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○神経組織の微細構造を説明できる。 ○中枢神経系と末梢神経系の構造を説明できる。 ○血液脳関門を説明できる。 ●脳機能と構造の関係を図示・説明できる。	B1実習室
11				5			
12				6			
13	11	7	火	4	全員	<実習> 各論(1) 脈管系 ○心臓の構造を説明できる。 ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ○血管とリンパ管の微細構造を説明できる。 ●血管壁の微細構造と役割を図示・説明できる。	B1実習室
14				5			
15	11	14	火	4	全員	<実習> 各論(2) 血液・造血組織 ○骨髄の構造を説明できる。 ○白血球の種類と機能を説明できる。 ○造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ●骨髄、血球の微細構造・機能・分化を図示・説明できる。	B1実習室
16				5			
17				6			

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到達目標	使用教室
18	11	21	火	4	全員	<実習> 各論(3) リンパ性器官 ○脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とパイエル板の構造と機能を説明できる。 ○血管とリンパ管の微細構造を説明できる。	B1実習室
19				5			
20				6			
21	11	28	火	4	全員	<実習> 各論(4) 消化管 ○消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。	B1実習室
22				5			
23				6			
24	12	5	火	4	全員	<実習> 各論(5) 消化器腺 ○肝の構造と機能を説明できる。 ○膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 ○歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ●消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	B1実習室
25				5			
26	12	12	火	4	全員	<実習> 各論(6) 呼吸器系 ○肺胞におけるガス交換を説明できる。 ●肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。	B1実習室
27				5			
28				6			
29	12	19	火	4	全員	<実習> 各論(7) 感覚器 ○眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ●視覚器と聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。	B1実習室
30				5			
31				6			
32	1	9	火	5	全員	<実習> 各論(8) 泌尿器系 ○腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。 ●泌尿生殖器系各器官の形成過程を図示・説明できる。 ●泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。	B1実習室
33				6			

No.	月	日	曜日	時限	担当者名	到達目標	使用教室
34				4		<p>&lt;実習&gt; 各論(9) 生殖器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。</li> <li>○男性生殖器の発育の過程を説明できる。</li> <li>○男性生殖器の形態と機能を説明できる。</li> <li>○陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。</li> <li>○精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。</li> <li>○減数分裂の過程とその意義を説明できる。</li> <li>○女性生殖器の発育の過程を説明できる。</li> <li>○性周期の発現と排卵の機序を説明できる。</li> <li>○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。</li> <li>○体節の形成と分化を説明できる。</li> <li>○器官系の個体発生を概説できる。</li> <li>○胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。</li> <li>○胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。</li> <li>○体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。</li> <li>○消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。</li> <li>○心血管系の形成過程を説明できる。</li> <li>○泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。</li> <li>○胚内体腔の形成過程を概説できる。</li> <li>○鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。</li> <li>○神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。</li> <li>○個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。</li> <li>○染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。</li> <li>○主な先天性疾患を列挙できる。</li> <li>○脂質代謝異常の病態を説明できる。</li> <li>●幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。</li> <li>●細胞がリプログラミングにより多能性を持つことを図示・説明できる。</li> <li>●生殖腺の発生と性分化の過程を図示・説明できる。</li> <li>●生殖器の微細構造と機能を図示・説明できる。</li> <li>●先天代謝異常について図示・説明できる。</li> <li>●妊娠の概略と体節形成を図示・説明できる。</li> <li>●胎児付属物と双胎について図示・説明できる。</li> </ul>	
35	1	23	火	5	全員		B1実習室
36				6			

No.	月	日	曜日	時 限	担当者名	到 達 目 標	使用教室
37	1	26	金	5	全員	<実習> 各論(10) 内分泌 ○各内分泌器官の構造を図示し、そこから分泌されるホルモンとその作用を列挙できる。	B1実習室
38				6			
39	1	29	月	5	全員	<実習> 各論(11) 皮膚・乳腺 ○皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ○乳房の構造と機能を説明できる。	B1実習室
40				6			
41	1	30	火	5	全員	<実習> 総復習 ●人体を形成する組織について微細構造と機能を図示・説明できる。	B1実習室
42				6			

## 早期臨床体験（Early Clinical Exposure）

＜1 学年必修科目＞

〈A-2, 3〉

卒業後、大部分が臨床医としての道を選ぶ本学医学部生に対して、入学した早期の段階より医療（臨床）の現場を体験させることを目的として行われるのが、Early Clinical Exposure である。

学生がグループ毎に大学病院内の各部門において、その日常業務を見学・体験する。

大学病院各部門の現場体験をすることにより、医学部に入学したという実感を持ち、近い将来尊敬されるべき医師となるための自覚を持たせることを目標とする。

医学的知識をほとんど持っていない時期に行われる実習であるため、専門的な知識や手技の修得を目的としたものではなく、チーム医療の実践を学ぶために必要な考え方や態度を身につけ、学生自身が今後何をなすべきかを自覚させる。

さらに年間を通して学生が交代で大学病院中央玄関前に立って、患者・家族に対する挨拶と他職種と共同して必要に応じた援助を行い、接遇の基本を学ぶ。

### 〔教育目標〕

- チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につける。
- 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。
- 医師になるための動機付けを高め、チーム医療の実践を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。

### 〔学習目標（到達目標）〕

- 病院の機能を知る。（知識）  
看護部・事務局・検査部・食養部・放射線部・薬剤部
- チーム医療を支える様々な医療職に触れ、チーム医療の必要性を理解し、臨床現場を見学・体験する。（知識・態度）
- 医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。（知識・態度）
- 社会人としてのマナーを守る。（態度）  
自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装
- 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。（態度）
- 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。（態度）
- 患者に分かりやすい言葉で対話できる。（態度）

### 〔身につける能力〕

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

## [授業の種類]

講義と実習

## [準備学習（予習・復習等）]

- ・ 藤田保健衛生大学病院の概要等について確認しておく。
- ・ 実習内容の概要を理解しておく。
- ・ 実習後、疑問に感じたことなどがあれば、調べてそのままにしないこと。

## [ 評 価 ]

- ・ 医師としてのプロフェッショナリズム・コミュニケーション・専門職連携・個人情報保護・医療安全にかかわる項目：  
実習において、すべての項目を理解し、遵守し行動しているかどうかを集合時間遵守、容姿服装、実習態度、レポート内容などから総合的に評価する。  
(卒業コンピテンシー I-1 ～ 6,II-1,2 III-1,2, IV-6, VI-8)、パフォーマンスレベルC
- ・ 社会から期待される医師の役割・意思疎通についてはレポート・発表により評価する。  
(卒業コンピテンシー I-7, II-3)、パフォーマンスレベルC
- ・ 患者の問題を多職種で解決する取り組み・病歴聴取・基本的臨床手技については、定められた見学実習にすべて参加することを必須とするが、評価は行わない。  
(卒業コンピテンシー III-3, V-1,3、VI-1,2,7、VII-3)、パフォーマンスレベルE
- ・ 授業が終了するごとにレポートを作成すること。(400字詰め原稿用紙1枚程度、必ず冒頭実習場所・実習日・班名・学籍番号・氏名を記入。必ず手書きペン書きとし、修正の際は修正液等を使用すること。)  
レポートは指定の場所に翌週の月曜日13時までに提出すること。提出期限を過ぎたものや不備のあるレポートは受け取らない。また、誤字脱字があった場合には再提出とする。
- ・ レポートは原本を提出する。早期臨床体験ポートフォリオにはコピーをとりファイルしておく。

## [フィードバック]

Moodleに提出されるレポートについては不備な点等にコメントを入れることがあるため確認すること。実習で良い点、逆に問題点が指摘された場合、文書が発行されるので、指示に従い振り返り・反省を行うこと。内容によっては面談指導を行う。

[コーディネーター]	正コーディネーター	飯塚	成志	准教授（臨床医学総論）
	コーディネーター	大槻	眞嗣	教授（臨床総合医学）
	コーディネーター	後藤	和恵	兼任講師（医学教育企画室）

**[担当教員・オフィスアワー]**

担当者名	曜 日	時 間	場 所
飯塚 成志 准教授	月～木	7:00～8:30	生涯教育研修センター1号館9階907
後藤 和恵 兼任講師	月・金	9:00～16:00	生涯教育研修センター1号館14階管理室

※原則として事前に0562-93-2586（飯塚）・0562-93-2794（後藤）まで予約のこと

**[学年担当者]** 医学部学務課 1 学年担当

緊急時の連絡先 0562-93-2634

事務手続き取扱い時間 8:30～16:45

※事務手続き取扱い時間内に連絡すること。

**[教科書]** 特になし。必要な資料はオリエンテーション時に配布する。

**[注意事項]**

- ・医学部生としての自覚を持ち、良識と責任ある行動をとること。
- ・必ず清潔でしわのない指定された白衣、および名札を着用し、医学部生らしい身だしなみを整えること。
- ・病院内では安全管理のため患者さんのプライバシーを守り、指導者の指示に従い、勝手な行動や私語は慎むこと。
- ・実習授業であるので欠席をしないこと。発熱など体調不良で欠席する場合には、まず学務課学年担当まで連絡し、その後の対応についてはコーディネーターに確認すること。

**[使用する教室]** 生涯教育研修センター1号館10階1001講義室

**[実習場所]** 藤田保健衛生大学 第一教育病院、医学部1号館地下1階実習室

## － 前 期 －

### 〔一般目標〕

医師となるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。

### － 病 院 実 習 －

第1教育病院全職員の協力のもとで実施される。

### 〔行動目標〕

1. 社会人としてのマナーを守る。  
自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装
2. 病院の機能を知る。  
看護部、事務局、検査部、食養部、放射線部、薬剤部
3. 医療（臨床）の現場を見る。

### 〔授業形態〕

Aグループ（A班～F班）、Bグループ（G班～L班）が金曜日の1～3限を1週交代で行う。

看護部・事務局・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部の各部門をローテイトしすべての部門を見学・体験する。実習終了後、レポートを提出する。

全てのローテイトが終了した時点で、実習での気づきについて全体発表会にてまとめを行う。

### 〔指導責任者〕

（看護部）	眞野 恵子	看護部長
（事務局）	桑原 浩	事務局長
（検査部）	石井 潤一	臨床検査部長
（食養部）	東口 高志	食養部長
（放射線部）	外山 宏	放射線部長
（薬剤部）	山田 成樹	薬剤部長

[前期授業内容]

部署	看護部	事務局	検査部	食養部	放射線部	薬剤部
集合場所	1階食堂前 「憩いの広場」	守衛室前 (外来会計前)	検査棟1階	外来棟502 会議室	放射線棟 2階受付	外来棟B1階 薬剤部部員室
集合時間	8:15	8:45	8:45	8:45	8:30	8:45
スケジュール	8:15 集合 オリエンテーション 8:30 ＜見学・実習＞ ・申し送り ・環境整備 ・バイタルサイン測定 ・全身清拭 ・体位変換 ・患者移送 8:45 ・与薬 ・回診介助 ・点滴交換 など	集合 オリエンテーション ＜見学・実習＞ ・医療業務に ついての説明 (全員)  入院・外来 両医事課にて 現場実習 (小グループ) など	集合 オリエンテーション ＜見学・実習＞ ・検体系 ・生理系 ・ME管理室 ・病理部 など	集合 オリエンテーション ＜見学・実習＞ ・残った食 事量の調査 ・治療食に ついて ・配膳準備 ・できれば検食 など	集合 オリエンテーション ＜見学・実習＞ ・病棟ポータ ブル撮影 ・一般撮影 ・放射線治療 ・CT ・MRI ・血管造影 ・核医学 ・X線透視 (小グループ)	集合 オリエンテーション ＜見学・実習＞ ・病棟薬剤管理 指導について ・調剤の実際 ・TPN・抗が ん剤の調製 ・医薬品情報管 理について など
12:00	実習終了・ レポート	実習終了・ レポート	実習終了・ レポート	実習終了・ レポート	実習終了・ レポート	実習終了・ レポート

[スケジュール]

[全体]

月	日(曜)	時限	
4月10日(月)	5		全体ガイダンス・大学病院について
4月20日(木)	6		手洗い実習
4月21日(金)	1～3		早期臨床体験実習ガイダンス・車椅子操作訓練等
4月28日(金)	1～3		ホスピタリティ実習ガイダンス・身だしなみチェック
7月31日(金)	1～3		早期臨床体験実習のまとめ

[Aグループ・ローテイト表]

月	日(曜)	時限	A班	B班	C班	D班	E班	F班
5月12日(金)	1～3		看護部	薬剤部	放射線部	食養部	検査部	事務局
5月26日(金)	1～3		事務局	看護部	薬剤部	放射線部	食養部	検査部
6月9日(金)	1～3		検査部	事務局	看護部	薬剤部	放射線部	食養部
6月23日(金)	1～3		食養部	検査部	事務局	看護部	薬剤部	放射線部
7月7日(金)	1～3		放射線部	食養部	検査部	事務局	看護部	薬剤部
7月21日(金)	1～3		薬剤部	放射線部	食養部	検査部	事務局	看護部

[Bグループ・ローテイト表]

月	日(曜)	時限	G班	H班	I班	J班	K班	L班
5月19日(金)	1～3		看護部	薬剤部	放射線部	食養部	検査部	事務局
6月2日(金)	1～3		事務局	看護部	薬剤部	放射線部	食養部	検査部
6月16日(金)	1～3		検査部	事務局	看護部	薬剤部	放射線部	食養部
6月30日(金)	1～3		食養部	検査部	事務局	看護部	薬剤部	放射線部
7月14日(金)	1～3		放射線部	食養部	検査部	事務局	看護部	薬剤部
7月28日(金)	1～3		薬剤部	放射線部	食養部	検査部	事務局	看護部

### －看護体験実習－

第1教育病院看護部の協力のもと、前期の定期試験の直後（9月28日・29日）に行われる実習である。

#### [ 目 的 ]

- ・チームの一員として大学病院において看護業務を体験する。

#### [ 目 標 ]

1. 患者の基本的ニーズを知る。
2. 入院患者の生活状況を見学する。
3. 看護師の24時間業務を体験する。
4. 看護師の勤務交代時の看護業務の引継に加わる。
5. チームの一員としての看護師の役割にふれる。
6. 看護の評価方法として看護記録があることを知る。

#### [ 授業形態 ]

Aグループ、Bグループの2組（各約60名）に分け実施する。

グループ分け・集合時間・集合場所は別途知らせる。

実習終了後、レポートを提出する。

提出に関する詳細は、早期臨床体験オリエンテーションにて指示する。

[オリエンテーション]      9月下旬予定   飯塚・後藤

#### [ 授業日程 ]

##### －後期－(4コマ)

月 日(曜)	授 業 内 容
9月28日(木)   Aグループ	夜勤(9/28 17:00～9/29 8:45)
9月29日(金)   Bグループ	夜勤(9/29 17:00～9/30 8:45)

\*病院のスケジュールの都合で、日程が変更される場合がある。

## － ホスピタリティ実習 －

### [授業内容]

ホスピタリティ実習は、2～3名が1組となり、午前7時20分より午前8時20分まで大学病院中央玄関に立ち、患者さんや家族へのあいさつ・案内・介助・説明を行う。

### [ホスピタリティ実習の目的]

- ①患者さんや家族と適切に接する能力（患者さんや家族との接遇）を身につける。
- ②患者さんや家族の状態を把握する能力を身につける。
- ③同僚に実習内容や必要事項を申し送る能力を身につける。
- ④同僚から実習内容や必要事項の説明を受ける能力を身につける。
- ⑤指導者へ実習内容の概要を示す能力を身につける。

### [実習場所]

- ・大学病院中央玄関前

### [授業形態]

- ①実習前日に、看護部長室へ挨拶に行く。
- ②実習当日は、午前7時20分看護部長室へ集合。夜勤看護長に挨拶し、注意点の確認を行う。
- ③中央玄関担当看護師等に挨拶をし、指示に従う。
  - 1) 実習内容
    - ・患者さんや家族への挨拶をする。
    - ・患者さんが受診しやすくなるように説明や案内をする。
    - ・必要に応じて、車椅子介助や受診案内などを行う。
    - ・求められれば、速乾性手指消毒薬の使用方法的説明をする。
    - ・その他
  - 2) 午前8時20分、実習終了。
  - 3) 実習終了の報告を看護部長室に行い、ホスピタリティ実習評価表（指導者用）を提出する。

### 実習後

次に実習を行うグループに、別途指示する“引継ぎ先一覧表”をもとに、自分たちが行ったホスピタリティ実習の注意事項などをチェックリストに基づき引き継ぐ。次のグループへの引継ぎをもって、実習が終了となる。

## 基礎教室体験実習（選択）

### 〔教育目標〕

医師は常に新たな医療の課題を発掘し、その解決に向かってチャレンジしていく。課題は、疾患の病因の解明・治療法の開発・予防法の研究などを含め幅広い領域に関連する。医師の仕事はこれまでに得られた知識だけでは立ちゆかず、常に科学の最前線に立つことが必要である。リサーチマインド（科学する心、研究心）を持った医師が求められる所以である。基礎医学教室、総合医科学研究所に入り、研究とはどんなものか、研究室の日常がどんなものかを体験し、自らリサーチマインドの涵養を図る。

### 〔学習目標（到達目標）〕

教室での指導者と話し合い、目標を決め、成果に向かって努力する。

リサーチマインドが良き医師にとってどんな意味を有するかを説明できること。

### 〔評価〕

評価方法については各教室から別に示す。

### 〔準備学習（予習・復習等）〕

教室での指導から、学習テーマを事前に聞き、各自充分学習しておくこと。

### 〔担当教員、受け入れ教室、学習内容、期間〕

#### (1)対象学生

医学部1,2年生で基礎教室体験実習に興味がある学生は誰でも参加可能である。ただし、実習期間中に成績不良となった場合には担当教員と相談の上、一時活動を停止する。希望により、3,4年生まで基礎教室体験実習は延長することが出来る。

#### (2)対象講座

基礎医学講座、教養系教室及び総合医科学研究所の研究部門で受入可能講座

#### (3)活動期間

原則として授業修了後の放課後、STH（土曜日）、夏休み、春休みとする。

#### (4)募集要項

担当教員、受け入れ教室、実習内容、期間などについては4月新学期開始時及び7月夏休み前に1,2学年の掲示板において掲示、募集する。

#### (5)募集手続き

基礎教室体験実習に参加希望の学生は学務課に連絡した後、各教室を訪ねて担当教員のガイダンスを受けること。





School of Medicine